

**平成29年度(平成28年度実施分)
指定管理者管理運営状況評価表**

立川市公の施設指定管理者評価委員会

15. 柏地域福祉サービスセンター・・・・・・・・・・・・・・・・	81
【介護保険課（社会福祉法人至誠学舎立川）】	
16. 羽衣地域福祉サービスセンター・・・・・・・・・・・・・・・・	84
【介護保険課（社会福祉法人恵比寿会）】	
17. 上砂地域福祉サービスセンター・・・・・・・・・・・・・・・・	87
【介護保険課（社会福祉法人桜栄会）】	
―まちづくり部―	
18. 自転車等駐車場（第1ブロック）・・・・・・・・・・・・・・・・	90
【交通対策課（日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社）】	
19. 自転車等駐車場（第2ブロック）・・・・・・・・・・・・・・・・	94
【交通対策課（日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社）】	
20. 駐車場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	97
【交通対策課（公益財団法人東京都道路整備保全公社）】	
―教育部―	
21. 八ヶ岳山荘・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	101
【生涯学習推進センター（株式会社レストラン・ピガール）】	
22. 学習等供用施設（滝ノ上会館ほか10施設）・・・・・・・・	105
【生涯学習推進センター（各館管理運営委員会）】	
23. 幸図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	138
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
24. 西砂図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	141
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
25. 高松図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	144
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
26. 錦図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	147
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
27. 若葉図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	150
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
28. 柴崎図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	153
【図書館（株式会社ヴィアックス）】	
29. 上砂図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	156
【図書館（株式会社ヴィアックス）】	
30. 多摩川図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	159
【図書館（株式会社ヴィアックス）】	

平成28年度実施分 指定管理者運営状況 総括表

施設名	(1)施設の設置 目的達成に関する 取り組み	(2)業務の履行 状況	(3)サービスの 質に関する事項	(4)施設・設備 の維持管理状 況	(5)個人情報保 護規定等の遵 守状況に関する 事項
市民会館	A	A	A	A	A
子ども未来センター ※1	A/A/A/-	A/A/A/A	A/A/A/A	A/A/-/-	A/A/A/A
柴崎市民体育館	A	A	A	A	A
泉市民体育館	A	A	A	A	A
幸児童館	A	A	A	A	A
高松児童館	A	A	A	A	A
若葉児童館・若葉学童保育所 ※2	A/A	B/A	A/A	A/A	A/A
西砂児童館・松中学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
羽衣児童館・羽衣学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
富士見児童館・南富士見学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
錦児童館・錦学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
上砂児童館・上砂第三学童保育所 ※2	A/A	B/A	A/A	A/A	A/A
斎場	A	A	A	A	A
総合福祉センター	A	A	A	A	A
柏地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A
羽衣地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A
上砂地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A
自転車等駐車場(第1ブロック)	A	A	A	A	A
自転車等駐車場(第2ブロック)	A	A	A	A	A
駐車場	A	A	A	A	A
八ヶ岳山荘	A	A	A	A	A
立川市滝ノ上会館	A	A	A	A	A
立川市こびら橋会館	A	A	A	A	A
立川市高松会館	A	A	A	A	A
立川市若葉会館	A	A	A	A	A
立川市こぶし会館	A	A	A	A	A
立川市羽衣中央会館	A	A	A	A	A
立川市天王橋会館	A	A	A	A	A
立川市柴崎会館	A	A	A	A	A
立川市さかえ会館	A	A	A	A	A
立川市西砂会館	A	A	A	A	A
立川市上砂会館	A	A	A	A	A
幸図書館	A	A	A	A	A
西砂図書館	A	A	A	A	A
高松図書館	A	A	A	A	A
錦図書館	A	A	A	A	A
若葉図書館	A	A	A	A	A
柴崎図書館	A	A	A	A	A
上砂図書館	A	A	A	A	A
多摩川図書館	A	A	A	A	A

※1 評価欄は、左から 施設全般の管理運営に関する業務及び自主事業／子育て支援業務／市民活動支援業務／文化芸術活動支援業務 を表す。

※2 評価欄は、左から 児童館運営管理／学童保育所運営管理 を表す。

(6)安全管理 (苦情・事件・事 故対応)に関する 事項	(7)地域貢献に 関する事項	(8)コンプライア ンスに関する事 項	(9)その他特記 事項・追加評価 項目	(10)立川市のコ スト削減状況	総合評価	施設名
A	A	A	A	A	A	市民会館
A/A/A/A	A/-/-/-	A/A/A/A	A/-/-/-	-	A/A/A/A	子ども未来センター
A	A	A	A	A	A	柴崎市民体育館
A	A	A	A	A	A	泉市民体育館
A	A	A	-	A	A	幸児童館
A	A	A	A	A	A	高松児童館
A/B	A/A	A/A	-	A/-	A/A	若葉児童館・若葉学童保育所
A/A	A/A	A/A	-	A/-	A/A	西砂児童館・松中学童保育所
A/A	A/A	A/A	A/A	A/-	A/A	羽衣児童館・羽衣学童保育所
A/A	A/A	A/A	A/A	A/-	A/A	富士見児童館・南富士見学童保育所
A/A	A/A	A/A	-	A/-	A/A	錦児童館・錦学童保育所
A/A	A/A	A/A	-	A/-	A/A	上砂児童館・上砂第三学童保育所
A	-	A	-	A	A	斎場
A	A	A	-	A	A	総合福祉センター
A	A	A	-	A	A	柏地域福祉サービスセンター
A	A	A	A	A	A	羽衣地域福祉サービスセンター
A	A	A	-	A	A	上砂地域福祉サービスセンター
A	A	A	-	-	A	自転車等駐車場(第1ブロック)
A	A	A	-	-	A	自転車等駐車場(第2ブロック)
A	A	A	-	A	A	駐車場
A	A	A	A	A	A	八ヶ岳山荘
A	A	A	-	-	A	立川市滝ノ上会館
A	A	A	-	-	A	立川市こんびら橋会館
A	A	A	-	-	A	立川市高松会館
A	A	A	-	-	A	立川市若葉会館
A	A	A	-	-	A	立川市こぶし会館
A	A	A	-	-	A	立川市羽衣中央会館
A	A	A	-	-	A	立川市天王橋会館
A	A	A	-	-	A	立川市柴崎会館
A	A	A	-	-	A	立川市さかえ会館
A	A	A	-	-	A	立川市西砂会館
A	A	A	-	-	A	立川市上砂会館
A	A	A	-	A	A	幸図書館
A	A	A	-	A	A	西砂図書館
A	A	A	-	A	A	高松図書館
A	A	A	-	A	A	錦図書館
A	A	A	-	A	A	若葉図書館
A	A	A	-	A	A	柴崎図書館
A	A	A	-	A	A	上砂図書館
A	A	A	-	A	A	多摩川図書館

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
たましんRISURUホール(立川市市民会館)	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成25年11月30日～平成36年3月31日(10年4か月)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	市民の福祉の増進と文化の向上を図るため、公平かつ公正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	業務マニュアルの作成・更新を行った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	施設予約システムを活用し、利用者に公平公正に対応している。	A		
事業の継続性の担保	マナー研修、接客研修、コンプライアンス研修及び舞台の安全についての研修を行った。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:347日 開館時間:9:00～22:00 職員配置:22人(正社員・パート) 統括責任者1人 舞台技術7人 受付業務10人 維持管理4人 臨時職員賃金:時給940円以上 (各社規定による)	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合計421,915人(103.7%) 大ホール:200,403人(111.1%) 小ホール:47,681人(104.2%) 展示室・サブホール・ギャラリー ・会議室:106,767人(108.0%) 各窓口:42,074人(90.3%) 市民ロビー等その他:24,990人(70.9%)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 多彩な運営企画が実施され、利用者数は前年度に引き続き増となった。 市民が文化芸術を楽しむ機会を提供する企画を行った。	
運営企画	自主事業 ・世界のピアノを弾きくらべてみよう ・立川シアタープロジェクトへの協賛 ・白鳥座ファミリーコンサート 財団との共同主催事業 ・たましんRISURUホールバックステージツアー×リアル謎解きゲーム	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:191,018,520円、支出:191,018,520円 ※指定管理料同額 人件費比率:61.3%	A	事業収支は、予算見積に基づき、適正に執行された。 提案内容は着実に実施している。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	公共文化施設賠償責任保険、公共文化施設災害補償保険、公共施設貸館対応興行中止保険 最大 身体5億円、請負賠償10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	受付案内、舞台設備保守点検、清掃、維持管理(受電設備・消防用設備・エレベーター・電話交換設備など)、ごみ収集・運搬、機械警備	A		
新たな取り組みの状況	立川シアタープロジェクトへの協賛、消毒剤の設置、文化協会への作品展示スペースの提供	A		
提案の実施状況	各種舞台公演の自主事業、舞台設備専門の技術者の配置、緊急連絡網の整備、デジタルサイネージの設置、文化芸術相談窓口の開設、会議室利用の働きかけ、RISURUセットの周知、ワンストップサービスの実施、月間催物予定の配布、飲料水の提供、広場イルミネーションの実施	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	挨拶・応対等についてマナー研修等を実施し、実践している。	A	各種研修を実施し、良好な接客に努めている。 業務マニュアルを整備し、それに沿って業務を実施している。 主管課及び地域文化振興財団との定期的な連絡調整会議を実施し、連携に努めている。	A
マニュアルの整備	ビジネスマナー・危機管理・受付・施設保全マニュアルを整備し、適切に実施した。	A		
研修・教育の実施状況	マナー研修、コンプライアンス研修及びテロ対策研修等を実施。	A		
所管部署との連携・連絡	月1回第3水曜日に連絡調整会議を実施。 所管部署との緊急連絡網も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、利用者懇談会の結果をホームページで公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	リーフレットを作成し、配布している。 ホームページでの周知を行っている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・事業報告書を提出している。	A		
公平・公正利用の確保	施設利用システムを活用し、公平・公正に実施している。	A		
業務の点検	随時実施している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に施設・設備が維持管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、施設保全マニュアルを整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	毎日巡回点検し、適切に管理されている。	A		
小規模修繕	大ホール音響設備修繕、大、小ホール照明設備部品交換、小ホール舞台アップライトピアノ補修、貨物用エレベーター修繕、舞台監視モニター交換、掲揚ポール修繕	A		
備品管理	備品台帳を作成し、適正に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	利用申し込みの管理の徹底等、個人情報の適正取り扱いを指導している。	A	適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	各種条例等に基づき業務を執行している。	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等は金庫等に保管している。	A		
再委託の禁止	市へ未報告で業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	コンプライアンス研修の中で個人情報についての研修を行った。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規定を整備している。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	危険予知については、特に注意をしている。 マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	危険予知活動表を作成し、未然の事故防止に努めている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・子ども未来センターのワイヤレスマイクの混信。 ・フットスポットが倒れた。			
事故防止対策の取り組み状況	危険予知活動表を活用し、事故防止対策に取り組んでいる。 市や子ども未来センター、地元警察と情報共有して不審者対応を行った。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	利用者懇談会やバックステージツアー、中学生職場体験の受入れなどの実施により、地域との連携、意見交換に努めている。	A	地域や関係機関との連携に努めている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。			
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	56,208,157円の削減。(平成17年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
◆ 総合評価				
<p>利用者数・利用率ともに順調に推移している。大きなクレームもなく、順調な管理運営が認められる。</p> <p>文化協会への作品展示スペースの提供やシアタープロジェクトへの協賛など、地域との連携を図りながら、文化芸術に触れる機会を提供する取り組みを始めたことは、評価できる。</p> <p>隣接する子ども未来センターとの一体的活用を図りながら、民間事業者である特性を生かし、南口周辺地域の活性化に寄与する施設として発展するよう管理運営をしていくことを期待する。</p>		A	<p>施設の周知やイメージアップに努め、利用者数の増加につながっている。</p> <p>施設所管課及び地域文化振興財団との連携も密に行われており、仕様書等の水準に達している。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成28年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市子ども未来センター	プロポ後の非公募	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日から平成36年3月31日（11年4か月）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	施設全般の管理運営に関する業務・自主事業	地域文化課	A	A
2	子育て支援業務	子育て推進課・ 子ども家庭支援センター・保育課	A	A
3	市民活動支援業務	協働推進課	A	A
4	文化芸術活動支援業務	地域文化課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

施設管理業について、広場の芝生定着などに課題はあるが、仕様書等に基づいて概ね適切に施設管理が行われている。
引き続き効率的かつ効果的な施設管理に努め取り組まれない。
各事業者の工夫や改善により、複合的施設として概ね適切に機能し、にぎわいの創出も図られている。引き続き利用者目線に立った事業運営に期待したい。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター		非公募・特命	地域文化課
指定管理者名		指定管理期間	
合人社計画研究所グループ		平成24年12月1日～平成36年3月31日(11年4か月)	
事業番号	事業名称	事業担当課	
1	施設全般の管理運営に関する業務・自主事業	地域文化課	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書に従い、公共サービスが円滑に提供されている	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解している	業務マニュアルの作成・更新を行った	A		
利用者の公平・公正利用の確保	利用者に対し、公平・公正に対応するよう予約システムを運用している	A		
事業の継続性の担保	各種マニュアルを整備し、各自に教育している	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:360日(まんがぱーくは365日) 開館時間:8:30~22:00(まんがぱーくは夏休み期間中1時間営業時間を延長) 職員配置:正社員及び臨時職員 9人 臨時職員賃金:時給1,200円以上	A	基本的事項については、概ね計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 前年度と比較し、利用者数は大きく伸びている。 まんがぱーく大市は、参加者数が前年度比で減少しているものの施設の事業として定着している。 また、未来センターを中心に他団体と連携し、周辺地域のにぎわいづくりに貢献している。 提案項目については、着実に実施されている。	A
利用状況	【利用状況】()内は対前年比 利用者延べ人数 347,058人(105.2%) 【内訳】施設貸出利用者数 61,208人(108.9%) まんがぱーく利用者数 104,685人(112.7%) 広場イベント来場者数 32,500人(90.3%) 広場来訪者数 59,166人(114.2%) その他利用者数 89,499人(96.2%)	A		
運営企画	まんがぱーく大市、環境対策課連携イベント(環境フェア)、商店街連携イベント(つまみぐいウォーキング)、地域振興カードラリー	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:47,073,960円、支出:47,073,960円 ※指定管理料同額 人件費比率:48.4%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	請負賠償責任保険(子ども未来センター全体が対象) 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	清掃、廃棄物処理、機械警備、建物定期点検、各種設備保守、植栽管理	A		
新たな取り組みの状況	野外演劇「スカラベ」公演 市内では類のない取り組みであり、周辺地域のにぎわい創出に大きく貢献した。	S		
提案の実施状況	集客力のある自主事業を開催	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に挨拶・応対を実施し笑顔の接客に努めている。利用者アンケートでは満足・おおむね満足が90%以上となっている。	A	職員の対応は良好に行われている。 各種マニュアルを整備し、それに基づき実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有がなされている。	A
マニュアルの整備	市が求めたマニュアルは整備され、概ねそれに基づいて実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	随時実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月1回連絡調整会議を実施している。危機管理マニュアルに緊急連絡先、災害時処理フロー等を記載している。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、施設ホームページにて公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内リーフレットを作成、配布した。ホームページで施設利用案内、行事案内を行った。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成、市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	公平性に配慮した形で構築できている。	A		
業務の点検	四半期毎に実施している。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 防犯対策を強化し、保安・警備を行っている。 小規模修繕については、広場の芝生定着に課題がある。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	芝生修繕、自動ドア修繕	A		
備品管理	備品台帳を作成し適正に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員に指導している。	A	個人情報保護規程を制定し、概ね、適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	各種条例等の規定に基づき業務を執行している。	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等については、鍵付の書庫等に保管している。	A		
再委託の禁止	市の承諾なしに、業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	適切に実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程を整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	1件の苦情があったが、適切に対応された。 ・有料駐車場に入庫するために公道に並んでいた車に移動をお願いしたところ苦情に発展したが、丁寧に説明し、理解を得た。	A	事故・苦情等に対しては適切に対応している。 マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	事件・事故の予防に関する内容を含んだ危機管理マニュアルを定め、適正に対応するよう努めている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制を構築し、周辺関連機関への連絡体制を整備している。 避難訓練(1回)を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	南口商店街連合会との意見交換や懇親会の実施、市や商工会議所との意見交換、地域のにぎわい創出のための人的資源や場所の提供、毎月施設周辺のゴミ拾い清掃を実施	A	地元商店街や地域団体との連携に積極的に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
施設の利便性向上と利用を促進	まんがぱーく運営、小中学校の職場体験への協力、錦みよし会と連携し諏訪祭りの中継地点として施設を開放	A	社会貢献、地域貢献として評価できる活動に取り組んでいる。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
該当なし	開設当初から指定管理のため、比較不可。	—		—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>施設保全業務については、一部広場の芝生定着に課題があるものの概ね仕様書等に基づいて適切に行われている。</p> <p>施設運営については大きなトラブルもなく概ね良好である。引き続き利用者目線に立った運営が求められる。</p> <p>まんがぱーく大市を中心としたにぎわい創出の取組は商店街、教育機関、市民団体等との連携協力の下、意欲的に実施されている。また、野外演劇という新たな取り組みや商店街との連携事業など、当施設を拠点に立川駅南口周辺のにぎわい創出という本事業の主目的を果たすべく機能している。</p> <p>市民会館との施設の一体活用については、創意工夫を凝らした事業の実施が必要である。</p>		A	<p>まんがぱーく大市をはじめとした各種取組みが成果を上げている。地域との連携は進んでおり、にぎわい拠点として、施設の活用が進んでいる。</p> <p>施設管理については、仕様書等に基づき、適切に行われている。総合的な運営の水準は高いと判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター		非公募・特命	地域文化課
指定管理者名		指定管理期間	
合人社計画研究所グループ		平成24年12月1日～平成36年3月31日(11年4か月)	
事業番号	事業名称	事業担当課	
2	子育て支援業務	子育て推進課・子ども家庭支援センター・保育課	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書及び年間事業計画に基づき、本施設における子育て支援事業を適切に実施した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解している	職員全員で施設設置目的を確認し合い、それぞれの業務に必要な研修を実施した。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	イベント等の事前告知を行い、利用者に対し公平・公正に対応するようシステムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	記録や会議による情報共有を図り、引継ぎ期間を設け、事業の継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:347日 開館時間:8:30～17:00 職員配置:正職員及び臨時職員 16人 臨時職員賃金:時給1,010円～1,250円	A	基本的事項については、概ね実施計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 保護者の復職により保育園入園者が増えたため支援啓発利用者が減少、他市利用者の利用制限を行ったため(子育てひろば)、前年度よりも減少した。 さまざまな講座やイベントが実施され、参加者のニーズに添っている。	A
利用状況	【利用状況】()内は対前年度比 利用者延べ人数 25,530人(89.5%) 【内訳】一時あずかり保育 1,972人(100.1%) 子育てひろば 16,108人(87.4%) 支援啓発 7,450人(91.6%)	A		
運営企画	グループ活動室管理、子育て講座・子育てイベント、身長体重測定、親子クリスマスコンサート、年齢別サークル、子育て情報紙の発行、ボランティアによるサークル、事業協力(見守り保育)、水遊び、壁でお絵かき、立川消防所錦出張所訪問、各種講座、季節の壁面制作、誕生会、父親向けイベント	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:66,080,880円、支出:66,080,880円 ※指定管理料同額 人件費比率:79.6%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	団体総合補償制度費用保険 支払限度額:300万円(センター全体対象の請負賠償責任保険10億円に追加で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	印刷業務、丁合・製本業務	A		
新たな取り組みの状況	セクシャルヘルス講座、親子クリスマスコンサート、日曜日応募受付、保育士のエプロン統一、保育室の模様替え、親子ジャズ、ロックダンス、ママの体の癒し	A		
提案の実施状況	子育て支援につながる講座・イベント等 一時あずかり保育 子育てひろば	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	接遇研修を実施するとともに、朝礼で望ましい姿を共有するなど、親切で正確かつ丁寧な対応を心掛けた。	A	職員の対応は良好に行われている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化をはかっている。 公平・公正な利用システムが構築されている。	A
マニュアルの整備	業務マニュアル、防災対応マニュアル、地震対応マニュアル、不審者対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、苦情対応マニュアル、危機管理マニュアルを設置している。	A		
研修・教育の実施状況	各種業務研修、接遇研修、危機管理研修、衛生関連研修等を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	月に1回連絡調整会議を開催している。 緊急時対応マニュアルを事務室内に掲示している。 他の児童館内子育てひろばへの巡回指導に一部課題があった。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内掲示にて公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内リーフレットや通信を作成し、配布している。ホームページでも施設利用案内を周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業運営に支障がない範囲で公表している。	A		
公平・公正利用の確保	ホームページ、チラシ等で広く周知するなど、公平・公正に利用できるシステムを構築している。	A		
業務の点検	行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外。	—	備品管理は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外。	—		
保安・警備	評価対象外。	—		
小規模修繕	評価対象外。	—		
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員に研修を行い、責任者が適正な管理について指揮監督している。	A	適切な指導を行っており、条例・規定に基づき適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	立川市個人情報保護条例及び法人の個人情報保護規定に基づき、適切に執行している。	A		
適正な管理	記録媒体・個人パソコンの持ち込みを禁止するとともに、入職時に個人情報の取扱いについて誓約書を交わしている。	A		
再委託の禁止	市の承諾なしに、業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	責任者を中心に危機管理等研修に参加するとともに、適時研修を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	条例及び個人情報保護規定に基づき、ルールを整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	2件の苦情があったが、適切に対応された。 ・泣いている子に対しケアしなかったことへの苦情。 ・泣いている子を外の人から見えないようにしてほしいとの苦情。	A	事故、苦情に対しては適切に対応されている。	A
事故の予兆に対する対応	・壊れた玩具を事前撤去。 ・入口のベビーゲートを外し視界を広くした。 ・指導員2名以上で見守った。			
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	・弁当用飾りピックを口に入れようとした。 ・授乳コーナーのパーテーションが倒壊した。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制を構築し、災害時の避難対応・不審者対応などの取り組みを行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	評価対象外。	—		—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		
(10)立川市のコスト削減状況				
該当なし	開設当初から指定管理のため、比較不可。	—		—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
◆ 総合評価				
【支援啓発】 講座やイベントの開催により子育ての孤立化を防ぐという目的にあった支援啓発が行えていた。また祖父母世代や利用者を主体とした取り組みがあった。 【一時預かり保育】 一時預かり保育については、一年を通じて安定的に運営されていた。利用者の利便性の向上のために行った日曜日、祝日の予約方法の変更にあたっては、統括が中心となって改善を図り混乱なく変更することができた。今後も統括、保育リーダーを中心に、利用者の立場に立った運営をお願いしたい。 利用者からの苦情は以前と比べ大幅に減少したものの数件寄せられており、いずれも利用者との信頼関係を作れば問題の無い案件であった。引き続き丁寧な対応をお願いしたい。 【ひろば】 くるりん子育てひろばによる巡回については、今後、確認、調整の必要がある。貴団体運営の児童館における子育てひろばについて、立地条件等は不利でも、利用者数を確保できるひろばと、巡回対象であったふじみ子育てひろばのように、そうでないひろばについて大きな差が生じていた。利用数を伸ばしている貴団体のひろばのノウハウを他のひろばにも広げてほしい。 【全体評価】 子育て支援啓発事業では、自己評価、一次評価共にA評価で、利用者目線の運営がなされていた。過去に苦情や要望が多かった一時預かり事業では、日曜日の予約の往復はがき抽選制度の導入や、身だしなみ、保育室の備品等の改善の努力により、苦情の件数が減少した。子育てひろば事業では、より安全な運営を目指しながら市民の利用を重視した運営がなされている。 開設当初から多かった市のHP経由での利用者からの細かな接遇への苦情やクレームが減少傾向となった。各部門で苦情や要望等を市民から直接伺おうとする姿勢や接遇面での改善によるものと考えられる。 指定管理開始より5年経過し、事業委託期間の折り返し時点となる。一時預かり、ひろば、支援啓発という複数部門を同じ場所で展開する利点を生かし、今後蓄えたスキルと指定管理ならではの独自性を生かした事業展開を期待したい。		A	地域の子育て支援の拠点として、種々の取り組みを行っている。 仕様等の水準には達していると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～平成36年3月31日(11年4か月)	
事業番号	事業名称	事業担当課
3	市民活動支援業務	協働推進課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書に従い、本施設における市民活動支援機能が円滑に提供されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解している	定期的な研修、教育を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	募集要項に則り、公平に利用登録を行っている。また、5つの活動コンセプトに沿ったプログラムか判断し実施サポートしている。	A		
事業の継続性の担保	全てのコーディネーターに業務内容を安定的に実施するための教育体制をとっている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:359日 開館時間:9:00～21:30 職員配置:正職員 2人、臨時職員1人 臨時職員賃金:1,500円	A	基本的事項は、計画通り実施されている。 市民活動プログラム実施数、参加者数ともに微増した。 登録団体懇親会を実施し、団体同士のつながりづくりにも取り組んでいる。 提案項目については、着実に実施されている。	A
利用状況	【利用状況】 ()内は対前年度比 プログラム実施数 323件(114.1%) 利用者数 10,368人(102.2%) 〔内訳〕 協働事務室 2,238人(106.2%) プログラム 8,130人(101.2%)	A		
運営企画	登録団体懇親会の実施(15回) 勉強会の実施(1回)	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:13,560,480円、支出:13,560,480円 ※指定管理料同額 人件費比率:57.3%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	行事参加者にかかわる傷害保険 支払限度額:1事故500万円(センター全体対象の請負賠償責任保険10億円に追加で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	第三者への委託は行っていない。	—		
新たな取り組みの状況	勉強会の実施(1回) 喫茶めがねの開催、(2回) 市民ボランティアと連携したプログラム企画・運営(1回)	A		
提案の実施状況	市民活動プログラムの広報・実施支援、市民参加促進ネットワーク構築事業、市民ボランティア活動支援、市民活動関連施設等の貸出・管理・運営、活動者数・利用者数の把握、登録団体合同イベントの企画	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適時教育を実施しながら対応。利用者アンケートでは職員の対応について高い評価を受けている。	A	利用者への対応は良好であり、利用者アンケートでも高い評価を得た。 各種マニュアルを整備し、それに基づき実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化を図っている。	A
マニュアルの整備	市が求めたマニュアルは整備され、概ねそれに基づいて実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	年1回の社内研修を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	月1回の連絡調整会議、分科会の他にも適時電話、メールでの連絡・調整を行っている。	A		
利用者アンケート等の実施	プログラム参加者、プログラム実施団体に対してアンケートを行い実施団体に公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市民活動支援機能パンフレット、プログラムのカレンダーなどを発行、またホームページでも周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成、市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	募集要項に基づき、公平な利用登録を行っている。	A		
業務の点検	毎週定例会を実施し、業務の点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外。	—		
施設及び設備の保守・点検	評価対象外。	—		
保安・警備	評価対象外。	—		—
小規模修繕	評価対象外。	—		
備品管理	評価対象外。	—		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員に指導している。	A	個人情報保護規程を整備し、適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	各種条例等の規定に基づき業務を執行している。	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等については、厳重に保管している。	A		
再委託の禁止	業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	適切に実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程を整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	特に大きな事故や苦情はなかった。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	評価対象外。	—		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	評価対象外。	—		—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
該当なし	開設当初から指定管理のため、比較不可。	—		—
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>市内外の市民活動団体が、市民活動コーディネーターの助言等により、子ども未来センターを活用して市民活動プログラムを提供し、団体の活動が活性化した。スタッフを除いたプログラム参加者数は平成27年度に比べ若干減少したが、市民活動プログラム数は増加しており、評価できる。また、登録団体同士の協働プログラムの実施支援や新たな形態の懇親会なども実施して、団体同士のつながりづくりも行っている。</p> <p>近隣の小学校や地域企業等と情報交換を実施するとともに、市民活動センターたちかわ等とも情報交換を行うなど、ネットワークづくりも積極的に行っている。</p> <p>子ども未来センターの運営及び市民活動プログラム実施支援に係るボランティアの活動支援を行い、個人として子ども未来センターに関わりたい人の多様な活動を支援している。</p> <p>子ども未来センターや市民活動プログラムを周知するため、地域団体と連携して出張プログラムを実施している。</p> <p>協働事務室登録団体のプロフィール冊子の作成やスキルアップ勉強会を行うなど、登録団体の活動に役立つ取組として評価できる。</p>		A	<p>市民活動団体の活性化やボランティアの育成など、さまざまな取り組みで市民活動支援に成果があった。</p> <p>施設の目的に沿った、効果的な運営がなされたと判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター		非公募・特命	地域文化課
指定管理者名		指定管理期間	
合人社計画研究所グループ		平成24年12月1日～平成36年3月31日(11年4か月)	
事業番号	事業名称	事業担当課	
4	文化芸術活動支援業務	地域文化課	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	評価対象外。	—		—
職員が施設の設置目的を十分に理解している	評価対象外。	—		
利用者の公平・公正利用の確保	評価対象外。	—		
事業の継続性の担保	評価対象外。	—		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	評価対象外。	—	年間を通しまんがを軸に、様々な企画が行われ、好評を得ている。 さまざまなジャンルのアーティストとの連携の中で質の高いサービスを提供している点は評価できる。	A
利用状況	【利用状況】 文化芸術講座参加者数 979人 (前年度比120.6%)	A		
運営企画	ヴァイオリングループレッスン、子ども未来センター美術部、カッティングシートワークショップ、サンバ体操、はじめての新体操、まんが絵の描き方教室、舞台道具制作ワークショップ、アラビアンナイトワークショップ、夢のマンガ雑誌をつくろう、マンガ科授業体験、ドラムサークル、まんがペン入れ教室、イラスト連続まんが講座、まんが伝言板	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:6,480,000円、支出:6,480,000円 ※指定管理料同額 人件費比率:40.0%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	普通傷害保険 支払限度額:1億5千万円(センター全体対象の請負賠償責任保険10億円に追加で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外。	—		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
提案の実施状況	文化芸術講座を年間で52回開催し昨年度に比べ参加者が20%増加した。	S		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に挨拶・応対を実施し、笑顔の接客に努めている姿が見られる。利用者アンケートの結果では回答者の90%が満足・概ね満足と回答。	A	利用者の立場に立って接客ができています。 各種マニュアルを整備し、それに基づき実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化を図っている。	A
マニュアルの整備	市が求めたマニュアルは整備され、概ねそれに基づいて実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	随時実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月1回連絡調整会議を実施している。危機管理マニュアルに緊急連絡先、災害時処理フロー等を記載している。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、施設ホームページにて公表	A		
広報・PR等の利用情報の提供	リーフレットを作成し、配布している。ホームページでの周知も行っている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成、市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	公平性に配慮した形で構築できている。	A		
業務の点検	四半期毎に実施している。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外。	—	—	—
施設及び設備の保守・点検	評価対象外。	—		
保安・警備	評価対象外。	—		
小規模修繕	評価対象外。	—		
備品管理	評価対象外。	—		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員に指導している。	A	個人情報保護規程を制定し、概ね適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	各種条例等の規定に基づき業務を執行している。	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等については、鍵付の書庫等に保管している。	A		
再委託の禁止	市の承諾なしに、業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	適切に実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程を整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	事故・事件の予防に関する内容を含んだ危機管理マニュアルを定め、適切に対応するよう努めている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制を構築し、周辺関連機関への連絡体制を整備している。年に1回の避難訓練を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	評価対象外。	—		—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
該当なし	開設当初から指定管理のため、比較不可。	—		—
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>指定管理者が運営する「まんがぱーく」の強みを生かしつつ、多様なジャンルを題材にした講座が実施されている。</p> <p>商店街や地域文化振興財団、他の地域団体や地元のアーティストなど多岐に渡る主体と連携、情報交換、時には切磋琢磨しながら、参加者目線に立った講座が実施されている。</p> <p>講座の参加者だけでなく、講座を開催する主体同士が繋がるきっかけになるイベントが実施がされており、今後の更なる展開が期待される。</p>		A	<p>確実に取り組みを推し進め、地域の文化芸術活動拠点としての役割が大きくなってきている。</p> <p>講座数の増により利用者数が増加したこと、利用者の満足度も高いことから、良好に運営されている。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柴崎市民体育館	公募	スポーツ振興課
指定管理者名	指定管理期間	
住友不動産エスフォルタ・住友不動産建物サービス・鹿島建物総合管理共同事業体	平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書及び設置目的を十分に理解するために研修を行い、管理運営にあたった。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	公共施設であることを理解し、設置目的及び第3次スポーツ振興計画などの勉強会を行い理解度の向上を図った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	性別・年齢・国籍・障害の有無などの差別なくすべての利用者が公平・公正に利用できるシステムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	事業が安定的かつ継続的に遂行するために引き継ぎ、連絡体制を構築している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:348日 開館時間:9:00~23:00 職員配置:正社員・契約社員 10名 その他臨時職員 臨時職員賃金:時給932円~1,250円	A		
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合計 280,353人(105.8%) 個人利用 112,825人(103.6%) 団体利用 103,470人(96.7%) 教室利用 64,058人(130.8%)	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
運営企画	オリンピックイベント、バスケットボールのワンポイント指導、ランニング教室の開催	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
事業収支 経営状況分析指標	収入:232,189,447円、支出:220,149,803円 事業収支:12,039,644円 指定管理料:132,000,000円	A	団体利用は微減となったが、個人利用、教室利用は増加した。中でも教室等の自主事業の利用者増により約307万円の市への納付金が確保された。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円(市直営時の水準を上回る) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	事業者変更に伴うトレーニングマシン入れ替え等の初期費用が不要となったため事業収支は大きく向上しており、安定的な運営がなされている。	A
第三者への委託状況	プール水水質検査・簡易専用水道水検査、電話交換設備保守、自家用電気工作物保安管理、エレベータ設備保守、建築設備定期検査、競泳用自動時計保守、吸収冷温水機保守、スタジオ用吸収式冷温水器保守、プール水処理設備保守、プール滅菌装置保守、空調用自動制御装置保守、ばい煙測定検査、害虫防除及びタカラダニ防除、膜屋根保守、プールクリーナー保守、機械警備、植栽管理保守、消防用設備保守、放送設備保守、受水槽設備等清掃、雑排水槽点検清掃、汚水槽・湧水槽点検清掃、プール冠水槽清掃	A	教室等の自主事業の利用者増により、市への納付金は前年度より大幅に増加しており、市歳入に貢献している。	
新たな取り組みの状況	個人利用種目増設(バスケットボール)、フリースペース開放、市のマスコットキャラクター活用、新電力導入	A	提案事項は着実に実施されている。	
提案の実施状況	オリンピックによるクリニック、障害者向け教室、自主事業参加者による発表会、パーソナルトレーニング、ランニング教室、新電力導入	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	接客接遇マニュアルに基づき、対応されている。	A	職員の対応は適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。	A
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置し、適切に実施した。	A		
研修・教育の実施状況	社内研修、日常研修を積極的に実施。	A		
所管部署との連携・連絡	所管部署とは月1回会議を開催し、連絡・調整を行っている。	A		
利用者アンケート等の実施	定期教室参加者に利用者アンケートを実施し、閲覧できるファイルを設置してある。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットを施設内に設置するとともに、ホームページにより、適宜情報を発信している。	A		
事業計画・報告書の公表	企業ノウハウ以外は原則公開している。	A		
公平・公正利用の確保	施設予約システムにより、公平・公正利用を確保している。	A		
業務の点検	定期的なモニタリングを実施し、点検を行っている	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	計画書に基づき、適切に実施されている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 修繕も適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、施設管理マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	MIOX注入点バルブ修繕、温水循環ポンプNo.1配管修繕、MIOX装置電極入口センサー交換、濾過ポンプ修繕、消防設備不具合修繕、ボイラー1号機プロテクトリレー交換修繕、プール濾過系統吐出側配管交換修繕、ストレージタンクNo. 2修繕	A		
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	内部監査員による調査・監督を行っている。	A	個人情報マニュアルに基づき適切に実施された。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報保護条例を十分に教育・理解し業務を遂行している。	A		
適正な管理	全スタッフと個人情報に関わる同意通知を結び防止策を講じている。	A		
再委託の禁止	個人情報の取り扱いに係る再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	社内研修及び施設内での日常的な教育を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報マニュアルを整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	苦情に対し適切に対応している。 ・駐輪場が狭いと苦情があったため、駐輪場ラックを設置した。 ・プールギャラリーでの飲食を注意したところ苦情に発展したため飲食禁止の啓蒙POPを掲示。	A	意見・苦情に対しても、丁寧な対応がなされた。 マニュアルやフローの作成・運用により事故防止に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	プールサイドタイルが一部剥がれたためステンレス板を当てこむ補修工事にて対応。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	災害マニュアルや対応フロー、連絡フローを作成・運用するとともに、3か月に1度の避難訓練実施により事故防止に取り組んでいる。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域の方や来館者と積極的なコミュニケーションが図られている。 調整会議を開催し、体協との連携に努めている。 障害者団体向けに障害者教室を開催した。 自主的に根川緑道のゴミ拾いを行っている。	A	地域や関係団体等との連携・協力を努めている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
興業貸出し	プロバスケットボールの試合を行った。	A	スポーツ観戦についても寄与した。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	16,471,884円の削減。(平成20年度決算との比較)この他、3,077,102円の市への納付金あり。	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>平成27年度より新たな指定管理者に替わり、平成28年度は2年目となる。運営面では、民間スポーツ施設に準ずるファシリティを提供するとのコンセプトの下、トレーニングマシンの全面更新や誰でもトイレの設置、プールへの脱水機の設置などによりスポーツ環境の向上に取り組んでいる。また、事業者の直営フィットネスクラブ等にて実施しているメニューを市民体育館に展開しており、多彩な教室が好評となっている。季節のイベントなどの企画にも意欲的であり、地域へスポーツの楽しさを提供しようという積極的な姿勢がうかがえる。</p> <p>施設の維持管理の面では、老朽化している施設・設備の不具合が頻発し、難しい対応を強いられることも多い状況で、最善の対応に努めながら、着実に業務執行されている。</p> <p>また、利用者数は合計では前年度と比較し増となっているが、個人利用は微増、団体利用は微減であるのに対し、教室利用は3割増となっている。今後はよりバランスのとれた、広範に向けた取り組みに期待する。</p> <p>総合的には、指定管理者独自の強みを生かしながら、仕様書等の水準に達した運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>		A	<p>各種のイベントを実施するとともに、地域や体協との連携に努めている。</p> <p>仕様書どおり適切に対応しており、運営、施設管理等については、良好に行われている。特に事業収支については、初期費用が抑えられたことから大幅な改善が見られた。以上の理由から、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市泉市民体育館	公募	スポーツ振興課
指定管理者名	指定管理期間	
シンコー・立川体協・アズビル共同事業体	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書及び設置目的を十分に理解するために研修を行い、管理運営にあたった。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	公共施設であることを理解し、設置目的及び第3次スポーツ振興計画などの勉強会を行い理解度の向上を図った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	性別・年齢・国籍・障害の有無などの差別なくすべての利用者が公平・公正に利用できるシステムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	事業を安定的かつ継続的に遂行するために引き継ぎ、連絡体制を構築している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:335日 開館時間:9:00~23:00 職員配置:正社員・契約社員 8名 その他臨時職員 臨時職員賃金:時給940円~1,250円	A		
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合計 407,489人(112.3%) 個人利用 146,009人(108.4%) 団体利用 217,791人(114.2%) 教室利用 43,689人(116.3%)	A		
運営企画	ロコモティブシンドローム予防講座(体組成測定)、各種スポーツ教室、季節のイベント	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
事業収支 経営状況分析指標	収入:217,458,517円、支出:211,002,403円 事業収支:6,456,114円 指定管理料:126,925,714円	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は全体で前年度より約10%程度の増となっている。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	施設賠償責任保険 支払限度額:3億円(市直當時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	収支は、利用者数の増加に比例し、収入も増加した。また、教室等の自主事業の利用者増により約100万円の市への納付金が確保された。	A
第三者への委託状況	プール水水質検査・簡易専用水道水検査、電光得点表示システム保守、自家用電気工作物保安点検、直流非常用電源装置保守、冷温水機保守、ボイラー保守、ポンプ類保守、空調機PAC等保守、水槽類設備清掃、消防用設備保守、プールろ過装置保守、プール水殺菌装置保守、エレベーター保守、自動ドア保守、建築設備定期検査、清掃、廃棄物処理、機械警備、電話交換機設備保守、放送設備保守、樹木せん定	A	幅広い利用者ニーズに応える多様な教室を実施するなど地域のスポーツ振興に努めている。 提案事項は適切に実施されている。	
新たな取り組みの状況	更衣室空調機汚れ洗浄、立川DICEと連携事業、運動型健康増進施設認定取得、指定運動療法施設取得(申請中)	A		
提案の実施状況	遠隔監視システム導入、建物管理業務のWEB化、ボルダリングの設置、新規トレーニングマシンへの変更、物販・レンタル、自動販売機設置、スタジオ新設、運動型健康増進施設の認定取得、プール監視システム「ポセイドン」設置	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	接客接遇マニュアルに基づき、対応されている。	A	職員の対応は適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。	A
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置し、適切に実施した。	A		
研修・教育の実施状況	外部研修、社内研修、日常研修を積極的に実施。	A		
所管部署との連携・連絡	所管部署とは月1回会議を開催し、連絡・調整を行っている。	A		
利用者アンケート等の実施	定期的に利用者アンケートを実施し、結果をホームページで公開した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	折込チラシ、パンフレット、ホームページにより、適宜情報を発信している。	A		
事業計画・報告書の公表	規定に従い、公表している。	A		
公平・公正利用の確保	施設予約システム等により、公平・公正利用を確保している。	A		
業務の点検	社で定めるPDCAサイクルにて業務の改善を行い、さらに社内監査により改善に努めている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	業務漏れがないようにチェックリストを作成し、適切に実施された。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき概ね適切に実施されている。 修繕も適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、施設管理マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	体組成計修繕、第2駐車場水銀灯交換修繕、滅菌装置レベルスイッチ交換修繕、トレーニングマシン修繕、プールロボット修繕、トイレノズル協調ユニット修繕、汚水ポンプ交換修繕、ロッカー修繕、強制シャワー電動バルブ修繕、採暖室ヒーター交換修繕、薬注入ポンプ交換修繕、トレッドミル修繕、空調機コイル薬品洗浄修繕、冷水器修繕、トレーニングマシンレザークッション交換修繕、卓球台滑車修繕、排水ポンプ電源ブレーカー交換修繕、プール水槽部分再塗裝修繕、トレーニングマシン修繕、ロッカー修繕、第2体育館排煙窓修繕	A		
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	内部監査員による調査・監督を行っている。	A	個人情報保護マニュアルに基づき適切に実施された。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報保護条例を十分に教育・理解し業務を遂行している。	A		
適正な管理	全スタッフと個人情報に関わる同意通知を結び防止策を講じている。	A		
再委託の禁止	個人情報の取り扱いに係る再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	社内研修の実施及び施設内での日々の教育を実施を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報マニュアルを整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	マニュアルや訓練を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	毎日の朝礼・終礼などで対応策を確認。蓄積・共有することにより事故の未然防止・施設の安全に役立てている。月1回の社員ミーティングでも確認。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	地下階段から1階廊下の合流で出会いがしらにぶつかる恐れがあったため、ロープを設置し、防止に努めた。			
事故防止対策の取り組み状況	安全管理マニュアルや日常の救助訓練を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	・地域の方や来館者と積極的なコミュニケーションが図られている。 ・自主的に六中、砂川高校、泉野球場付近のゴミ拾いを行っている。	A	地域や関係団体等との連携、協力に努めている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
休館日電話対応 節水コマ設置 みるスポーツの実現 トップアスリートによる ジュニア育成教室 障害者スポーツ事業 高齢者教室事業	休館日の電話メッセージによる案内、シャワーと蛇口を節水コマに変更、プロバスケットボールの試合を10試合実施、元日本体操協会ナショナルコーチ指導による機械運動教室の開催、リオ五輪内定選手への練習施設提供、障害者スポーツ教室実施、高齢者対象の教室事業開催	A	問合せ対応の負担軽減や経費削減につながった。 スポーツ振興や競技力の向上に寄与した。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	8,594,268円の削減。(平成25年度決算との比較)この他、1,005,207円の市への納付金あり。	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
平成26年度に指定管理者制度を導入し、平成28年度は3年目となる。利用時間の拡大をはじめ、水着販売やレンタルロッカー設置、スタジオ教室やボルダリングの新設、トレーニングマシンの全面リニューアル等、様々な取り組みにより、サービスが大きく向上し、利用者増につながっている。2年目の平成27年度の時点で導入前と比較し5割強の利用者増を達成していたが、3年目の平成28年度も引き続き前年度比1割以上の増加率となり、導入前と比較すると約7割の利用者増となっている。 特に、夜間の騒音に心配のない立地であることもあり、体育室の夜区分の稼働率が高く、スポーツ実施率の低い成年人口(20～50歳代)のスポーツをする機会の創出に寄与している。 施設の維持管理面については、日々の適切な業務執行に加え、防犯カメラや貴重品ロッカーの設置等、安全性へのさらなる対応が図られている。 また、オリンピック・パラリンピックムーブメント事業や介護予防推進事業など、市の新たな施策展開に呼応する形で、障害者スポーツ教室や高齢者教室などを実施するなど、公共施設としての役割を意識した運営姿勢は評価できる。 今後も、共同事業体を構成する各団体の強みを生かした良好な施設管理運営と、さらなる事業展開を期待し、A評価とする。		A	利用時間の拡大や、トレーニング室の利用増、各種教室事業の拡大により、利用者数の大幅増を実現した。 運営、施設管理等については、仕様書どおり適切に対応しておりA評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市幸児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営。事業計画書に基づき計画的に実施した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営事項を確認した。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：333日 開館時間：9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置：常勤4名、非常勤7名(内1名は夜間対応職員) 非常勤賃金 時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 館外行事利用者は若干減少しているが、児童館利用人数、団体利用人数については、新規行事、多様な運営企画等の実施により増加した。 提案事項は着実に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合計 28,738人(111.4%) 個人利用 25,835人(112.2%) 団体利用 2,176人(127.6%) 館外行事 727人(68.9%)	A		
運営企画	親子参加型企画、子どもの日企画、宿泊企画、子ども実行委員会、地域との連携、近隣学校との連携、乳幼児事業	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入：35,412,138円(指定管理料) 支出：33,590,185円 事業収支：1,821,953円 人件費比率 74.4%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円(市の直営時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守、館内・じゅうたん清掃、害虫駆除、建築設備定期検査、樹木せん定、非常通報装置保守管理	A		
新たな取り組みの状況	利用者ボランティアによる提案行事の開催	A		
提案の実施状況	畑づくり、児童館ファミリーカフェの運営、ランチタイム、料理教室、学習ひろば、宿題応援週間、世界のことばであそぼう、企業向け出張講座	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。 利用案内リーフレットの発行、立川市ホームページにおたよりを掲載、独自ホームページにより情報の発信を行っている。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアルを設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修の実施。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に掲示した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページによる情報発信	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるようになっている。	A		
業務の点検	法人内部監査を実施。適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	コンセント修理	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、事業所副所長、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアル等に基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修の実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを設定し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	3件の事件・事故があったが、適切に対応された。 ・結果として児童に影響はなかったが、職員が鍵を忘れたことにより開館時間が5分遅延した。 →複数職員による鍵の管理および勤務シフトの確認を行うこととした。 ・子どもが靴下をはいたまま遊んでいたことによる遊戯室内での転倒と飲み物がこぼれていたため足をすべらせて転倒の2件があったが適切に対応した。	B	職員が鍵を忘れたことにより開館時間の遅延は発生したが、その他の事故・苦情等には適切に対応された。 マニュアルや会議を通じて事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	1階遊戯室の床が滑りやすく、怪我につながる恐れがあったため、裸足で遊ぶよう声かけ、床を水拭きするなどして対応。また遊びにより遊戯室を分けるなど、怪我防止に努めた。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 避難訓練(2回)、防災講習(1回)の実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域交流会の開催や、公園の清掃等を通じ地域との関係を築いている。 また、地域の行事や会議に積極的に参加し、地域の児童館として役立っている。	A	地域住民および関係機関との連携が図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	3,964,983円の削減。(平成20年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
各種機関との連携・協力が増え、また、企業向けの出張講座など企業との連携も行われている。 新規事業としては、利用者ボランティアによる提案行事として、ボランティア主体のボール入れ大会が行われた。 多数の地域の会議、多くの地域行事などに参加し、また、共催行事を実施するなど交流を深めた。 平成21年度指定管理者移行当初から、隣の公園の清掃を毎日行い、周辺住民との関係作りに努め、また、公園で遊んでいる児童のトラブルにも対応している。同時に、公園での夜遊びやごみに関しても児童館へ苦情が寄せられているが、付近の見守り等可能な限り対応している。 子どもの居場所確認の連絡が保護者よりしばしばあり、外で遊ぶときはとりあえず児童館へ、とわが子に伝えているという声もあり、地域の居場所としての役割が大きくなっている。		A	開館時間の遅延はあったが、館の管理・運営だけでなく、清掃活動などを通じ地域に溶け込んでおり、地域の児童館として、認知が広がっている。 総合的に管理・運営状況は適切であると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営。事業計画書に基づき計画的に実施した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営事項を確認した。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数: 333日 開館時間: 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置: 常勤5名、非常勤4名 非常勤賃金: 時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 個人利用者数は学習館との連携による館外行事等により、前年度より増となった。 多様な運営企画を実施され、多数の参加があった。 提案された事項は着実に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合計 25,642人(98.6%) 個人利用 22,398人(100.3%) 団体利用 648人(90.2%) 館外行事 2,596人(88.1%)	A		
運営企画	子どもの日企画、宿泊行事、季節行事・子ども実行委員会、地域との連携・子ども実行委員会、高松学習館との連携行事、他児童館との合同行事	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入: 34,683,353円(指定管理料) 支出: 33,824,097円 事業収支: 859,256円 人件費比率 75.3% 指定管理料の中で適正に事業を行うことができた。	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 3億円(市の直営時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	定期清掃、害虫駆除、非常通報装置、じゅうたん清掃	A		
新たな取り組みの状況	学習ひろば、地域の講師による教室、親子サークル、保護者の自主サークル、ママ講師事業、シニアボランティアの活用	A		
提案の実施状況	食育事業(緑のカーテンサポート隊、ランチタイム等)、小学生支援(遊び、工作等)、中高生支援(学習ひろば等)、親支援(子育て講座等)、多世代交流事業、NPO・近隣施設・商店街・会館・学習館祭りとの連携、障害者理解の職員研修、高齢者ボランティア	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。 利用案内リーフレットの発行、立川市ホームページにおたよりを掲載、独自ホームページにより情報の発信を行っている。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、衛生管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、清掃マニュアルを設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修の実施。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に掲示した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページによる情報発信。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるようになっている。	A		
業務の点検	法人内部監査を実施。適宜行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	屋上排水溝修繕	A		
備品管理	備品台帳により適切に管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、事業所副所長、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアル等に基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修の実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを設定し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	4件の苦情・事故があったが、適切に対応された。 ・子どもが転倒し指を負傷した際の実習生の対応についての保護者からの苦情。 ・口内外の切り傷。 ・忘れ物返却時の職員の対応についての苦情。 ・左手親指捻挫。	A	事故・苦情等に対しては適切に対応している。 マニュアルや会議を通じて事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	トランポリンのゴムの劣化により、スペアゴムとの交換を行った。あわせてスペアゴムの常備について定期的に確認を行う。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・1階倉庫の施錠忘れ ・ガスの元栓閉め忘れ			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 避難訓練を実施、地域の防災訓練に参加。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域懇談会の開催や、高松会館、学習館、商店街との連携に努めている。 地域福祉コーディネーターと連携するとともに、火ばさみ隊によるゴミ拾いなどにより、地域に貢献している。	A	地域との連携が図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。			
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	5,633,642円の削減。(平成22年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
28年度は地域との連携事業として、ヤン〜シルフェスタやハロウィンでの仮装パレードなどにより商店街や地域との連携に取り組んだ。宿泊行事としてお泊り会での銭湯入浴体験や天体観測を実施した。また高松学習館と連携しオープン子ども科学遊び隊を行った。 新規事業として親子サークル、保護者の自主サークル、ママ講師事業やフラワーアレンジメントの講座を実施した。 地域団体の会議に積極的に参加し、商店街との連携、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。 歯科講座、マタニティー講座など乳幼児親子の事業にも力を入れており、子育て支援に取り組んでいる。 以上のように、新たな事業を実施し、安定的な運営が行われている。		A	連携行事を通して商店街や地域と連携した運営を行っている。 総合的に管理・運営状況は適切であると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成28年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
若葉児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日から平成30年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	若葉児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	若葉学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成25年度から児童館、併設学童保育所を一体で指定管理者制度を導入した若葉児童館は、日曜開館、利用時間の延長、事業の充実や地域との連携等に取り組み、併設の若葉学童保育所も土曜日の延長保育を実施した。児童館の常勤職員1名を非常勤職員で対応した時期があったが、ともに安定した運営に取り組んだ。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
1	若葉児童館運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営。事業計画書に基づき計画的に実施した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営事項を確認した。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数: 333日 開館時間: 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置: 常勤3名、非常勤5名 非常勤賃金: 時給1,000円	B	基本的事項について、職員数は足りているが、常勤職員が計画に比べ1名不足している。 給与単価については、法令等遵守されている。 多様な運営企画が実施され、利用者数は前年度より増加した。 提案内容については、着実に実施されている。	B
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合計 23,966人(115.2%) 個人利用 22,677人(114.2%) 団体利用 595人(90.7%) 館外行事 694人(239.3%)	A		
運営企画	子連との共催(ストラックアウト)、子ども実行委員(お化けやしき、夏祭り)、地域との連携(若葉会館まつり、ハロウィンパレード)、多世代交流(猿回しショー)、スポーツフェスタ、お正月遊び、防災イベント(避難訓練等)	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入: 51,988,388円(指定管理料) 支出: 50,868,669円 事業収支: 1,119,719円 人件費比率: 77.9% 指定管理料の中で適正に事業を行うことができた。	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 3億円(市の直當時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守、定期清掃、害虫駆除、非常通報装置保守、樹木せん定、建築設備定期検査、カーテンクリーニング、ピアノ調律	A		
新たな取り組みの状況	子育て講座の開催、おもちゃ交換バザール、親子そば打ち体験、児童館運営委員会	A		
提案の実施状況	子育て講座、月齢に合わせての関わり、遠足、児童館に泊まる、中高生の居場所づくり、ホリデースクールわかば	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。 利用案内リーフレットの発行、立川市ホームページにおたよりを掲載、独自ホームページにより情報の発信を行っている。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修・外部研修への参加。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に掲示した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページによる情報発信。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるようになっている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	壁修繕、トランポリン修繕、ピアノ修繕、ガラス修繕	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、事業所副所長、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアル等に基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理の徹底。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施。 各現場の事例検討研修実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	4件の苦情・事故があったが、適切に対応された。 ・子どもが壁を蹴ったため破損。 ・サッカーボールによる隣接保育園のひさしの破損。 ・サッカーボールによるドアガラスの破損。 ・児童のエアガン持ち込みによる保護者からの苦情。	A	苦情等に対しては適切に対応している。	A
事故の予兆に対する対応	日々の昼礼会議、月1回の職員会議等で職員配置の徹底と、見守り強化・連携に努めた。		大事には至らなかったが、軽微なミスについては再発防止の徹底に努められたい。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・ランドセル来館登録児童の来館遅れ。 ・工作室の鍵の一時紛失。		マニュアルや会議を通じて事故防止対策に取り組んでいる。	
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 避難訓練(3回)及び防災食の試食、防災についての講演会を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域交流会の開催や若葉青少健への参加等、常に地域との連携に努めている。 小学校下校時の見守りや地域夏祭り後の夜回りパトロールにも参加している。	A	日常的に地域との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	3,133,361円の削減。(平成23年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>若葉町地区子ども会育成者連絡協議会との共催でお楽しみ会、ホリデースクールとの連携事業として工作コーナー、地域との連携としてハロウィンパレードで地域のお店や交番に衣装を着て訪問するなど行った。また、新たに「親子でそば打ち体験をしよう」を近隣そば店の協力で行い、地域との連携に取り組むことができた。</p> <p>地域団体の会議に積極的に参加し、商店街との連携、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。</p> <p>乳幼児親子の事業として食育講座、子育て講座としてパパのベビーマッサージ、ベビーグッズ・おもちゃ交換会、リズム遊びなど、子育て支援に取り組んだ。</p> <p>以上のように、新たな事業を実施し、安定的な運営が行われている。</p>		A	<p>多彩な事業の実施効果により利用者は大幅に増加した。</p> <p>総合的には管理・運営状況は一定の水準にあると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
2	若葉学童保育所運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	毎月学童団会議、随時児童館・学童保育所の合同団会議において、設置目的や運営事項を確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	学童保育所入所のしおりの配布、入所する前の事前説明会を必ず実施し、使用方法の統一化を図っている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：243日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置：常勤3名、非常勤4名 非常勤賃金：時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。 提案内容については、着実に実施されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 45人 延べ利用人数 8,373人(99.7%)	A		
運営企画	新入所歓迎会、お誕生日会(毎月)、工作、児童館行事(夏祭り)、スポーツ大会、おたのしみランチ、伝承遊び	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(若葉児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:3億円(市の直営時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外(若葉児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況	ゲーム大会、子ども喫茶	A		
提案の実施状況	児童館行事への参加、子ども面談の実施、子ども会議の実施、地域との連携、保護者面談の実施、障害のある子の行事への積極的な参加へのサポート	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、それにそって業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。	A
マニュアルの整備	児童館/学童保育所マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の職務手引書を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加	A		
所管部署との連携・連絡	随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内を設置。 市ホームページでの情報提供。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	若葉児童館にて一括して実施。	—		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、定期的に所長及び事業本部が巡回して確認。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報の取扱い者を限定し、使用時には複数の職員で確認を行い鍵付書庫での管理を徹底している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修、各現場の事例検討研修を実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	4件の事故があったが、適切に対応された。 ・他児童が投げた石が当たり患部が腫れた。 ・他児童に後ろから押されたため右すねを打撲。 ・遊戯中他児童の足が引っ掛かり転倒、右足甲を骨折。 ・児童が非常ベルを故意に押した。 また、1件の苦情があった。 ・職員の軽率な発言により児童を不安にさせてしまった。その後、保護者から苦情が入った。	B	事故に対しては概ね適切に対応しているが、職員の発言が児童を不安にさせてしまった。	B
事故の予兆に対する対応	職員会議で事故事例等を共有。清掃時の点検の徹底、保育室の窓から乗り出さないようストッパーの設置と指導員の見守りの徹底。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 毎月、避難訓練を実施している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域との連携に取り組んでいる。	A	地域住民との連携は図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	若葉児童館にて一括して記載。	—		—
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		2次評価
◆ 総合評価				
若葉学童保育所では、月毎に誕生日会、スポーツ大会、工作教室を、季節行事として新入所歓迎会、お楽しみランチ、伝承遊びとして昔遊び、新規行事として、ゲーム大会、子ども喫茶を実施した。 また、夏まつりなど児童館行事や子育てひろばへの参加や、児童館との合同避難訓練など連携して行われた。地域との連携については、児童館地域懇談会での学童保育所の活動報告や意見交換が行われた。 なお、学童の運営については、土曜日の延長保育が実施され安定した運営に取り組んでいる。		A	児童館と合同行事を実施するなど併設のメリットを生かしながら運営されている。 総合的に管理・運営状況は適切であると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成28年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
西砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日から平成30年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	西砂児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	松中学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成25年度から児童館、併設学童保育所を一体で指定管理者制度を導入した西砂児童館は、日曜開館、利用時間の延長、事業の充実や地域との連携等に取り組み、併設の松中学童保育所も土曜日の延長保育を実施し、ともに安定した運営に取り組んだ。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
1	西砂児童館運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営。事業計画書に基づき計画的に実施した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や、運営事項を確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：333日 開館時間：9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置：常勤3人、非常勤5人 非常勤賃金：時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者は新規企画や地域連携の拡大等により前年度に比べ増加している。 多様な運営企画を実施し、多数の参加があった。 提案のあった企画等は概ね実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合計 23,915人(102.9%) 個人利用 22,807人(100.9%) 団体利用 393人(623.8%) 館外行事 715人(125.4%)	A		
運営企画	子どもの日企画、子ども実行委員会によるおばけ屋敷、児童館に泊まろう、ハロウィンパーティ、にしすな子どもまつり、クリスマスパーティ、西砂学習館祭りとの連携、松明祭り	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入：55,908,301円(指定管理料) 支出：55,615,323円 事業収支：292,978円 人件費比率：76.4% 指定管理料の中で適正に事業を行うことができた。	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円(市の直営時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	定期清掃、樹木せん定、害虫駆除、空調設備点検保守、カーテンクリーニング、消防設備点検保守、建築設備定期検査、非常通報装置保守	A		
新たな取り組みの状況	西砂川スポーツ大会の参加、ふれあい松明祭りへの参加、松中小放課後子ども教室との連携、つくしの学校	A		
提案の実施状況	食育事業、乳幼児子育て講座、妊産婦支援事業、父親育児講座、被災地復興支援	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。 利用案内リーフレットの発行、立川市ホームページにおたよりを掲載、独自ホームページにより情報の発信を行っている。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修の実施。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に掲示した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページによる情報発信。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕・備品管理についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	特になし。	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長が巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施。 事業所内でのプロジェクト会議、研修の実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	4件の事故があったが適切に対応された。 ・児童同士の衝突により片方の児童の前歯から出血。 ・中学生が投げたブロックが壁掛け時計に当たり落下、落下した衝撃により破損。 ・料理行事の際児童が包丁で指を切り出血。 ・サッカーの最中に転倒、左手を地面につき左ひじ骨折。	A	事故に対しては適切に対応している。 マニュアルや会議を通じて事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	柱・棚・机の角へのクッション材取り付け。はさみ、カッターその他刃物等の事務室管理の徹底。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 また、学童・児童館合同や単独での避難訓練を実施している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域交流会の実施、地域学習館運営協議会への参加、西砂青少健、西砂子連との連携などにより、情報共有している。 社協や子ども家庭支援センターとの連携に努めている。	A	地域との連携は図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	615,040円の削減。(平成23年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>地域団体の会合等に積極的に参加し、また、「ふれあい松明まつり」や「にしすな子どもまつり」、松中小放課後子ども教室との連携等地域行事にも参加、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。</p> <p>新規事業として、子どもの居場所、学習支援のため「つくしの学校」を地域ボランティアの協力により実施した。</p> <p>保護者向け学習会として子育てひろばでの講座や子育てサポーター養成講座、乳幼児子育て講座等を行い、子育て支援に取り組んでいる。</p> <p>多世代交流として、老人会ボランティアによる将棋教室などに取り組んでいる。</p> <p>以上のような事業を実施し、安定的な運営が行われている。</p>		A	<p>多彩な運営企画を実施し利用者数の増加につながった。</p> <p>関係機関、地域とさまざまな事業を通じて連携しており良好な関係が構築されている。</p> <p>今後も安定して運営に努め、さらなるサービス向上に期待する。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
2	松中学童保育所運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	毎月学童団会議、随時児童館・学童保育所の合同団会議において、設置目的や運営事項を確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	学童保育所入所のしおりの配布、入所する前の事前説明会を必ず実施し、使用方法の統一化を図っている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：243日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置：常勤3名、非常勤3名 非常勤賃金：時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。 提案内容については、概ね実施されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 70人 延べ利用人数 13,110人(103.6%)	A		
運営企画	工作週間、誕生会、夕涼み会、クリスマス会、子どもまつり、ハロウィンパーティー、伝承遊び	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(西砂児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円(市の直営時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外(西砂児童館にて評価)	—		
新たな取り組みの状況	たんぽぽカフェ、ふでっこ	A		
提案の実施状況	食育事業、児童館行事への参加、地域交流会の実施、乳幼児事業への参加、児童館との合同研修、避難訓練、ボランティアの受入れ、地域貢献、学校との連携	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の職務手引書、清掃マニュアルを設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修・外部研修への参加、自主研修の実施。	A		
所管部署との連携・連絡	随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内を設置。 市ホームページでの情報提供。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	西砂児童館にて一括して実施。	—		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、定期的に事業本部が巡回して確認	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修、各現場の事例検討研修を実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	2件の事故があったが、適切に対応された。 ・児童がボールを投げた際、階段から転倒し右足首を捻挫。 ・児童同士が衝突し、頭部に痣をつかった。	A		
事故の予兆に対する対応	柱・柵・机の角へのクッション材取り付け。はさみ、カッターその他刃物等の事務室管理の徹底。		事故に対しては適切に対応している。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。		けがの未然防止、および事故発生時の適切な対応について、より一層努められたい。	
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 学童・児童館合同や単独の避難訓練を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域交流会の実施、地域学習館運営協議会への参加、西砂青少健、西砂子連との連携などにより、情報共有している。 社協や子ども家庭支援センターとの連携に努めている。	A	日常的に地域との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	西砂児童館にて一括して記載。	—		—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
◆ 総合評価				
<p>松中学童保育所では、月毎に誕生日会、工作教室を、季節行事としてハロウィンパーティー、伝承遊びとして昔遊び、父母会共催行事として、夕涼み会、クリスマス会などの行事を実施した。</p> <p>新規事業として、地域の方々を招き交流を図る事業として「たんぽぽカフェ」、習字教室の「ふでっこ」を実施した。</p> <p>また、西砂子どもまつりなど児童館行事や子育てひろばへの参加や、児童館との合同避難訓練など連携して行われた。地域との連携については、児童館地域懇談会での学童保育所の活動報告や意見交換が行われた。</p> <p>なお、学童の運営については、土曜日の延長保育が実施され安定した運営に取り組んでいる。</p>		A	児童館との併設のメリットを生かしながら、運営されており、仕様書の水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成28年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
羽衣児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成26年4月1日から平成31年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	羽衣児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	羽衣学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成26年度から児童館、併設学童保育所を一体で指定管理者制度を導入した羽衣児童館は、日曜開館、利用時間の延長、事業の充実や地域との連携等に取り組み、併設の羽衣学童保育所も土曜日の延長保育を実施した。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
1	羽衣児童館運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営。事業計画書に基づき計画的に実施した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営事項を確認した。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館利用についての話し合いや利用案内の配布、利用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：333日 開館時間：9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置：常勤3人、非常勤6人 非常勤賃金：時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 多様な行事の実施により利用者は前年度より増加した。 多様な運営企画を実施し、多数の参加があった。 提案のあった企画等は概ね実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合計 25,047人(101.7%) 個人利用 23,852人(101.2%) 団体利用 645人(103.9%) 館外行事 550人(237.2%)	A		
運営企画	子どもの日企画、宿泊企画、学童父母会共催夏まつり、葉拓、みんなでアート、地域連携子どもまつり、館対抗ドッジボール大会、星空観測会	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入：54,649,443円(指定管理料) 支出：51,074,652円 事業収支：3,574,791円 人件費比率：78.1% 指定管理料の中で適正に事業を行うことができた。	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円(市の直営時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	床・窓ガラス・エアコンフィルター清掃、樹木せん定、害虫駆除、消防設備保守、じゅうたん・カーテンクリーニング、非常通報装置保守、建築設備定期検査	A		
新たな取り組みの状況	宿泊行事、おもちゃ交換バザール、昭島天体観測所見学、アートレクリエーション講座	A		
提案の実施状況	宿泊行事、食育事業、工作行事、スポーツ行事、伝統文化・芸術行事、子どもスタッフによる企画運営行事、館外行事、乳幼児親子向け行事	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。 利用案内リーフレットの発行、立川市ホームページにおたよりを掲載、独自ホームページにより情報の発信を行っている。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修に参加している。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に掲示している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページによる情報発信	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	卓球台修繕	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、事業所副所長、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施。 事業所内でのプロジェクト会議、研修の実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを設定し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	1件の事故があったが、適切に対応された。 ・遊戯中児童が左手手首を壁に打ちつけた衝撃により骨折した。	A		
事故の予兆に対する対応	ひろば開催時、遊戯室扉へのベビーフェンス取付け。 乳幼児の階段上り下りを抑止する掲示。 館庭北側及び東側への児童の立ち入りの防止。 遊戯室利用の予約制の導入。		事故に対しては適切に対応している。 マニュアルや会議を通じて事故防止対策に取り組んでいる。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 また、学期ごとの訓練や立川警察署の協力による不審者対応研修を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域定例会議へ参加、文化部への協力依頼、地域まつりでの準備・片付け、地域清掃活動などにより、地域や関係機関との連携を進めている。	A	地域住民との連携は図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
学童保育所との連携 他児童館との連携	・学童保育所児童が児童館でも遊べるよう環境整備、職員間の情報共有、連携強化 ・錦児童館共催行事「炭焼き体験」の継続実施、合同卓球大会	A	近隣児童館と幅広い連携を進めた。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	3,582,861円の削減。(平成24年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>子どもの居場所づくりと学習支援として、子どもの未来を考える会、立川市社会福祉協議会との共催で、子どもの学習支援事業(めだかのがっこう)の実施、新規事業は、多世代交流として拓本研究会の協力で「葉拓」を実施や星空観測会、おもちゃ交換バザール等を実施した。小学生に対する取り組みとして子ども会議の実施、第六小学校への出張児童館を行った。</p> <p>地域団体の会議に積極的に参加し、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。</p> <p>乳幼児親子の事業にも力を入れており、子育て支援に取り組んでいる。</p> <p>新たな事業を実施し、安定的な運営が行われている。</p>		A	<p>多彩な運営企画により前年より利用者は増加している。</p> <p>引き続き関係機関、地域との連携に努め、安定した運営、さらなるサービス向上、子どもたちへの支援に期待する。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
2	羽衣学童保育所運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	全職員が設置目的を理解し運営事項を行えるよう、定期的に確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	学童保育所入所のしおりの配布、入所する前の事前説明会を必ず実施し、使用方法の統一化を図っている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：243日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置：常勤3名、非常勤3名 非常勤賃金：時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。 提案のあった企画等は概ね実施されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 60人 延べ利用人数 11,720人(96.4%)	A		
運営企画	新入生歓迎会、子ども喫茶、誕生会、工作週間、スポーツ大会、学童父母会共催夏まつり、ハロウィンパーティ、クリスマスパーティ	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(羽衣児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円(市の直営時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外(羽衣児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況	伝承遊び、葉拓づくり、地域清掃	A		
提案の実施状況	館内職員同士の連携、児童館行事への参加・合同行事の実施、児童館地域懇親会への参加、地域との連携	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適正に実施した。	A	利用者に対しては、丁寧な対応を心掛けている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の職務手引きを設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修に参加している。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	入所案内を常時設置している。市ホームページでの情報提供。	A		
事業計画・報告書の公表	年間事業計画を利用者に配布。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	羽衣児童館にて一括して実施。	—		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報に適正に取り扱われるよう、定期的に所長及び事業本部が巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	取扱者を限定し、使用時には複数で確認している。鍵書庫での管理を徹底している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施。 各現場の事例検討研修実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	1件の苦情、2件の事故があったが、適切に対応された。 ・他児童が椅子を引いたためしりもちをついたことによる被害児童の保護者からの苦情。 ・他児童が足を引っ張ったことにより脇腹に擦過傷を負う。 ・他児童に突然衝突され倉庫扉の蝶番に右ひざがぶつかり裂傷を負う。	A	事故・苦情等に対しては適切に対応している。	A
事故の予兆に対する対応	ドアや蝶番設置箇所への指はさみガードの取り付け。 柱や棚などの角へのクッション材の取り付け。 片開きドアへのストッパー設置。 スライドドアへの板挟みガード取り付け。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 また、学期ごとの訓練や羽衣児童館との合同訓練を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力し、地域住民や関係機関との連携に努めている。夏休みに地域清掃を行った。	A	地域住民との連携は図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	羽衣児童館にて一括して記載。	—		—
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		2次評価
◆ 総合評価				
<p>羽衣学童保育所では、月毎に誕生日会、スポーツ大会、工作週間を、季節行事として子ども喫茶、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー、父母会共催行事として、はごろも夏まつり等の行事を実施した。新規行事として、シルバーさんとの伝承遊び、子ども喫茶、地域の方との葉拓作り等を行った。</p> <p>また、避難訓練、大掃除、豆まきなど児童館行事や合同行事に参加した。地域との連携については、児童館地域交流会に参加し、学童の普段の様子を地域の方々へ伝えた。</p> <p>なお、学童の運営については土曜日の延長が実施され、安定した運営に取り組んでいる。</p>		A	児童館との併設のメリットを生かしながら運営されており、仕様の水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成28年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
富士見児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成26年4月1日から平成31年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	富士見児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	南富士見学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成26年度から児童館、併設学童保育所を一体で指定管理者制度を導入した富士見児童館は、日曜開館、利用時間の延長、事業の充実や地域との連携等に取り組み、併設の南富士見学童保育所も土曜日の延長保育を実施し、ともに安定した運営に取り組んだ。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市富士見児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
1	富士見児童館運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営。事業計画書に基づき計画的に実施した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や、運営事項を確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数： 333日 開館時間： 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置： 常勤3人、非常勤5人 非常勤賃金： 時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 給与単価については、法令等遵守されている。 利用者は前年度より増加している。 提案のあった企画等は概ね実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合計 15,093人(104.5%) 個人利用 14,481人(104.6%) 団体利用 23人(12.3%) 館外行事 589人(139.9%)	A		
運営企画	子どもの日企画、宿泊行事、季節行事(ハロウィンパーティ・クリスマスパーティ・伝承遊び大会)、児童館まつり、他館との合同行事(アイススケートに行こう)	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入：55,627,222円(指定管理料) 支出：53,312,178円 事業収支：2,315,044円 人件費比率：80.3%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円(市の直営時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	館内・窓ガラス清掃、害虫駆除、非常通報装置保守、カーテン、じゅうたん清掃、消防設備保守、建築設備定期検査、樹木せん定	A		
新たな取り組みの状況	川遊びでの自然体験、おもちゃ交換バザール、ミニ四駆、裂き布リメイク、児童館祭への外部団体参加	A		
提案の実施状況	畑作り、乳幼児と保護者の居場所、食育事業、各種子育て講座、工作行事、子ども会・青少健・学校等との連携、児童館対抗ドッジボール大会	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。 利用案内リーフレットの発行、立川市ホームページにおたよりを掲載、独自ホームページにより情報の発信を行っている。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修に参加。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に掲示している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページによる情報発信。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	窓ガラス修繕	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、事業所副所長、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施。 事業所内でのプロジェクト会議、研修の実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	1件の苦情があったが、適切に対応された。 ・2件同時に子ども同士のけんかが起き、順番に仲裁したが保護者よりもう少し早く仲裁に入って欲しかったとの苦情が入る。	A	苦情に対しては適切に対応している。 マニュアルや会議を通じて事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	遊戯室の壁に空いた穴を養生テープで補修。遊びの内容に関しては子ども会議で話し合い、ルールを考えて決めた。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	2階の図書室の扉、工作室の鍵が開いたまま。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 学童保育所との合同避難訓練を2回実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域懇談会の開催、富士見青少健、富士子連との連携、たまがわ未来パークまつりへの出店などにより、地域との連携を進めている。	A	地域との連携は図られた。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
乳幼児と保護者が過ごしやすい居場所の提供	・音楽室に乳幼児向けの玩具を常時準備 ・授乳室のレイアウト変更	A	適切に実施している。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	1,124,786円の増加。(平成24年度決算との比較)	A	学童保育所障害児童のための職員加配により人件費が増加。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>自然に触れる機会として、畑づくり、立川公園での田植え・稲刈り、多摩川でのネイチャーツアーといった地域資源を生かした事業を行った。また、毎月工作行事として母、父の日工作などを身近な材料を使い工作を行った。</p> <p>乳幼児親子の事業として子育て講座の実施などに力を入れており、乳幼児と保護者の居場所づくり、子育て支援に取り組んでいる。</p> <p>地域団体の会議に積極的に参加し、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。</p> <p>小学生に加え中高生や乳幼児親子の利用により、異年齢同士の交流ができた。</p> <p>以上のように、新たな事業を実施し安定的な運営が行われている。</p>		A	<p>さまざまな行事を展開し前年より利用者数は増加した。</p> <p>総合的に管理・運営状況は一定の水準にあると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市富士見児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
2	南富士見学童保育所運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	全職員が設置目的を理解し運営事項を行えるよう、定期的に確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	学童保育所入所のしおりの配布、入所する前の事前説明会を必ず実施し、使用方法の統一化を図っている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：243日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置：常勤2名、非常勤7名 非常勤賃金：時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。 提案内容については、相手方の都合により一部未実施のものが見られた。引き続き調整を行っていただきたい。	A
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 46人 延べ利用人数 7,915人(92.9%)	A		
運営企画	入所歓迎会、進級を祝う会、誕生日会、買い物おやつ、スポーツレク、子ども喫茶、工作週間、子ども会議、季節行事(ハロウィンパーティ・クリスマス会)	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(富士見児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円(市の直営時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外(富士見児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況	子ども会議、進級お祝い会	A		
提案の実施状況	館内職員同士の連携、児童館行事への参加、合同行事の実施、子ども喫茶、児童館の地域交流への参加、近隣保育園への訪問地域活動	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	利用者に対しては、丁寧な対応を心掛けている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の手引書を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修に参加。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	入所案内を常時設置している。市ホームページでの情報提供。	A		
事業計画・報告書の公表	館内に常設している。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	富士見児童館にて一括して実施。	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、定期的に所長及び事業本部が巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報に関わるものは鍵付金庫に保管し、データはパスワードを付けて保護している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修、事業所内でのプロジェクト会議、研修を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	1件の苦情、3件の事故があったが、適切に対応された。 ・ボール遊び中の突き指。 ・玄関外の深い水たまりについての苦情。 ・児童が転倒し上唇を強打、口内から出血。 ・児童が投げた石で窓ガラスに亀裂が入る。	A		
事故の予兆に対する対応	保育室内の家具の整備、高い位置の本棚の配置換え、工具の放置がないようチェック管理簿の徹底。		事故・苦情等に対しては、適切に対応している。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	すべり台の下から児童が勢いよく駆け上がってきたため、上にいた児童とぶつかりそうになった。		マニュアルや会議を通じて事故防止対策に取り組んでいる。	
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 児童館との合同避難訓練を2回実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力し、地域住民や関係機関との連携に努めている。	A	地域や関係機関との連携構築に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。			
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	富士見児童館にて一括して記載。	—		—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
南富士見学童保育所では、月毎に誕生日会、スポーツレク、工作教室を、季節行事としてハロウィンパーティーやクリスマス会、買い物おやつ等の行事を実施した。 新たな取り組みとして、月間行事として子ども会議、年間行事として進級お祝い会を実施した。 また、手芸の日、おりがみの日など児童館の行事に合同行事として参加した。地域との連携については、子ども喫茶の実施や児童館地域交流会に参加し、学童の普段の様子を地域の方々へ伝えた。 なお、学童の運営については土曜日の延長が実施され、安定した運営に取り組んでいる。		A	児童館との併設のメリットを生かしながら、運営されており、仕様の水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成28年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
錦児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社サクセスアカデミー	平成27年4月1日から平成32年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	錦児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	錦学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成27年度から児童館、併設学童保育所を一体で指定管理者制度を導入した錦児童館は、日曜開館、利用時間の延長、事業の充実や地域との連携等に取り組み、併設の錦学童保育所も土曜日の延長保育を実施し、ともに安定した運営に取り組んだ。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市錦児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社サクセスアカデミー	平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
1	錦児童館運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。また計画段階で利用者のニーズに応え、柔軟な計画・立案を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	ミーティングでの伝達及びガイドラインを確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	行事を多くし過ぎず、いつでも誰もが遊べる空間作りを念頭に置いている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：333日 開館時間：9:00～20:00(貸館時は21:00まで) 職員配置：常勤5人、非常勤5～7人 非常勤賃金：時給950円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者の減少は、新一年生の学童入所者数の増加によるもの。 損害保険等については、市直営時の水準は維持している。 提案のあった企画等は概ね実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合計 20,676人(91.0%) 個人利用 19,854人(91.7%) 団体利用 583人(56.8%) 館外行事 239人(543.2%)	A		
運営企画	親子クッキング、春の遠足、レトロゲーム大会、まんぼうまつり、おやこ交流会、地域交流会、3Dプリンターでものづくり、他児童館合同行事(合同フェスティバル)	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入：49,710,139円(指定管理料) 支出：49,710,139円 事業収支：0円 人件費比率：78.4%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	傷害・賠償保険 支払限度額：5億円(市の直営時の水準を上回る) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	エレベーター定期点検、臨床心理士巡回、空調清掃、建物検査、シンクロヒーター点検	A		
新たな取り組みの状況	親子クラブ	A		
提案の実施状況	地域在住の積極的採用、年齢に合わせた行事企画、進級お祝いパーティ、まんぼうまつり、1年目指導員ガイド研修、臨床心理士巡回、情報の共有・研修参加	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	ガイドラインに従い、挨拶・応対等がきちんとできる よう常に心がけている。	A	子どもをはじめ、利用者 者への対応は、適切 に行われている。 業務マニュアルを整備 し、マニュアルにそっ て業務を実施してい る。 利用者アンケートを実 施し、結果を館内で掲 示している。 オリジナルパンフレッ トの作成、ホームペー ジでの施設案内等の 周知を行っている。	A
マニュアルの整備	にじいろ育成ガイド	A		
研修・教育の実施状況	ガイド研修、ステップアップ研修、レベルアップ研修、 マネジメント研修	A		
所管部署との連携・連 絡	各種会議による連絡・調整、所管部署との定期的な 連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の 実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に掲示して いる。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	オリジナルパンフレットを作成している。また、児童 館独自ホームページにより周知している。	A		
事業計画・報告書の公 表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている	A		
業務の点検	年に2回総括を行い、業務の反省、見直しを実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画 書・協定書に基づき適 切に実施されている。 小規模修繕について も、適切に行われてい る。	A
施設及び設備の保守・ 点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、 適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	2階雨漏り修繕、排水管ごみ詰まり除去	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内の規定に従って指揮監督している。	A	マニュアルに基づき、 適切に個人情報が保 護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	社内の規定に従って措置を講じている。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	職員研修において実施するとともに、教育を行って いる。	A		
個人情報に関する取り 扱いについて	「にじいろ育成ガイド」でルールを定めている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	2件の苦情、2件の事故があったが、適切に対応された。 ・指導員の対応に対する不満。 ・行事申し込み書の内容についての苦情。 ・ボール遊びをしていた際友達に左足を踏まれ小指骨折。 ・喧嘩を止めようとした子どもの腕がのど元に入り呼吸困難から過呼吸を発症した。	A	苦情・事故に対しては適切に対応している。 事故防止への取り組みは行われている。	A
事故の予兆に対する対応	ヒヤリ・ハット事例集を作成し、全員で共有している。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	ポップコーン製造機の中にねじの脱落があった。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルを作成し、事故防止に取り組んでいる。 避難訓練(4回)を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域交流会を実施し、意見交換を行うとともに、近隣施設との意見交換、遊戯室の貸出、学習館事業への協力を行っている。	A	地域住民との連携は図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。			
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	10,711,753円の削減。(平成26年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
小学生事業として春の遠足、中高生事業としてカードゲーム大会、レトロゲームを実施、児童館全体として「まんぼうまつり」、また、企業とコラボレーションした事業として3Dプリンターでものづくり等を実施した。 毎月、自治会や学校など地域団体の会議に積極的に参加し、情報交換に努め、また、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。 乳幼児親子の事業として保護者と参加できる運動会や子育てひろば、親子クラブ等を実施し子育て支援に取り組んでいる。 以上のように事業を実施し、安定的な運営が行われている。		A	利用者は減少に転じたが、多彩な運営企画により利用者の増加に努めている。 関係機関、地域との連携に積極的であり、良好な関係が構築されている。 引き続き良好な運営に努め、さらなるサービス向上に期待する。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市錦児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社サクセスアカデミー	平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
2	錦学童保育所運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。また計画段階で利用者のニーズに応え、柔軟な計画・立案を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	ミーティングでの伝達及びガイドラインを確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	行事を多くし過ぎず、いつでも誰もが遊べる空間作りを念頭に置いている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：243日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置：常勤4名、非常勤3名 非常勤賃金：時給950円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。 損害保険等については、市直営時の水準は維持している。 提案内容については、概ね実施されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 60人 延べ利用人数 10,825人(104.4%)	A		
運営企画	お誕生日会、工作行事、自作工作物での遊び、まんぼうまつり、季節行事(ハロウィンパーティー、クリスマス会)、クッキング、おはなし会、映画会・観劇会	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(錦児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	傷害・賠償保険 支払限度額：5億円(市の直営時の水準を上回る) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外(錦児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況	児童が企画した行事の実施	A		
提案の実施状況	地域在住者の積極的な採用、1年目指導員ガイド研修、臨床心理士巡回、情報の共有・研修参加	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	ガイドラインに従い笑顔で元気に挨拶を心掛けている。	A	利用者に対しては、丁寧な対応を心掛けている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。	A
マニュアルの整備	にじいろ育成ガイド	A		
研修・教育の実施状況	ガイド研修、ステップアップ研修、レベルアップ研修、マネジメント研修	A		
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	入所のしおりに併せオリジナルパンフレットを配布。	A		
事業計画・報告書の公表	おたよりや保護者会で報告。	A		
公平・公正利用の確保	公正・公平に利用できている。	A		
業務の点検	年に2回総括を行い、業務の反省、見直しを実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	錦児童館にて一括して実施。	—		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内の規定に従って指揮監督している。	A	マニュアルに基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	適正に行っている。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	職員研修において実施するとともに、教育を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	「にじいろ育成ガイド」でルールを定めている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	2件の事故があったが、適切に対応された。 ・ボール遊び中のけが。 ・降所方法の間違い。	A	事故に対しては、適切に対応している。 事故防止への取り組みは行われている。	A
事故の予兆に対する対応	ヒヤリ・ハット事例集を作成し、全員で共有している。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	老朽化によるテーブルの脚破損。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルを作成し、事故防止に取り組んでいる。 自然災害、机上訓練等の避難訓練(4回)を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館との情報連携、図書館、学習館の行事参加により地域住民や関係機関との連携に努めている。	A	地域住民との連携は図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	錦児童館にて一括して記載。	—		—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>錦学童保育所では、月毎に誕生日会、工作教室を、季節行事としてハロウィンパーティーやクリスマス会等、新たに児童が企画した行事として誕生日会での司会やミニゲームを実施した。</p> <p>また、まんぼうまつりなど児童館の行事に合同行事として参加した。地域との連携については、錦まつりや映画会、おはなし会への参加や児童館地域交流会に参加し、学童の普段の様子を地域の方々へ伝えた。</p> <p>なお、学童の運営については土曜日の延長が実施され、安定した運営に取り組んでいる。</p>		A	児童館との併設のメリットを生かしながら運営されており、仕様の水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成28年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
上砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	平成27年4月1日から平成32年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	上砂児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	上砂第三学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成27年度から児童館、併設学童保育所を一体で指定管理者制度を導入した上砂児童館は、日曜開館、利用時間の延長、事業の充実や地域との連携等に取り組み、併設の上砂第三学童保育所も土曜日の延長保育を実施し、ともに安定した運営に取り組んだ。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
1	上砂児童館運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	月1回の職員会議や連絡票で周知を図った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	共通ルールを作成し、有効利用できるよう掲示した。	A		
事業の継続性の担保	事務引継書を作成し運営し、適切に実施している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：333日 開館時間：9:00～20:00 職員配置：常勤4人、非常勤9人 非常勤賃金：時給932円以上 館長退任により5か月の不在期間あり	B	基本的事項について、館長の不在期間中は副館長が代理を務め、欠員分は臨時職員を補充したが責任者不在を重くみる。 給与単価については、法令等遵守されている。 多様な行事等により利用者数が大幅に増加した。	B
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合計 34,559人(138.0%) 個人利用 32,857人(135.6%) 館外行事 1,702人(231.9%)	A		
運営企画	じゃが芋焼き、カフェ、宿泊行事、季節行事(夏まつり・ハロウィンパーティ・クリスマス会・正月すごろく大会)、WakuWakuまつり	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入：49,500,000円(指定管理料) 支出：49,500,000円 事業収支：0円 人件費比率：73.1%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：5億円(市の直営時の水準を上回る) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	カーペットクリーニング、非常通報装置点検、	A		
新たな取り組みの状況	親子バスツアー、スポーツ鬼ごっこ大会、サッカー大会、ザリガニ釣り体験	A		
提案の実施状況	親子バスツアー	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、マニュアルを用いて行っている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、それに沿って業務を実施している。 利用者アンケートを実施し、年度中に結果を公表した。 利用案内の発行・独自ホームページの立ち上げ情報を発信している。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、児童館の職務、児童館ガイドライン、虐待防止マニュアルを設置している。	A		
研修・教育の実施状況	連絡・報告・相談研修、リクリエーション研修、個人情報に関する研修	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整、所管部署との定期的な連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に表示している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページによる情報発信。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	公正・公平に利用できるシステムが構築されている。設置目的外の利用はない。	A		
業務の点検	点検表に基づき、週1回程度行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕は適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	バスケットボード修繕、遊戯室の雨漏り修繕	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報保護管理者を設置し、チェック体制を確立している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報は施錠できる場所に管理し、保存期限が過ぎたらシュレッダーで廃棄している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報研修及び年1回のテストを義務付けている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、施設内に掲示している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	1件の事故があったが、適切に対応された。 ・ボール遊び中、児童が中学生とぶつかり左手薬指を負傷した。	A	事故については適切に対応している。 マニュアルを整備し事故防止対策については、適切に行われている。	A
事故の予兆に対する対応	利用中は職員を配置し事故につながる恐れがある行為に対し声かけを行っている。テーブル、卓球台等の角面をクッション等で保護している。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルや施設点検表を使用し、事故防止に取り組んでいる。防犯訓練(2回)、学童との合同防災訓練(2回)を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	運営協議会を開催するとともに、地域の協議会へ参加した。また地域パトロール、清掃活動も実施した。	A	地域住民との連携は図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	10,045,752円の削減。(平成26年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>指定管理者として2年目の運営となり、児童をはじめ大人や地域から親まれる児童館として利用の促進や交流が図られた。毎月のスポーツ・工作行事の定着と、季節行事のハロウィン・クリスマス・お正月・節分行事等が行われた。イベント事業では「児童館に泊まろう」、「わくわく祭り」に、地域子ども会ジュニアリーダーのボランティア協力を得て、異年齢交流が図られた。</p> <p>児童館のホームページを開設しPRが図られたことで、利用者の行事への関心が高まった。また、子育てひろばの新規利用者の拡大にもつながった。</p> <p>提案事業の「親子バスツアー・六都科学館の見学」を実施し、プラネタリウム見学など科学への関心を深める体験事業ができた。バス利用の特性を生かし、車中でのレクリエーションやゲームを行い親子の交流を深めることができた。地域で支える児童館の仕組みとしての「児童館運営協議会」も定着し、地域に応える児童館運営を進める機運が高まった。</p> <p>昨年度から一時的に不在であった館長が配置され、安定した運営が図られた。</p>		A	<p>指定管理者導入2年目。さまざまな取り組みの成果により利用者数が大幅に増加している。</p> <p>館長の配置により安定した運営が図られており、提案通りの事業を実施した。</p> <p>管理運営状況は一定の水準にあると判断しA評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
2	立川市上砂第三学童保育所	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	月1回の職員会議や連絡票で周知を図った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	共通ルールを作成し、有効利用できるよう掲示した。	A		
事業の継続性の担保	事務引継書を作成し適正に運営した。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：243日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間：放課後～19時(学校休業日は10時～19時) 職員配置：常勤3名、非常勤2名 非常勤賃金：時給932円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 受入れ児童数の増加により利用者数が大幅に増加した。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。	A
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 60人 延べ利用人数 10,076人(126.8%)	A		
運営企画	お誕生日会、三期休業前のお楽しみランチ、伝承遊び、ハロウィン工作、ランプシェードづくり、まつぼっくりツリー工作	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(上砂児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：5億円(市の直営時の水準を上回る) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外(上砂児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
提案の実施状況	特になし。	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、マニュアルを用いている。	A	利用者に対しては、丁寧な対応を心掛けている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。 利用案内の発行・独自ホームページの立ち上げ情報を発信している。	A
マニュアルの整備	学童保育所の職務	A		
研修・教育の実施状況	連絡・報告・相談研修、リクリエーション研修、個人情報に関する研修	A		
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページによる情報発信。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正に利用できるシステムが構築されている。設置目的外の利用はない。	A		
業務の点検	点検表に基づき、週1回程度行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報保護管理者を設置し、チェック体制を確立している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報遵守されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報は施錠できる場所に管理し、保存年限が過ぎたらシュレッダーで廃棄している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報研修及び年1回のテストを義務付けている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、社内に掲示している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	1件の苦情、1件の事故があったが、適切に対応された。 ・保護者との面談中、職員の児童への対応についての苦情。 ・ドッチボール中のけが。	A	事故・苦情に対しては、適切に対応している。	A
事故の予兆に対する対応	卓球台、水飲み場の角に養生を行い、利用中は指導員が声かけ・指導を行っている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	学童室から廊下への飛び出しについて注意喚起の声掛けを行っている	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	運営協議会を開催するとともに、地域の行事やお祭りに参加した。	A	地域や関係機関との連携構築に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	上砂児童館にて一括して記載。	—		—
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>上砂第三学童保育所では隔月毎に誕生日会を、季節行事としてハロウィンパーティーやクリスマス会、三期休業前にはお楽しみランチ等の行事を実施した。</p> <p>また、上砂児童館夏祭りやスポーツ行事など児童館の行事に合同行事として参加し連携している。地域との連携については、児童館運営協議会に参加し、学童の普段の様子を地域の方々へ伝えた。</p> <p>なお、学童保育所の運営については、土曜日の延長保育が実施され安定した運営が取り組んでいる。</p>		A	児童館との併設のメリットを生かしながら、運営されており、仕様の水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市斎場	非公募・特命	福祉総務課
指定管理者名	指定管理期間	
公益社団法人 立川市シルバー人材センター	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	斎場使用や料金など斎場設置条例や規則に基づき、適正に管理した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	葬祭事業所長と本部事務局事業係担当者との定期的なミーティングを通じ、理解の浸透に取り組んだ。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	式場及び葬儀日程の予約はすべて先着順とし、公正・公平を期すよう努めた。	A		
事業の継続性の担保	職員等の退職・異動には十分な引継期間を設けるとともに、引き継ぎ後もサポートの取れる体制を確保した。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開業日数:365日 開業時間:8:30～20:00 職員配置状況:葬祭事業所長1名、管理・市営葬儀受付・従事就業会員17名 賃金単価:嘱託 月額200,000円 会員 時給940円～1,300円	A	適切に人員を配置している。引き続き女性会員を登用を増やし、きめ細かなサービスを提供している。 賃金単価については、法令等遵守されている。 学習館等での出張説明会を9回に増やしたため、参加者は大幅に増加した。 提案のあった企画は計画どおり実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 斎場利用件数:322件(100.6%) 市営葬儀利用件数:292件(101.4%) 1階式場:貸出数289回(101.0%) 2階和室:貸出数160回(97.0%) 霊安室:貸出数1.110回(110.2%)	A		
運営企画	市民マップへ紹介記事を記載(2.2万枚) 市営葬儀案内チラシを配布(市内全戸・2回) 市営葬儀説明会、施設見学の実施(12回) 出張市営葬儀説明会の実施(9回) 希望団体への出張市営葬儀説明会の実施(1回)	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:145,502,372円、支出144,370,371円 (うち指定管理料10,253,000円) 事業収支:1,132,001円 人件費比率:21.5% 外部委託費比率:4.7%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	シルバー人材センター総合保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守、施設警備、定期清掃、外壁清掃、自動ドア保守、冷暖房器具保守、施設検査、ごみ収集、電気設備保守、安全運転講習、コピー機保守、カラスの巣撤去、税務申告書作成、斎場ホームページ追加作業	A		
新たな取り組みの状況	葬祭事業ホームページのリニューアル	A		
提案の実施状況	葬儀方法の知識習得、市営葬儀の情報提供、女性会員の積極的な登用、自宅葬に対応した体制づくり	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に対応している。アンケート結果でも良好な結果となっている。	A	遺族の立場に立って接客を行っており、アンケート結果も良好である。職員の対応は適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、それに沿って業務を実施している。 利用は申し込みの先着順としており、公平・公正になされている。	A
マニュアルの整備	業務マニュアル「立川市の葬儀」を整備し、これに基づき、適切に対応している。	A		
研修・教育の実施状況	会議やミーティングを通じ、啓発と指導を行っている。	A		
所管部署との連携・連絡	所管部署とは業務連絡会議等により随時、連絡・調整を行っている。 本部事務局担当職員への連絡は、常時可能。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、市に報告している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットを発行するとともに、チラシの全戸配布、ホームページ等で周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	シルバー人材センター全体の事業計画・報告書を事務所に備えている。	A		
公平・公正利用の確保	式場予約等、全て先着順としている。	A		
業務の点検	会員との会議や面談にて実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき適切に実施しており、常に衛生的な状態となっている。	A	マニュアル等も整備されており、事業計画書・協定書に基づき、清掃や施設、設備の保守点検が適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。簡易な修繕は、随時対応している。	A
施設及び設備の保守・点検	マニュアル等の整備をし、事業計画書・協定書に基づき適切に実施している。	A		
保安・警備	適切に管理・運営されている。	A		
小規模修繕	屋根修理、トイレ漏水修理、ホール照明修繕、外灯修繕、空調機修理、換気扇交換、温水洗浄便座取付、手洗器取り替え修繕、門扉交換、床工事、ドア修理、階段室塗装、御影石補修、伸縮門扉補修、パッケージエアコン修理、ドアクローザー修理	A		
備品管理	備品台帳を作成し、常時点検を行っている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	葬祭事業所長の指導の下、適切に実施している。	A	個人情報保護要綱を制定し、要綱に沿って適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	法人として、個人情報保護要綱を制定し、業務執行している。	A		
適正な管理	一定期間を経過した書類は、本部事務局事業係において管理している。	A		
再委託の禁止	市の承諾のない再委託はしていない。	A		
研修・教育の実施	会議やミーティングを通じ、啓発を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護要綱を制定している	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	施設や備品の老朽化による事故の予兆はあったが、適切に対応された。 マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	玄関前出入口スロープの御影石にぐらつきがあったため補修した。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルを整備し、会議・ミーティング・講習会への参加を通じて対応策を指導するとともに、葬祭事業所長を中心にした対応体制を確立している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	施設の性格上、地域に開かれた運営は難しい。	—		—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	13,354,814円の削減。(平成17年度決算との比較)この他、113,200円の市への納付金あり。	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>斎場や各地の公民館等における「市営葬儀説明会」の開催によって、市営葬儀のメリットを積極的にPRすることで、利用者について安定的に推移しており、市民への周知が行き届いていることが伺える。また、利用者アンケートにおいて、「葬儀の事前打ち合わせ」、「葬儀のお手伝いや司会進行」、「返礼品・生花等の品質・種類等」に関して、「とてもわかりやすかった」「わかりやすかった」及び「とても満足」「満足」と回答している方の割合がいずれも9割弱あり、価格・接遇の両面において、市民の福祉サービスとして高い支持を得ている。</p> <p>施設・設備については老朽化が進んでおり、定期的な点検や適宜の修繕等を行いながら使用している状況であるが、日々の適切な業務執行により安全性への対応が図られている。</p> <p>ここ数年の社会的傾向として「家族葬」が増加しており、斎場においても同様の傾向がみられる。これに伴い葬儀規模も縮小傾向にあり、葬祭関連商品取扱手数料収入は引き続き減少が予想されるが、広報への掲載やチラシ配布などを通じて一層の周知に取り組むとともに、さらなる効率的な施設管理運営を期待し、A評価とする。</p>		A	<p>毎月の市営葬儀説明会や出張説明会の実施拡大により利用者拡大に向けた努力がなされている。</p> <p>施設老朽化などの課題に対応しながら、利用者に寄り添った丁寧な運営がなされており、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市総合福祉センター	非公募・特命	福祉総務課
指定管理者名	指定管理期間	
立川市社会福祉協議会	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	計画や設置目的に沿って、適切に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理部門係内での定期的な会議等で、基本的な事項の理解を図った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	館の利用目的に合わせて公平・公正に利用できるよう、申込み開始時期を設定した。	A		
事業の継続性の担保	専任職員以外にも、兼任の職員を置き、業務の共有を行い、事業の継続性を担保した。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況				
基本的事項	【センター管理業務】 開所日数:293日 開所時間:8:30~19:00 嘱託1名:月給185,000円 非常勤1名:時給985円 【身体・知的障害者デイサービス事業】 開所日数身体デイ:241日 知的デイ:240日 開所時間:9:00~15:30 正規3名、嘱託14名 非常勤14名:時給985円 【高齢者デイサービス事業】 開所日数:243日 開所時間:9:15~16:30 正規1名、嘱託3名 非常勤20名:時給985円	A		
利用状況	【センター管理業務】 ()内は対前年度比 延べ利用者数32,222名(97.5%) 【知的障害者デイルーム】 ()内は対前年度比 延べ利用者数:4,905名(98.7%) 【身体障害者デイルーム】 ()内は対前年度比 延べ利用者数:4,884名(98.2%) 【高齢者デイサービス】 ()内は対前年度比 延べ利用者数:5,805名(107.8%)	A	基本的事項については、計画通り実施されている。	
運営企画	【知的障害者デイルーム】 プール活動、調理活動、臨床美術、季節行事、避難訓練 【身体障害者デイルーム】 理学療法、作業療法、プール活動、調理活動、臨床美術、季節行事、避難訓練 【高齢者デイサービス】 体操、書道、音楽、作品展、花見・紅葉狩り・新年お参り、敬老会	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 運営企画は、利用者や家族のニーズに応え、実施している。	
事業収支 経営状況分析指標	【センター管理業務】 収入:69,019,923円(指定管理料69,019,600円) 支出:69,020,000円 事業収支:▲77円 【身体・知的障害者デイサービス事業】 収入:171,666,876円、支出:151,217,811円 事業収支:20,449,065円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 【高齢者デイサービス事業】 収入:56,381,080円、支出:58,619,063円 事業収支:▲2,237,983円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし)	A	高齢者デイサービス事業について、営業努力により利用者数は増加したが、総合事業の導入にともない個人単価が減少したため事業収益は悪化した。 全館避難訓練の他、初期消火訓練・参集訓練・備蓄品の取扱い訓練を実施するなど災害対策も強化している。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	介護保険・社会福祉事業者総合保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	警備業務、自家用電気工作物保安全管理、消防用設備保守、発電設備保守、エレベーター保守、空調設備保守、自動ドア保守、日常清掃、定期清掃、送水管防食装置定期保守、中央監視盤保守、給排水衛生設備清掃、衛生設備保守及び給湯ボイラー設備保守運転、プール運営、プール可動式床システム保守、建築設備定期検査、運営一般管理、送迎運行、樹木管理	A		
新たな取り組みの状況	レイアウト変更により市民のための情報発信スペースを整備	A		
提案の実施状況	ボランティア活動啓発イベント、共生社会推進のための啓発イベント	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	接遇マニュアルに基づき、適切に対応するとともに、総合受付窓口案内を設置した。	A	接遇に関しては、良好に行われている。 各種法令を遵守するとともに、関係組織に加盟し研修等に参加している。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を公表している。 施設利用についての広報・情報提供にも取り組んでいる。	A
マニュアルの整備	接遇マニュアル、電話受付マニュアル、出退勤時館内点検・手順マニュアル、介護職員業務マニュアルを整備し、適切に対応している。	A		
研修・教育の実施状況	年に3回研修を行っている。介護職員は別途介護研修も実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的な報告のほか連絡・調整を月に数回行っている。また、非常時等は、ただちに市へ連絡する体制が取られている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回実施し、公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットを発行するとともに、ホームページにも施設案内・事業所を事業ごとに掲載している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書を公表している。	A		
公平・公正利用の確保	利用申し込み日を定めることで、公平・公正に利用できるようにしている。	A		
業務の点検	常に点検している。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画、協定書等に基づき適切に実施されている。	A	施設が老朽化しているものの、清掃や施設・設備の保守点検は、事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。 小規模修繕についても、迅速な対応に努めている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画、協定書等に基づき適切に実施されている。	A		
保安・警備	適切に実施されている。	A		
小規模修繕	電灯照明機器交換、床下収納型コンセントの交換、障子の貼り替え、排水管水漏れ修繕、トイレ修理、配水管水漏れ修繕、縁石交換、雨漏り修繕、エアコン修繕、雑用水給水ポンプ部品交換、受水槽ポンプ部品交換、送風機部品交換、排煙窓部品交換、蛍光灯照明安定器交換	A		
備品管理	適切に管理されている。	A		
		A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A	立川市社会福祉協議会個人情報保護規程を制定し適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A		
適正な管理	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A		
再委託の禁止	個人情報に関する再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	職員会議等の場において、個人情報保護規程を周知している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A		
		A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由・状況等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	5件の事故があったが、適切に対応された。 ・トイレ支援中の利用者の転倒 ・脱衣所において椅子に座ろうとしたが、椅子をつかめずに転倒 ・送迎車両の軽微な自損事故が3件	A	5件の事故があったが適切に対応している。 ヒヤリ・ハット事例は職員間で共有し、事故防止に努めている。 災害発生時や事故発生時に備え、避難訓練を定期的実施し、体制を構築している。	A
事故の予兆に対する対応	「ヒヤリ・ハット報告書」の会議での読み上げや閲覧等により、職員間で共有している。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	薬の飲み忘れ、誤嚥のおそれ、見守り不足、職員のインフルエンザ感染など14件の事例があった。 職員間で共有化し、事故の未然防止に生かしている。			
事故防止対策の取り組み状況	立川市社会福祉協議会職員参集マニュアル及び災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを定め、立川市及び関係機関との連絡体制を整備している。 避難訓練については、全館で年1回実施。生活介護支援事業所にて月1回実施、高齢者デイサービスでは年数回実施している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	立川市社会福祉協議会として、関係機関との連携を強化し、地域福祉の推進拠点として施設を有効に活用するとともに、地域での懇談会などを実施し、地域課題を把握し運営に生かしている。	A	積極的に地域や関係機関との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
特になし	特になし。			—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	【施設管理経費】 5,684,886円の削減。(平成23年度決算との比較)		導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由・状況等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>平成27年度と比べて利用者数は横ばいであるものの、身体・知的障害者デイサービス及び高齢者デイサービスについて、利用者や家族のニーズを聞き入れながら屋内外の様々なイベントや季節行事等の豊富なメニューを企画運営しており、障害者や高齢者が地域で安心した生活が送れることに寄与している。</p> <p>施設の維持管理については、各種マニュアルを整備し、日々適切な業務執行を行っている。施設の老朽化に伴い、設備等の不具合も多く発生しているが、その都度修繕を行い、安全性を担保している。</p> <p>利用者アンケートによると職員の接遇についても問題なく、またヒヤリ・ハット等を職員間で共有するなど、利用者の安全確保や安心な利用を心掛けている点は評価できる。</p> <p>なお、高齢者デイサービスは周辺に競合他社が多く、収益が悪化していることは指定管理者も課題と認識している。</p> <p>今後も、地域における社会福祉の推進を図るという社会福祉協議会の役割を生かした良好な施設管理運営と更なる地域等との連携を期待し、A評価とする。</p>		A	<p>利用者ニーズ等に応え、多くの運営企画が実施されている。</p> <p>積極的に福祉体験やボランティアの受け入れなどに取り組み、地域の福祉向上に貢献している。</p> <p>管理運営は適切になされたかと判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柏地域福祉サービスセンター	非公募・特命	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 至誠学舎立川	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	立川市との基本協定に基づき設置目的に沿った通所介護事業の管理運営のために、年度事業計画を作成し、実施している	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	指定管理者としての業務内容を年度事業計画に明記した上で、日々の業務連絡会や朝礼等において職員に対し説明を実施している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	介護保険法・関連法令を遵守した人員・運営基準に則り運営している。具体的なサービス提供に当っては介護支援専門員の作成する「居宅サービス計画」に基づき「通所介護計画」を作成し、利用者の同意の上でサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	新任・現任全職員を対象にした勉強会の開催、新任職員を対象にした研修の実施、業務チェックシートを活用した業務の質の担保等を行った	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数：一般型通所介護 295日 認知症対応型通所介護 310日 営業時間：8:30～17:30 (サービス提供時間 9:30～16:45) 職員配置：23人(正規3人、臨時20人) 時給：介護 940～1,020円 看護 1,370～1,670円 療法士 2,020円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、近隣にデイサービスの事業者が増えたことや、一般型通所介護から認知症対応型通所介護へ移行した方が数人いたことなどから、一般型通所介護の利用者が減少した。 四季折々の行事、地域との交流行事企画を行い参加も多く、利用者から好評を得ている。	A
利用状況	()内は対前年度比 一般型通所介護：5,553人(80.4%) 認知症対応型通所介護：2,835人(110.4%)	A		
運営企画	お花見、初夏のお出かけ、夏祭り、長寿お祝い会、秋のお出かけ、作品展覧会、初詣、地元交流会	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入：91,784,005円、支出：88,568,966円 事業収支：3,215,039円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率：73.0%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額：1.5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	自家用電気工作物保安管理業務、空調設備及び給湯設備保守点検、消防設備保守点検、床・窓ガラス清掃、機械警備、自動ドア保守点検、入浴用リフト保守点検	A		
新たな取り組みの状況	通所介護における機能訓練サービス利用者に対する職員の自宅訪問による自宅での生活状況の把握	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	「ホームの手引き」に基づき適切に対応している。アンケートでは、97%の利用者・家族が「満足」「まずまず満足」と評価した。	A	業務マニュアルを設置して適切に実施されている。 毎日業務終了後、自己点検票にて業務点検を行っている。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を利用者・家族へ発行している「柏だより」にて公表している。	A
マニュアルの整備	ルーチン業務マニュアル、相談員業務マニュアル、配膳マニュアル、服薬手順マニュアル、連絡係業務マニュアル、感染予防対策マニュアル、送迎マニュアルなどを整備。	A		
研修・教育の実施状況	事業所・至誠ホームの年度研修計画に則り実施。	A		
所管部署との連携・連絡	月次報告や随時の報告を行っている。非常時・事故等の連絡体制は、取り扱い要綱に基づき実施している。	A		
利用者アンケート等の実施	アンケートを実施し、結果を利用者・家族へ発行している「柏だより」にて報告している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用者用・ケアマネジャー用のパンフレットを作成し、見学时等に渡している。HPでも公表。	A		
事業計画・報告書の公表	閲覧用として施設内に設置している。	A		
公平・公正利用の確保	介護保険法を遵守し、公平・公正にサービスを提供している。	A		
業務の点検	毎日業務終了後、自己点検票にて行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	感染予防マニュアルにより清潔・不潔エリアを定め日々の清掃業務の中で消毒を行っている。環境美化担当職員を定めている。	A	感染予防マニュアルにより清潔・不潔エリアを定め日々の清掃業務の中で消毒を行っている。 小規模修繕について、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	年度計画やマニュアルに基づき適切に保守点検を行っている。	A		
保安・警備	保管箱を設置し、鍵を管理している。夜間は委託により機械警備を行い適切に実施されている。	A		
小規模修繕	水洗金具交換、天井仕上げ剤補修工事、トイレ 詰まり修繕、電源装置撤去工事	A		
備品管理	備品台帳を作成・管理し、年1回確認作業を実施。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	法人「個人情報に関する基本規程」に則り、管理人の監督をしている。	A	年1回の研修会を実施している。 個人情報に関する取り扱いについては、法人規程「個人情報に関する基本規程」に基づき対応している。	A
個人情報等秘密の保持	市個人情報保護条例を遵守し、日々の業務を遂行している。	A		
適正な管理	法人「個人情報に関する基本規程」「個人情報に関する文書等管理規程」に基づき適正に管理している。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	年1回研修会を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	法人規程「個人情報に関する基本規程」に基づき対応している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	スカートのすそを自ら踏んで転倒した事故が1件発生したが、適切に対応された。	A	事故については適切に対応している。 手引きやマニュアルにて責任者の明確化、連絡・対応体制や取り組みを定めて実施している。	A
事故の予兆に対する対応	ヒヤリ・ハット報告書を作成の上、連絡会で報告し、要因分析と防止策を検討し実施している。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	2件のヒヤリ・ハットがあった。 ・認知症利用者が興奮し物を投げ、他の利用者に当たりそうになった。 ・昼食前にインシュリンの自己注射が必要なところ昼食後となった。			
事故防止対策の取り組み状況	「ホームのてびき」「柏センターセクションマニュアル」に基づき、事故防止に取り組んでいる。年3回の防災訓練を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	運営推進会議を開催し自治会との意見交換を行った。また、地域包括支援センター主催の会議出席、ボランティアの受け入れを行っている。降雪時に近隣道路の雪かきを実施した。	A	地域の自治会・地域包括支援センター等との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前決算額との比較	5,107,756円の削減。(平成17年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
		施設担当課評価		2次評価
		コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等
◆ 総合評価				
<p>近隣に通所介護サービスを行う事業者が増えたことや、要支援者へのサービスが28年度途中より市の「総合事業」に移行し、介護報酬が抑えられた関係でサービス内容の維持が難しくなったことなどから利用者が1割程度減り、それに伴って事業収入も減少した。しかし、四季折々の催しや利用者の作品展等、多彩な行事を開催するとともに、認知症対応型通所介護の活動プログラムに、皆で一つの物を作りあげる活動を取り入れるなど、サービスの維持・向上に取り組んでいるほか、利用者への対応も適切に行っており、昨年度実施した利用者満足度調査においても、回答者全員がサービスに対して「満足」あるいは「やや満足」と回答している状況である。</p> <p>また、施設管理についても定期的な点検、小規模な修繕を計画的に実施し、適切な維持管理を行っているほか、業者に委託して行う施設管理業務についても、適切に実施している。</p> <p>さらに、法人本部の研修会等や事業所内部での勉強会も頻繁に開催され、人材育成に努めているほか、法人内事業所間で情報共有の場(事業所のチームリーダー会議)を定期的に開催するなど、コミュニケーションの充実に努めている。</p> <p>以上のことから、仕様書に定められた基準に達していると判断し、総合評価はAとする。</p>		A	<p>利用者数は、近隣にデイサービスの事業者が増えたことや、一般型通所介護から認知症対応型通所介護へ移行した利用者がいたことなどから、一般型通所介護の利用者が減少した。しかし、多彩な行事を実施し、サービス向上に努めている。</p> <p>また、丁寧な対応を心がけ、アンケートにおいても良好な結果となっている。</p> <p>仕様書等の水準に達していると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣地域福祉サービスセンター	非公募・特命	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 恵比寿会	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	運営方針・規定に基づき、人員配置や施設管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入社時に施設の説明や地域特性を説明している。内部監査・第三者評価機関監査を実施し、目的に沿った取り組みが行われているか調査し改善につなげている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市内の利用希望者に適切に対応できるよう、居宅事業所と連携を緊密に図っている。	A		
事業の継続性の担保	専任の機能訓練指導員(理学療法士)を配置し、専門職種の指導のもと在宅生活を支援し、継続に努めるための業務平準化も図るようにマニュアル作成の更新を実施	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数：一般型通所介護 259日 認知症対応型通所介護 310日 営業時間：8:30～18:00 (サービス提供時間 9:00～17:00) 職員配置：23名(正規：6名 臨時：20名) 時給：介護職 950～1,000円 介護福祉士 980～1,110円 看護師・准看護師 1,650～1,800円 その他職員 950～1,000円 障害者雇用での自立訓練対象者 932円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実行されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 一般型通所介護：6,422人(87.9%) 認知症対応型通所介護：2,030人(111.2%)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
運営企画	お花見、夏祭り、敬老会、作品展示会、初詣、節分、雛祭り	A	利用者数は、近隣にデイサービスの事業者が増えたことや、総合事業の導入による介護報酬サービス内容の関連などから、一般型通所介護の利用者が減少している。	
事業収支 経営状況分析指標	収入：88,885,914円、支出：97,383,901円 事業収支：▲8,497,987円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率：76.3%	A	多くの企画を行い参加も多く、利用者から好評を得ている。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額：5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	電気設備保守、警備設備保守、清掃業務、消防設備点検、貯水槽点検、自動ドア保守、リハビリ機器点検、植栽せん定・除草	A		
新たな取り組みの状況	自立支援に向けたレイアウト変更、トータルケアセミナー、炭酸泉による足湯	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者、来所者への挨拶を徹底している。相手の気持ちを考えての言葉使い、マナー全般においては、概ね好評である。	A	業務マニュアルを設置して適切に実施されている。 経営品質セミナー・ミーティングを通じ、教育等を意欲的に実施している。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を施設内掲示・ホームページ掲載等により公表している。 第三者評価制度を実施し、業務の改善に取り組んでいる。	A
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置するとともに内部監査を実施し、適宜見直しながら業務を実施している。	A		
研修・教育の実施状況	経営品質セミナーや研修会を実施し、それを職員へ周知するための勉強会、ミーティング時の教育を実施。	A		
所管部署との連携・連絡	緊急連絡の体制を整備し、適宜、市と連絡・調整している。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果の公表をしている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	広報紙の発行、パンフレットやホームページによる情報提供を行っている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書を施設内に掲示し、公表している。	A		
公平・公正利用の確保	要介護度による区別を行わず、順次希望者を受け付けている。	A		
業務の点検	第三者評価制度を実施し、改善に取り組んでいる。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	清掃年間計画に基づき実施している。	A	施設状況を把握し、対応しながら管理・運営を行っている。	A
施設及び設備の保守・点検	利用者の安全を第一に施設状況を把握し、設備維持管理計画に基づき実施している。	A		
保安・警備	定位置での鍵の保管及び鍵保持者をチェック表で管理している。 毎日チェック表で施錠等の保安点検を行っている。	A		
小規模修繕	空調機器(室外機)修理	A		
備品管理	備品台帳を作成し管理している。備品は良好な状態を保持している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	法人の個人情報管理規程により、各部署責任者を明確化し指揮・監督が行われている。	A	市個人情報保護条例を準用し適正に管理するとともに、学習会等で職員への周知に取り組んでいる。	A
個人情報等秘密の保持	「立川市個人情報保護条例」を準用。	A		
適正な管理	法人の個人情報取り扱い規定に則り、適正に管理している。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、行っていない。	A		
研修・教育の実施	法人学習会を行い、再確認している。また、新人には入社時研修で認知させている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	法人の個人情報取り扱い規定に則り、適切に運用している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	1件の事故があったが、適切に対応された。 ・手すりをつかんでいた手が滑り、浴室内で転倒し左すねに裂傷を負った。	A	事故については、適切に対応され、解決している。 ヒヤリ・ハット事例を全職員で共有し、事故防止に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	事故発生時に報告書を作成し、改善策を全職員で情報共有し、事故防止を図っている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルに基づき緊急連絡体制を確立している。 年2回センター全体での避難誘導訓練、自衛消防訓練に沿った毎月の訓練を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域住民のボランティアを通じて情報を発信・受信し、民生委員や行事、情報誌を通じて地域と関わりを持っている。 地域関係機関との連携に努めるとともに、施設外構や近隣公園の清掃を定期的に行っている。	A	積極的に地域との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
地域との関わり 福祉教育への貢献	介護ボランティア、教職課程の介護体験、小学校総合学習による高齢者交流体験の受け入れ、運営推進会議の実施	A	福祉人材の育成に貢献し、地域との連携も深めた。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	6,032,349円の削減。(平成17年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>28年度においては、認知症対応型通所介護の利用者は増えたが、一般型通所介護の利用者減が大きく、全体では7%程度の減少となっており、それに伴って事業収入も若干減収になっている。</p> <p>しかし、年度途中で機能訓練指導員を雇用し、活動の中に専門性の高い機能訓練を取り入れたほか、炭酸泉を用いた足浴を実施したり、活動室のレイアウト変更を実施して、くつろぎエリア、リハビリエリア、食事・談話エリアに分けたりするなど、様々なサービス向上に取り組み、利用者から好評を得ている状況である。</p> <p>また、施設管理についても定期的な点検、小規模な修繕を計画的に実施し、適切な維持管理を行っているほか、業者に委託して行う施設管理業務についても、併設のシルバー人材センターとも連携し、適切に実施している。</p> <p>さらに、28年度においては救急対応や感染症予防、吐物処理の除去方法等についての勉強会を開催したほか、法人全体でもセミナーや研修会を頻繁に開催し、ケアスタッフ等が資質の向上に努めました。</p> <p>以上のことから、仕様書に定められた基準に達していると判断し、総合評価はAとする。</p>		A	<p>利用者数は、近隣にデイサービスの事業者が増えたことや、総合事業の導入による介護報酬サービス内容の関連などから、一般型通所介護の利用者が減少している。しかし、新たな取り組みを積極的に行いサービス向上に努めている。</p> <p>仕様書等の水準に達していると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂地域福祉サービスセンター	非公募・特命	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 桜栄会	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	ほぼ計画通り達成できた。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	スタッフミーティングの度に基本的な事項の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	介護保険法を厳守し、利用者の公平・公正利用の確保に努めている。	A		
事業の継続性の担保	職員の退職後も新任職員に対しオリエンテーション・研修等を行い業務を継続して行えた。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数：一般型通所介護 258日 認知症対応型通所介護 258日 営業時間：9:00～18:00 (サービス提供時間9:00～16:30) 職員配置：17人(正規4人、臨時13人) 時給：ケアワーカー 955円 介護福祉士 970円 看護師 1,500円 生活相談員 975円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、近隣にデイサービスの事業者が増えたことや、総合事業の導入による介護報酬サービス内容の関連などから、一般型通所介護の利用者が減少している。 実施した行事等は従来と変わらないが、利用者の状況に合わせて内容を変更して行っている。 水害等に対する訓練を近隣施設の協力を得て初めて実施した。	A
利用状況	()内は対前年度比 一般型通所介護：6,407人(90.6%) 認知症対応型通所介護：670人(80.6%)	A		
運営企画	盆踊り、夏祭り、敬老会、落語会、クリスマス会、オペラ、芸術祭	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入：58,517,608円、支出：67,429,750円 事業収支：▲8,912,142円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率：79.1%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額：1.5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	警備、清掃、自家用電気工作物保安管理、消防用設備保守点検、空調設備保守点検、受水槽清掃、植木せん定、水道検査	A		
新たな取り組みの状況	特になし。			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に挨拶・対応等が出来ている。	A	各種業務マニュアルを設置し、適正に事業実施されている。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を施設に設置して公表している。	A
マニュアルの整備	業務に応じた様々なマニュアルを設置し、業務を実施している。	A		
研修・教育の実施状況	適宜実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	所管部署と連絡・調整・連携がされている。 非常時・事故等の連絡体制が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回アンケートを実施し、結果を施設に設置して公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットや法人ホームページで情報提供している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書を施設に設置して公表している。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正に利用できるシステムが構築されている。 設置目的以外の利用はない。	A		
業務の点検	職員会議、ミーティングで行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画に基づき実施している。	A	事業計画等に基づき、適切に実施している。	A
施設及び設備の保守・点検	適切に実施されている。	A		
保安・警備	適切に実施されている。	A		
小規模修繕	男女更衣室スポット型感知器修繕、活動室空調ドレーン水漏れ修繕、入浴用リフト修繕、避難誘導灯修繕	A		
備品管理	備品台帳を作成し管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう管理している。	A	研修・教育を実施している。個人情報に関する取り扱いマニュアルに基づき実施している。	A
個人情報等秘密の保持	立川市個人情報保護条例等の規定に基づき、秘密の保持がされている。	A		
適正な管理	適正に管理している。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、行っていない。	A		
研修・教育の実施	研修・教育を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報の取り扱いに関するマニュアル等が整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	1件の苦情があったが、適切に対応された。 ・送迎時の電話連絡を家族の携帯に入れて欲しいと伝えてあるが改善されない。	A	苦情に対する対応は適切に行われた。	A
事故の予兆に対する対応	朝夕のミーティングでの伝達、注意喚起、対応の徹底を行う。 原因・状況を調べ、職員ミーティングで対応策等を話し合い、事故防止に努めている。 継続的に安全運転会議を行い、事故防止に努めている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・車いす利用者が後方に勢いよく下がったため他の利用者とは衝突しそうになった。 ・利用者が鈴を一玉口に入れそうになった。 ・杖歩行の利用者に車いすの先端が接触した。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルの作成、研修の実施、立川・国立地区高齢者救急業務連絡会への参加等で、事故防止に取り組んでいる。避難訓練を年2回、非常災害対策訓練を年1回実施している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	施設内の複数の指定管理者と協力し「ホットライン」を構築するなど連携の強化に努めている。体操教室への場所提供、車いす等の貸出、施設周辺の清掃などにより、地域貢献に努めている。	A	地域への溶け込み、連携に努めている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	4,406,429円の削減。(平成17年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>近隣に通所介護サービスを行う事業者が増えたことなどから利用者が減っているほか、要支援者へのサービスが28年度途中より市の「総合事業」に移行したことなども加わって、事業収入が減少している状況である。</p> <p>しかし、利用者の状態像に合わせて行事内容を変更するなど、サービスの維持・向上に取り組んでいるほか、利用者への対応も適切に行っており、昨年度実施した利用者満足度調査においても、各設間で「満足」「やや満足」と回答する割合が昨年度を上回る結果がでている状況である。</p> <p>また、施設管理についても定期的な点検、小規模な修繕を計画的に実施し、適切な維持管理を行っているほか、業者に委託して行う施設管理業務についても、他施設の指定管理者と連携し、適切に実施している。</p> <p>さらに、28年度においては水害等に対する訓練を初めて実施するとともに、職場内でコンプライアンス研修を実施するなど、危機管理・職員倫理についても意識の向上を図ったほか、地域住民とも、夏祭り等の行事を通して親睦を深めているところである。</p> <p>以上のことから、仕様書に定められた基準に達していると判断し、総合評価はAとする。</p>		A	<p>利用者数は、近隣にデイサービスの事業者が増えたことや、総合事業の導入による介護報酬サービス内容の関連などから、一般型通所介護の利用者が減少している。しかし、利用者のニーズ等に応え、多くの運営企画が実施されている。</p> <p>施設維持管理等、全体を通して、安定した水準の運営が行われており、総合的には仕様書等に定められた水準に達しており、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市有料自転車等駐車場(第1ブロック)	公募	交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社	平成26年4月1日から平成31年3月31日(5年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例・規則や事業計画書に準じて適切に実施した。	A	施設の設置目的を理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	現場責任者によるOJTや統括・副統括の相互巡回により、逐次指導を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	24時間稼働の機械式駐輪機の導入や、一時利用満車時の場内空きスペースの有効活用により、公平・公正に利用できる環境を整備した。	A		
事業の継続性の担保	新人時のOJT研修後、常に経験者がフォローする体制で業務を行っている。雇用の安定のため、勤務シフトの対応に努めている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:365日 営業時間:24時間利用 職員数:正規2人、契約21人、パート35人 契約・パート社員 時給940円～1,050円	A		
利用状況	<p>【定期利用 平均利用台数】 ()内は対前年度比 自転車合計 6,451台 (113.8%) バイク合計 94台 (97.0%) 立川駅南口第一:自転車116台 (86.0%) 立川駅南口第二:自転車988台 (96.3%) 立川駅南口第三:自転車139台 (108.6%) 立川駅南口第四:自転車146台 (93.0%) 立川駅南口立体:自転車308台 (95.7%) 立川駅南口第一タワー:自転車222台 (123.3%) 立川駅南口第二タワー:自転車294台 (105.0%) 立川駅北口第一:自転車684台 (105.6%) 立川駅北口第三:自転車398台 (107.9%) (9月まで) 立川駅北口第三:自転車507台 (皆増) (10月から) バイク88台 (94.6%)</p> <p>立川駅北口臨時:自転車1,241台 (82.1%) 西地下道:自転車545台 (125.9%) 西国立駅第一:自転車119台 (98.3%) 西国立駅第二:自転車85台 (82.5%) バイク6台 (150.0%) 西国立駅第三:自転車69台 (116.9%) 西立川駅:自転車209台 (107.2%) あげぼの口南臨時:自転車381台 (皆増) (10月から)</p> <p>【一時利用 平均利用台数】 ()内は対前年度比 自転車合計 5,527台 (114.8%) バイク合計 182台 (98.9%) 立川駅南口第二:自転車620台 (107.1%) バイク130台 (97.7%) 立川駅南口立体:自転車131台 (112.0%) 立川駅南口第一タワー:自転車38台 (111.8%) 立川駅南口第二タワー:自転車67台 (121.8%) 立川駅北口第一:自転車239台 (83.9%) 立川駅北口第三:自転車525台 (95.3%) バイク46台 (97.9%) 立川駅北口臨時:自転車501台 (101.0%) 西地下道:自転車163台 (100.4%) 西国立駅第二:自転車249台 (111.7%) バイク6台 (150.0%) 西国立駅第三:自転車151台 (102.8%) 西立川駅:自転車112台 (102.7%) 立川北駅下:自転車1,596台 (100.4%) 立川北駅西臨時:自転車155台 (111.5%) あげぼの口南臨時:自転車400台 (122.0%) (9月まで) あげぼの口南臨時:自転車319台 (皆増) (10月から) 立川駅北口西地区:自転車261台 (皆増) (10月から)</p>	A	<p>基本的事項については、仕様書及び事業計画どおり実施されている。</p> <p>賃金単価については、法令等遵守されている。</p> <p>南口第一および北口臨時駐輪場を閉鎖による定期利用受入れ枠の減少にともない定期利用の売上高が大幅に減少したが、一時利用は増加した。</p> <p>利用者の増加等により人件費が増加した。また、施設の改廃により設備費が多かったため、事業収支はマイナスになっている。</p>	A
運営企画	自転車安全点検キャンペーンの実施	A		
事業収支 経営状況分析指標	指定管理料:153,107,160円 支出:161,571,284円 事業収支:▲8,464,124円 人件費比率:50.7% 使用料収入 206,686,530円(前年度212,633,760円)	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	動産総合保険・施設賠償責任保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
第三者への委託状況	緊急出動対応、集金回収、ごみ回収、定期更新機・電磁ロック駐輪機・ゲート等保守・メンテナンス	A	一部主管課と継続協議を行っている提案もあるが、様々な取り組みを実施し、利用者サービス向上に努めている。	A
新たな取り組みの状況	自転車安全点検キャンペーン、ホームページリニューアル、場内掲示協力	A		
提案の実施状況	電磁ロック式駐輪機器設置、管理室機械警備設置、満空WEBシステム、防犯カメラ設置、空気入れ・チェーン用オイル等の設置、場内掲示物の設置、プリペイドカード券売機の設置、交通系ICへの対応、レンタサイクルの実施、定期更新システム導入、利用者アンケート、管理員研修、歩道上駐車場の整備	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	OJTや外部講師による接客接客研修を実施し、適切な対応に努めた。	A	各マニュアルを整備し、適切に業務を行った。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を接客の参考にしてている。 機械式駐輪機の導入により、公平・公正な利用が確保されている。	A
マニュアルの整備	緊急対応マニュアル、接客/接客マニュアル、駐車場機器対応マニュアル・管理PCマニュアル、個人情報保護マニュアル、危機管理マニュアル、自転車駐車場管理マニュアルを整備している。	A		
研修・教育の実施状況	本社にて、外部講師による研修を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月、業務調整会議を実施し、苦情対応、修繕、改善策について共有した。	A		
利用者アンケート等の実施	全駐車場で実施し、結果を場内掲示により公表した。	A		
公平・公正利用の確保	定期空台数の掲示等により、公平・公正利用に努めた。	A		
業務の点検	第三者機関による点検を実施した。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	仕様書のとおり適切に実施した。	A	仕様書どおり、適切に管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	仕様書のとおり適切に実施した。	A		
保安・警備	仕様書のとおり適切に実施した。	A		
小規模修繕	蛍光灯/安定器の交換、通路補修	A		
備品管理	備品台帳に基づき、適切に管理した。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	本社にて個人情報取扱研修を実施した。	A	マニュアルの整備や研修は実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	マニュアルの配備、鍵付キャビネットの導入等、適切に実施した。	A		
適正な管理	管理員向けの緊急連絡体制の確認および個人情報取り扱い研修を実施。	A		
再委託の禁止	市の承諾のない再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報保護マニュアルを整備し、本社で個人情報取り扱い研修を実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	全管理室へマニュアルを配備した。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	以下の苦情があったが、適切に対応された。 ・長期間止めたままの自転車についての苦情。 ・定期利用の申し込み期間と当選発表の時間差についての苦情。 ・複数回バイクにいたずらをされたとの苦情。 ・更新について、前倒し期間延長についての苦情。 ・退場ゲートの後ろの扉が閉まるのが遅いとの苦情。 ・一時利用が開いているのに満車となることへの苦情。	A	苦情に対しては、適切に対応されており、利用者への声かけ、注意喚起等事故防止対策にも取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	あけぼの口南ラック不具合			
事故防止対策の取り組み状況	利用者への声かけ注意喚起、消防訓練の実施、消火器配備の実施、深夜巡回の実施	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	中学校の職場体験受け入れ、周辺施設の清掃、放置自転車クリーンキャンペーンへの参加などにより地域連携に取り組んだ。	A	地域との連携に努めている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	特に問題なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
臨時駐輪場閉鎖対応	市と協議を行い、適切な対応を行った。	A	適切である。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	機械式駐輪機の導入やブロック構成の変更などのため、比較は困難である。	—		—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
平成28年度は、2施設の廃止、2施設の新設(うち1施設は指定管理ではなく委託で同事業者が管理)という大規模な施設改編を行った。予算面や設備面、定期利用者の他施設への振り分け等課題が多くあったが、計画的かつ綿密な連携によってスムーズな再編ができたことについて高く評価したい。管理員の教育については、情報セキュリティに特化した研修を実施するなど、時宜にかなった工夫が見られる。また、自発的に情報収集に努め福祉部門のポスター掲示に協力するなど、公の施設における公共的役割の視点からも評価したい。今後もさらに良好な駐輪場運営に取り組むよう期待する。		A	機械式駐輪機の導入やコールセンター設置により、効率的で均質なサービス提供に努めている。 さまざまな苦情・要望等に対しても丁寧に対応されており、利用者への声かけ注意喚起等、事故防止対策にも取り組んでいる。 以上により、仕様書等の水準通りの運営が行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市有料自転車等駐車場(第2ブロック)	公募	交通対策課
指定管理者名		指定管理期間
日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社		平成26年4月1日から平成31年3月31日(5年間)

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書に沿って、適切に運営した。	A	施設の設置目的を理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	現場責任者によるOJTや統括・副統括の相互巡回により、逐次指導を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	24時間稼働の機械式駐輪機の導入や、一時利用満車時の場内空きスペースの有効活用により、公平・公正に利用できる環境を整備した。	A		
事業の継続性の担保	新人時のOJT研修後、常に経験者がフォローする体制で業務を行っている。雇用の安定のため、勤務シフトの対応に努めている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:365日 営業時間:24時間利用 職員数:正規2人、契約4人、パート12人 契約・パート社員 時給940円~1,050円	A	基本的事項については、仕様書及び事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 平成27年度に実施した料金体系の見直しに伴い、市外の定期利用料金が割高となったため、定期利用者が減少している。 一時利用者への対応業務が増加したことに伴う人件費の増加により事業収支はマイナスになっている。 売り上げは、一時利用者の増加により上昇に転じた。	A
利用状況	【定期利用 平均利用台数】()内は対前年度比 自転車合計 1,275台(89.2%) バイク合計 53台(93.0%) 西武立川駅北口:自転車294台(99.7%) 武蔵砂川駅第一:自転車573台(86.7%) バイク29台(100.0%) 武蔵砂川駅第二:自転車408台(86.4%) バイク24台(85.7%) 【一時利用 平均利用台数】()内は対前年度比 自転車合計 624台(103.1%) バイク合計 15台(88.2%) 西武立川駅北口:自転車163台(101.2%) 武蔵砂川駅第一:自転車412台(104.3%) バイク9台(90.0%) 武蔵砂川駅第二:自転車49台(100.0%) バイク6台(85.7%)	A		
運営企画	自転車安全点検キャンペーン	A		
事業収支 経営状況分析指標	指定管理料:28,326,000円 支出:30,341,409円 事業収支:▲2,015,409円 人件費比率:44.7% 使用料収入 42,161,550円(前年度41,409,530円)	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	動産総合保険・施設賠償責任保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	緊急出動対応、集金回収、ごみ回収、定期更新機・電磁ロック駐輪機保守・メンテナンス	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
新たな取り組みの状況	ホームページリニューアル、場内掲示協力	A	提案に基づき、新たな取り組みを実施し、利用者サービス向上に努めた。	A
提案の実施状況	電磁ロック式駐輪機器設置、管理室機械警備設置、満空WEBシステム、防犯カメラ設置、空気入れ・チェーン用オイル等の設置、場内掲示物の設置、プリペイドカード導入、交通系ICへの対応、定期更新システム導入、利用者アンケート、管理員研修	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	OJTや外部講師による接客接客研修を実施し、適切な対応に努めた。	A	各マニュアルを整備し、適切に業務を行った。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を接客の参考にしている。 機械式駐輪機の導入、満車時の空きスペースの利用により、公平・公正な利用が確保されている。	A
マニュアルの整備	緊急対応マニュアル、接客/接客マニュアル、駐車場機器対応マニュアル・管理PCマニュアル、個人情報保護マニュアル、危機管理マニュアル、自転車駐車場管理マニュアルを整備している。	A		
研修・教育の実施状況	本社にて、外部講師による研修を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月業務調整会議を実施し、苦情対応、修繕、改善策について共有した。	A		
利用者アンケート等の実施	全駐車場で実施し、結果を場内掲示により公表した。	A		
公平・公正利用の確保	定期空台数の掲示、電磁ラックが満車の際の空きスペースの利用等により、公平・公正利用に努めた。	A		
業務の点検	第三者機関による点検を実施した。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	仕様書のとおり適切に実施した。	A	仕様書どおり、適切に管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	仕様書のとおり適切に実施した。	A		
保安・警備	仕様書のとおり適切に実施した。	A		
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	備品台帳に基づき、適切に管理した。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	本社にて個人情報取扱研修を実施した。	A	研修やマニュアルにより、適切に実施された。	A
個人情報等秘密の保持	マニュアルの配備、鍵付キャビネットの導入等、適切に実施した。	A		
適正な管理	マニュアルの配備、鍵付キャビネットの導入等、適切に実施した。	A		
再委託の禁止	市の承諾のない再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報保護マニュアルを整備し、本社で個人情報取り扱い研修を実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	全管理室へマニュアルを配備した。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	以下の苦情・要望があったが適切に対応された。 ・満車の際の外置きが不便であるとの苦情 ・空気入れの使用ができないことについての苦情。 ・定期更新期間延長についての要望	A	苦情・要望に対しては、適切に対応されており、利用者への声かけ注意喚起等、事故防止対策にも取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	場内走行禁止掲示物による注意喚起、降雪予報時の除雪作業員・スコップ・融雪剤の配置			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	利用者への声かけ注意喚起、駅前の放置自転車駐車禁止区域への警告札貼付の実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	周辺施設の清掃、放置自転車クリーンキャンペーンへの参加などにより地域連携に取り組んだ。	A	地域との連携に努めている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	特に問題なし	A	特に問題なし	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	機械式駐輪機の導入やブロック構成の変更のため、比較は困難である。	—		—
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>平成28年度は、特に大きな問題も無く、順調に駐輪場運営をすることができた。その中で、日々発生する課題に対して迅速に対応している点について高く評価したい。さらなる人件費を投入することができない中、施設の受入枠を超える自転車の収容方法を工夫しているなど、管理員のマンパワーについても評価に値する。</p> <p>管理員の教育については、情報セキュリティに特化した研修を実施するなど、時宜にかなった工夫が見られる。</p> <p>また、自発的に情報収集に努め福祉部門のポスター掲示に協力するなど、公の施設における公共的役割の視点からも評価したい。</p> <p>今後もさらに良好な駐輪場運営をできるよう期待する。</p>		A	<p>機械式駐輪機の導入等により、効率的で均質なサービス提供に努めている。</p> <p>仕様書等で定められた水準に達していると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市営駐車場	公募	交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
公益財団法人東京都道路整備保全公社	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで(5年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書に基づき管理運営を行い、周辺の交通渋滞緩和に貢献した。	A	公の施設の役割と、市の代行者の立場であることへの理解は深く、適切に業務を行っている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	毎月、各駐車場責任者が集い管理運営に関する情報や意見交換を行い、それを職員に指導・伝達し、職員の意識向上に取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	各駐車場への管制機器等により、公平・公正に利用できる環境を整備している。	A		
事業の継続性の担保	業務に精通した職員を配置しているほか、前年度と同じ職員の継続配置、研修等による専門知識の向上等により、事業継続性の確保に努めている。南口勤務者が北口第一・緑川地区に異動したが問題なく業務が継続している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:365日 (ただし、緑川第六駐車場は外柵改修工事のためH29.3.1~3.29まで時間制営業を休止) 営業時間:24時間利用 契約社員 日給8,000円 合計16名 (H28.7.31南口2場閉鎖後は8名)	A	基本的事項は事業計画のとおり実施された。 賃金単価については、法令等遵守されている。 南口第一駐車場、南口第二駐車場閉鎖、近隣の民間駐車場の経営状況等により軒並み利用者が減少したが、緑川第四駐車場は、近隣の工事関係車両の受け入れにより利用者増につながった。	A
利用状況(利用台数)	【時間貸】 ()内は対前年度比 合計293,318台 (95.1%) 北口第一:220,712台 (99.3%) 緑川第四:37,277台 (109.7%) 緑川第五:17,907台 (98.0%) 緑川第六:10,344台 (88.2%) 南口第一立体:1,932台 (28.0%) 南口第二立体:5,146台 (33.7%) 【定期利用】 ()内は対前年度比 合計1,656台 (93.5%) 北口第一:501台 (95.4%) 緑川第六:957台 (101.3%) 緑川第七:163台 (99.4%) 南口第一立体:18台 (22.0%) 南口第二立体:17台 (30.4%)	A		
運営企画	夜間限定定期料金の開始、定期台数見直しによる時間制利用確保、障害者割引対応時間の拡大、オートバイの機械化、駐車場提携サービスの拡大、スマートフォン精算・ポイント還元・法人会員の導入、オートバイ収容台数の拡大、荷捌き駐車場の受入、パーク&レンタサイクルの実施、EV充電器の設置、エレベーターチェアの設置、グリーン電力証書発行	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:204,450,780円、支出:255,783,840円 事業収支:▲51,333,060円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率:27.6% 市への納付金(基本納付額)140,000,000円	A	さまざまな新たな取り組みを意欲的に行い、利用者サービスの向上に結び付いている。 収支は対前年度で大きなマイナスとなった。 市への納付金は、基本分のみにとどまった。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	自動車管理者責任賠償保険、施設管理者賠償責任保険、現金動産・機械動産保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	清掃、機械警備、諸設備管理・点検、消防設備点検、精算機保守点検、駐車機器保守点検、交通誘導、売上金回収、駐車場管理システムの保守・運用支援、定期料金の収納代行	A		
新たな取り組みの状況	新時間制料金の新設、車両出口における事故防止対策、駐車場場内照明灯の新設	A		
提案の実施状況	夜間限定定期料金の開始、定期台数見直しによる時間制利用確保、障害者割引対応時間の拡大、オートバイの機械化、駐車場提携サービスの拡大、スマートフォン精算・ポイント還元・法人会員の導入、オートバイ収容台数の拡大、荷捌き駐車場の受入、パーク&レンタサイクルの実施、EV充電器の設置、エレベーターへのレスキューチェア設置、グリーン電力証書発行	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	場長が各駐車場を巡回しチェック・指導を行い、挨拶、接遇、服装、利用者説明等について、高い意識で取り組んだ。	A	駐車場の案内だけでなく、近隣施設に関する問合せにも対応できるよう、情報把握に努めた。 職員の対応については、利用者アンケートでも高い評価となっている。 仕様書や業務マニュアルに基づき、適切に業務を行った。	A
マニュアルの整備	利用者対応、事故・事件対応、防犯対策等の各種マニュアルを整備し、業務を行っている。	A		
研修・教育の実施状況	接遇、個人情報取扱、管制機器操作、不具合時の緊急対応等、各種研修を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月の業務調整会議により情報共有している。緊急時の連絡体制も整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、各駐車場で結果を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレット、ホームページ、駐車場案内サイト等により、PRに努めた。	A		
事業計画・報告書の公表	市に提出し、閲覧できる状況である。	A		
公平・公正利用の確保	全駐車場に管制機器を設置し、公平・公正に利用できる環境を整備している。	A		
業務の点検	毎月モニタリングチェックシートを作成し、市へ提出している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画等に基づき、適切に実施された。	A	適切に実施された。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画等に基づき、適切に実施された。	A		
保安・警備	事業計画等に基づき、適切に実施された。	A		
小規模修繕	階段室手すり修繕、管理室エアコンの修理、場内照明のLED化、鉄骨養生ボードの修繕、温水便座の設置、非常誘導灯の修繕、車両入口回転等修繕、車両入口モニメント修繕、	A		
備品管理	備品台帳を作成し、適正に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報保護の重要性を十分に認識し、事故防止を徹底している。	A	職員への意識づけ、システム面での対応ともに高い水準で徹底されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定に基づき、適正に管理されている。	A		
適正な管理	契約者情報等は、専用サーバーによるシステムにより、厳重に管理されている。	A		
再委託の禁止	市の承諾に基づき、適正に実施している。	A		
研修・教育の実施	毎年、全職員が研修に参加するとともに、管理職による個別の指導も行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	社内規程に基づき作成した、個人情報保護・情報セキュリティハンドブックを全職員が所有している。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	車両出口ゲートキーパー、フェンスガードパイプ、移動式消火設備、車両入口回転灯に車両が接触し破損する事故が計5件、契約車両以外の車の駐車についての苦情が1件あったが適切に対応された。	A	事故への対応や事故防止への取り組みは良好に行われた。	A
事故の予兆に対する対応	建物の鉄骨を養生しているボードについて、場内点検を行い不具合を発見。速やかに修繕をおこなった。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	出庫後の車と自転車とが接触しそうになったことから、自転車及び歩行者の往来の多い時間帯は職員及び誘導員が誘導を行っている。			
事故防止対策の取り組み状況	各種マニュアルに基づき、事故防止に努めている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	立川市交通円滑化推進懇談会に参加し、立川駅周辺の交通環境改善に取り組んでいる。	A	地域との連携に積極的に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	9,000,000円の削減。(人件費のみ平成17年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>第3期目の指定管理者として5年間の管理運営の3年目に当たり、クレジットカード・電子マネー決済やインターネットでの駐車場情報の提供など前指定管理者が実施していた主要なサービスを継続したほか、EV充電設備の設置、障害者割引対応時間の拡大等、新たな方策を展開している。</p> <p>平成28年度については、利用の低迷していた北口第一駐車場の料金改定を行い、12時間1000円の料金を導入した。また、老朽化の進んでいた南口第一立体駐車場、南口第二立体駐車場の廃止を行ったが、民間駐車場との競争の結果、利用料金は減収となった。</p> <p>しかしながら、公の施設であることをよく認識し、接遇の向上をはじめ個人情報の保護、危機管理対応、災害時対応、環境対策などにも積極的に取り組んでおり、地域との連携にも努める姿勢が見て取れた。</p> <p>以上のことから総合評価としてはA評価としたい。</p>		A	<p>利用者拡大の努力は引き続き行っているが、民間駐車場の運営等により利用台数は一部の駐車場を除き前年度を下回った。</p> <p>安全管理や個人情報保護、地域貢献など、特に公の施設に期待される項目について、高い水準で取り組んでいる。</p> <p>職員の対応は、利用者アンケートでも高い評価となっている。</p> <p>外部要因もあり収支がマイナスであるが、管理・運営は良好に行われたと判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市八ヶ岳山荘	公募	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社レストラン・ピガール	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	市条例、規則、基本協定書を踏まえ適切に運営した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	毎日、ミーティングを行い職員の教育に努めるとともに、月に1回以上本社の役員が山荘において教育指導を行った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	法令を遵守し、公平・公正利用を確保した。	A		
事業の継続性の担保	繁忙期等に他店舗の職員を派遣し研修しており、仮に山荘職員に欠員が生じても対応できるようにしている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:340日 開館時間:24時間 職員配置:正社員9名、嘱託2名 給与単価:年収232万円～555万円 嘱託 日給15,000円	A		
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 12,755人(99.6%) 〔内訳〕 一般利用者 8,453人(100.2%) 学校利用 3,238人(90.2%) ※小学校3,238人、中学校0人 青少年団体 1,064人(99.4%) 日帰り 0人	A	平成28年度は工事のため1か月休館したが一般利用者は増加した。	
運営企画	フェイスタオル・歯ブラシ・バスタオルの提供、バスツアーの実施(4回)、小学校のハイキングに道案内ガイドを無料提供、送迎、駅・ドライブイン等での宣伝活動、木工教室・星を見る会等のイベント実施、トマト等の収穫体験、お誕生日プレゼント	A	基本的事項については、実施計画どおり実施されている。賃金単価については、法令等遵守されている。	
事業収支 経営状況分析指標	収入:79,301,381円、支出:76,835,891円 内訳 指定管理料:57,751,000円 利用料金収入:11,284,500円(施設使用料) その他事業収入:8,120,881円(食事・売店等) 事業収支:2,145,000円 人件費比率:55.3% 外部委託費比率:10.8% 指定管理料及びその他の収入で適正に事業を行うことができた。	A	参加型イベントの実施などは、好評を得ている。 一般宿泊者については、フェイスタオルや歯ブラシセットなどのアメニティーを提供している。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償保険・旅館施設保険 支払限度額:10億円 旅館・施設賠償保険に自主的に加入したほか、協定の水準を超えても必要な経費は支出した。	A	設備修繕を積極的に行い、施設の安心・安全な運営に努めている。	
第三者への委託状況	施設保守点検・定期清掃、定期消毒、ごみ処理、自家用電気工作物保安検査	A		
新たな取り組みの状況	スキー場の積雪状況など近隣施設の情報提供 流星を見る会 大学校友会への営業活動	A		
提案の実施状況	アメニティーセットの提供、自炊棟の鍋の購入、小学校のハイキング時の道案内ガイドの派遣、閑散期割引、バスツアーの実施、各種イベントの実施、送迎、夕食のバーベキューへの変更、緊急時対応、宿泊棟の整備	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	研修、日々のミーティングでチェックし取り組んでおり、94.1%の利用者から良い評価があった。	A	各種マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。 施設の性格上、接客には特に力をいれている。 利用者アンケート結果は非常に高く、利用者から見た評価は高い。 事業計画・報告書の公表も行っている。	A
マニュアルの整備	衛生管理、災害時対応、消防、接客の各マニュアルに基づき業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	各分野の講習を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的に、また随時、速やかに連絡を行っている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレット・チラシを作成し配布している。ホームページに利用案内や空室情報を掲載している。	A		
事業計画・報告書の公表	市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	条例等をよく理解し、公平利用に努めた。	A		
業務の点検	毎日ミーティングを行いチェックしている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 トコジラミ、レジオネラ菌等に対する予防消毒を行うなど、衛生管理にも努めている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	木道整備、自動ドア修理、非常用予備発電装置始動用蓄電池交換、ろ過装置修繕、小浴室シャワーカラン交換	A		
備品管理	備品台帳を作成し適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、職員を指揮監督している。	A	適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	支配人により、適正に管理している。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	必要な研修を実施した。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	事故を未然に防ぐ取り組みがなされている。 マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	各種訓練を実施し、敷地内及び館内の見回りに努めている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	暖房機からの灯油漏れ、スズメバチの巣の発見、玄関自動ドアの不規則な開閉。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルに基づき、事故防止の取り組みを行った。災害発生時の連絡体制も確立されている。避難訓練等を3回実施したほか、地域の災害訓練にも参加している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	清里学校寮地区での長年の受託実績により、地域や各種機関との関係を構築している。	A	地域との関係は良好である。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
優良申告法人 エコ活動	・管轄税務署から優良申告法人として表敬状授与 ・使用済み割りばしのNPO法人への提供	A	事業活動について各団体より評価を得るとともに、エコ活動に取り組んだ。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	7,409,525円の削減。(平成20年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>清里学校寮地区では毎年利用者減等により閉鎖に追い込まれる寮が後を絶たない中、また、平成28年度は、本館のボイラー交換のため約一か月の休館日があったにもかかわらず、前年度より一般利用者は増加した。利用者増は指定管理者の営業活動の成果であり、評価に値する。</p> <p>経年劣化が進行する施設について、日々業務点検を行い施設担当課への状況報告も詳細になされ必要な修繕を適切に行っている。</p> <p>小学校の八ヶ岳自然教室においてハイキングの道案内ガイドを無料で提供し、児童の安全・安心の確保に努めている。</p> <p>衛生管理面においても昨今多発するアレルギー食材に起因する事故やウイルスによる食中毒などの事故を受けて、年間を通じて研修や講演を行っている。</p> <p>サービス向上のため、指定管理者他店舗でのOJT研修や老舗ホテルの元総支配人による業務チェック研修を行った。</p> <p>利用者アンケートでは、「食事」「施設」「サービス」のすべてにおいて94.1%と評価が高い。利用者も毎年増加していることから、指定管理者制度の目的である「民間の活力を利用して、より良い市民サービスの提供」が達成されていると考えられ、高く評価できる。</p>		A	<p>エリア全体の集客力が落ち込む中、一貫して利用者増を続けてきたことは高く評価できる。</p> <p>老朽化する施設・設備に対し、適切に対応しながら、安定的な運営に努めている。</p> <p>利用者アンケートの評価も高く、質の高いサービスが提供されていると判断できる。</p> <p>概ね仕様書等で定められた水準に達しておりA評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市滝ノ上会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市滝ノ上会館管理運営委員会	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、市及び他会館とともに「受付の手引」(業務マニュアル)を改訂した。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:327日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給(平均):63,336円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入している。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われており、「立川市ひと涼み声かけプロジェクト」にも取り組んでいる。	A
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:18,524名(99.0%) 利用件数:1,118件(92.6%) 平均施設使用率:35.9%(90.9%)	A		
運営企画	利用者懇談会、広報発行、委員研修会、会館まつり、新年懇談会、ふれあいコンサート	A		
事業収支	収入:3,826,077円、支出:3,826,077円 * 指定管理料3,766,700円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会、役員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会へ参加し、所管課との調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託はしていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が図れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
		施設担当課評価		2次評価
		コメント(事務局で簡略化して編集)		2次評価
		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>滝ノ上会館は、地域の住民にとって学習、また趣味や娯楽といった活動の拠点となっており、開館以来、利用者の方々や地域の各種団体と一体となりながら、富士見町の文化を盛り上げてきた。また、平成28年度は、「地域に密着した文化拠点としての管理運営」「子どもの居場所づくり」「コミュニティステージ(地域密着型行事)開催による地域文化の向上」「第二次防災避難所としての機能の充実」「会館利用の促進」を会館の事業計画とし、運営・事業企画を行った。とりわけ「子どもの居場所づくり」に力を入れ、PTAや子ども会との連携のもと、子どもが参加しやすい企画を数多く実施している。</p> <p>その成果もあってか、滝ノ上会館は子どもをはじめ幅広い年代の参加者が集える場として、地域にすっかり定着している。例えば会館まつりでは、地元小中学生と地域サークルによる音楽会や、子ども会によるゲームコーナー、アクセサリー作り等、意欲的な取り組みが行われている。また、地域のジュニアリーダー出身者が、成人しても模擬店運営に継続的にかかわる等、世代を超えた事業の継続性が図られ、会館まつりの来館者数増加にもつながっている。加えて、立川市地域文化振興財団との共催で行う「富士見町ふれあいコンサート」では、プロの演奏家のステージを身近に楽しめる貴重な機会として、子どもから大人まで多くの地域住民が来館し賑わう。</p> <p>こうした地域に密着した事業を軸に、会館は世代を超えた地域住民の交流及び生涯学習の拠点としての役割を大いに果たしているといえる。</p>		A	<p>地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。</p> <p>法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市こびら橋会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市こびら橋会館管理運営委員会	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的で開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、市及び他会館とともに「受付の手引」(業務マニュアル)を改訂した。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的で開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:317日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時3名 月給(平均):89,140円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入している。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われており、27年度から「立川市ひと涼み声かけプロジェクト」にも取り組んでいる。	A
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:24,676名(104.6%) 利用件数:1,811件(103.2%) 平均施設使用率:52.8%(103.5%)	A		
運営企画	広報発行、会館まつり、講演会、地域懇談会、新年賀詞交換会、会館利用者アンケート、管外研修会	A		
事業収支	収入:4,016,979円、支出:4,016,979円 * 指定管理料3,935,345円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、広報にて結果を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保持するよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	網戸修繕、女性用トイレ漏水修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託はしていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
◆ 総合評価				
<p>こんぴら橋会館は、地域の住民にとって生涯学習及び地域コミュニティの拠点として、開館以来、利用者の方々や地域の各種団体と一体となりながら、砂川地域の文化を盛り上げてきた。とりわけ文化会活動が活発で、文化会文化祭では作品展示のほか、手打ちうどん体験、工作教室、囲碁・将棋大会、カラオケ大会と多彩なプログラムが会館で盛大に展開されることから、会館の日常的な利用者数の増加にもつながっている。</p> <p>会館まつりは利用者団体による芸能発表のほか、子ども向けの無料の模擬店など、地域のお祭りならではの企画を用意し、毎年大勢の来館者で賑わいを見せている。この他にも、認知症をテーマとした講演会や、地元選出市議を迎え地域課題について意見交換を行う懇談会など、地域や時事を意識した事業を積極的に展開している。</p> <p>施設管理の面では、毎年5月に休館日を利用して、管理運営委員を中心に、地域のボランティアの力を借りて施設内の整備・清掃を行っている。また、24年度から予算化された指定管理料の修繕料を活用した軽微な修繕等も積極的に実施し、管理運営委員と利用者団体が協力して施設の維持保全に努めている。</p>		A	<p>地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。</p> <p>法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市高松会館管理運営委員会	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、市及び他会館とともに「受付の手引」(業務マニュアル)を改訂した。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:324日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給(平均):61,166円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入している。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われており、「立川市ひと涼み声かけプロジェクト」にも取り組んでいる。	A
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:18,919名(104.8%) 利用件数:1,212件(105.3%) 平均施設使用率:40.5%(105.7%)	A		
運営企画	広報発行、会館まつり、高松町文化祭、高松町合同防災訓練、利用者懇談会	A		
事業収支	収入:3,674,479円、支出:3,674,479円 * 指定管理料3,659,065円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、定期総会で利用状況等を報告している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、定期総会において利用状況等の報告を行った。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保持するよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	集会室照明器具修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託はしていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>高松会館は、地域コミュニティの拠点施設として、地域に密着した会館運営や企画づくりを心がけている。そのため地域の諸団体とは様々な面で協力しており、会館まつりなど会館が主催する行事に対して支援を受けているほか、会館としても地域の各種団体が実施する行事に協力・協賛している。また定期的に開催している管理運営委員会では、各団体間の情報交換の場としての役割も兼ねており、このように会館が地域の諸団体と連携し、一体となりながら、高松町の地域活動を盛り上げている。</p> <p>施設の2階は高松児童館となっており、平成24年度より指定管理者による運営が行われている。高松会館では、この特徴を生かし、積極的に児童館との連携を図っている。例えば会館広報には児童館の行事案内等を毎月掲載しているほか、会館まつりでは児童館職員及び地域の子どもたちによるゲーム企画等が実施され、児童館との連携により、会館を拠点に世代を超えた交流が生まれている。</p> <p>また鮮やかなフルカラー印刷が目を引く会館広報を年3回発行し、会館の情報のみならず、前述した児童館の情報及び地域で開催される様々な事業を紹介するなど、地域の情報発信源として、会館が各種団体を繋ぐ役割を果たしている。</p> <p>なお28年度は、「親しまれ使いやすい会館」を目指し、行事の日程や内容の見直しを開始する等、意欲的な改革がみられ、今後その効果に期待したい。</p>		A	<p>地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。</p> <p>法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市若葉会館管理運営委員会	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的で開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、市及び他会館とともに「受付の手引」(業務マニュアル)を改訂した。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的で開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時5名 月給(平均):52,131円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入している。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:30,486名(96.2%) 利用件数:1,752件(94.2%) 平均施設使用率:46.4%(97.3%)	A		
運営企画	広報発行、講座(マイナンバー制度の概要・スポーツ吹き矢・お肉屋さんが教えるロールキャベツと串カツ)、管外研修、利用者懇談会、会館まつり	A		
事業収支	収入:3,854,735円、支出:3,854,735円 * 指定管理料3,853,405円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	30周年記念式典・祝賀会	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、定期総会で利用状況等を報告している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、定期総会において利用状況等の報告を行った。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保持するよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	1階事務室扉修繕、テレビ修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託はしていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>若葉会館は、「年3回の会館広報の発行」「年3回の講座(自主事業)の開催」「併設する図書館と一体となった会館まつりの実施」を、会館三大事業と位置づけ、地域の各種団体と協力しながら、管理運営委員会を挙げてこれらの事業に取り組んでいる。</p> <p>年3回の広報発行のうち、毎年7月に発行する各種団体との合同広報では、会館のみならず自治会、文化会、体育会、青少健、子ども会など、地域の各団体の情報を掲載し、手配りで町内全戸配布を行っている。</p> <p>また、年3回の講座(自主事業)も充実しており、いずれも地域住民の好評を博している。今年度は「マイナンバー制度の概要」「スポーツ吹き矢」「お肉屋さんが教える上手なロールキャベツと串カツの作り方」をテーマとする等、意欲的な取り組みを行っている。</p> <p>さらに、会館まつりを地域の子どもの主体のイベントとしており、地域の小中学校児童・生徒の作品展示や演奏発表をはじめ、子ども向けのおはなし会や工作教室などが開催される。また1階の若葉図書館の協力による古本の頒布や、地域の諸団体による模擬店、地元野菜の販売も人気企画として定着しており、子どもはもちろん、大人も存分に楽しめる、地域交流の場となっている。</p> <p>こうした精力的な取り組みを通して、若葉会館は子どもから大人まで、地域の誰もが集える場として、地域コミュニティの要として機能している。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市こぶし会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市こぶし会館管理運営委員会	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、市及び他会館とともに「受付の手引」(業務マニュアル)を改訂した。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:332日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給(平均):73,089円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入している。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:39,793名(100.4%) 利用件数:2,404件(105.3%) 平均施設使用率:43.0%(105.1%)	A		
運営企画	会館まつり、利用者懇談会、広報発行、賀詞交換会、創立30周年記念誌「こぶし」発行	A		
事業収支	収入:4,241,352円、支出:4,241,352円 * 指定管理料4,241,275円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	創立30周年記念誌「こぶし」の発行。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を館内掲示して公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、結果を館内に掲示した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保持するよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	給湯室水洗金具修繕、花壇散水機修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託はしていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>こぶし会館は、幸町と柏町の二町にまたがる会館であり、それぞれの地域の各種団体から選出された委員により運営されており、この二町の地域活動に様々な形でかかわっている。</p> <p>加えて、学習等供用施設11館の中で施設規模が最も大きく、また立川駅からモノレールもしくはバスでのアクセスが可能で、交通の便が良い施設であることから、市外を含む他地域からの利用や、行政事業のための利用も多い。また、施設1階の一部は、幸図書館となっている。</p> <p>こうした事情により、こぶし会館には毎日多数の方が出入りしている。年間利用者数が4万人近くと学習等供用施設全11館で最も多いことに加え、開館から30年が経過し施設の老朽化が目立ち、28年度も受変電設備、音響設備、サッシ・扉等に修繕を要した。このため、管理人がこまめに館内の施設・設備の状況に気を配っており、不具合を発見した際などの主管課との連携が密に図られている。</p> <p>また、二町にまたがるという規模の大きさを生かして、会館の各種事業も大変盛大に行われている。例えば5月の会館まつりは2日間にわたって開催され、体育・芸能発表、作品展示、模擬店、ダンスパーティ、図書館おはなし会等で、毎年大盛況となっている。</p> <p>こぶし会館は28年度に開館30周年を迎え、式典の実施や記念誌の発行を滞りなく行うことができた。今後も地域コミュニティの拠点として、並びに立川市の学習等供用施設を代表する会館として、継続的な生涯学習の場や機会の提供と活気ある事業展開が期待される。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣中央会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市羽衣中央会館管理運営委員会	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、市及び他会館とともに「受付の手引」(業務マニュアル)を改訂した。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:346日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時3名 月給(平均):94,720円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入している。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われており、「立川市ひと涼み声かけプロジェクト」にも取り組んでいる。	A
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:26,566名(96.8%) 利用件数:1,573件(99.6%) 平均施設使用率:40.7%(101.2%)	A		
運営企画	利用者懇談会、広報発行、管外研修、会館まつり、賀詞交換会、講演会	A		
事業収支	収入:4,552,781円、支出:4,552,781円 * 指定管理料4,137,930円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況		—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、定期総会で利用状況等を報告している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、定期総会において利用状況等の報告を行った。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保持するよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	トイレ修繕、防護ネット修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託はしていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>羽衣中央会館は、羽衣町のコミュニティ活動の拠点として、地域内の各種団体と連携しながら、地域に密着した管理運営を行っている。</p> <p>例えば会館の主要なコミュニティ事業である会館まつりは文化会の文化祭と合同で2日間にわたり盛大に実施され、作品展示や芸能発表に加え、子ども向けクラフトコーナーや隣接する公園を活用した模擬店が毎年人気を博している。地域内の各種団体との共催事業も多く、より多くの地域住民に会館を知ってもらい、また参加してもらえるよう取り組んでいる。さらに会館管理運営委員会としても、地域内の各種団体が主催する様々な行事に積極的に協力、参加しており、多方面にわたって地域に密着した活動を行っている。</p> <p>また、鮮やかなフルカラー印刷が目を引く会館広報を年3回発行し、会館の情報のみならず、地域で開催される様々な事業の案内や身近な法律についてのコラムを掲載するなど、地域の情報発信源として、会館が各種団体を繋ぐ役割を果たしている。</p> <p>一方、施設管理の面についても、利用者懇談会で寄せられる様々な要望に対し、設備機器の買い換えや修繕、市への対応依頼を迅速に行っている、このように、地域のあらゆる活動の拠点である会館を少しでも快適に利用してもらえるよう、常に利用者の声に耳を傾けながらの管理運営を心がけている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市天王橋会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市天王橋会館管理運営委員会	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、市及び他会館とともに「受付の手引」(業務マニュアル)を改訂した。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:322日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給(平均):58,904円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 指定管理者に特化した施設賠償責任保険に加入している。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われており、「立川市ひと涼み声かけプロジェクト」にも取り組んでいる。	A
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:20,994名(104.8%) 利用件数:1,308件(104.0%) 平均施設使用率:42.6%(100.5%)	A		
運営企画	利用者懇談会、広報発行、会館まつり、防災訓練講習会、カラオケ団体交流会、みんなのコンサート、わいわい教室	A		
事業収支	収入:3,654,646円、支出:3,654,646円 * 指定管理料3,552,865円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、定期総会で利用状況等を報告している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、定期総会において利用状況等の報告を行った。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保持するよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	印刷機修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託はしていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>天王橋会館は、一番町地域のコミュニティ拠点として、多くの地域住民に親しまれている。管理運営委員会の活動にも地域の住民が自主的に参加・協力し、特に施設管理の面においては、個人の特技を活かして軽微な修繕や植木の世話などをボランティアで行っており、会館はこうした善意により支えられている。</p> <p>また、コミュニティ事業についても、地元の小中学校から多くの児童・生徒やPTAが組織的に参加しており、こうした地域のボランティアの協力を受けて運営されている。毎年6月に行われる会館まつりでは、表の駐車場など広い敷地を活かして、地域の諸団体による多数の模擬店が並び、また館内では利用者による作品展示や芸能発表が行われ、世代を超えて多くの来館者で賑わっている。また立川市地域文化振興財団との共催で11月に行われている「一番町みんなのコンサート」では、地元小・中学校吹奏楽部や和太鼓クラブによる演奏、プロの奏者による演奏も行われ、子どもから大人まで地域の誰もが楽しめるイベントとなっている。合唱・絵手紙・餅つき等のサークル活動を一般公開し地域住民に体験をしてもらう「わいわい教室」、カラオケ団体合同による自主交流会(発表会)等、特色ある自主事業は数多く、会館が様々な場面で地域の住民が集う場として定着しており、ここ数年は利用者数も2万人以上を維持している。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柴崎会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市柴崎会館管理運営委員会	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、市及び他会館とともに「受付の手引」(業務マニュアル)を改訂した。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:329日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給(平均):73,215円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入している。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われており、「立川市ひと涼み声かけプロジェクト」にも取り組んでいる。	A
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:35,712名(116.4%) 利用件数:2,555件(110.5%) 平均施設使用率:60.6%(107.8%)	A		
運営企画	広報発行、会館まつり、利用者懇談会、合同賀詞交換会、健康講座、防災訓練、柴崎ふれあいまつり	A		
事業収支	収入:4,254,577円、支出:4,254,577円 * 指定管理料4,242,145円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、定期総会で利用状況等を報告している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、定期総会において利用状況等の報告を行った。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保持するよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	2階洋式トイレ排水不良修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託はしていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>柴崎会館の管理運営委員会には柴崎町内すべての自治会の代表が参加しており、地域住民の活動の場として、会館は地域になくてはならない施設として認知されている。したがって、地域内の様々な情報は会館に集約され、会館を軸に地域の情報発信・伝達が行われている。</p> <p>このように地域団体の強い結束に支えられた柴崎会館は、コミュニティ事業の実施においても、会館まつりなど、管理運営委員会を中心に各団体の協力のもと行っている。逆に自治連柴崎町支部が主催する柴崎ふれあいまつりにも管理運営委員会が全面的に協力するなど、他団体の事業に対しても積極的に支援するようにしている。</p> <p>柴崎会館は26年度、空調機改修工事と併せて、これまで柴崎学童保育所であった1階フロアについて会館の多目的室としての利用が始まった。会館を挙げて地域コミュニティの拠点としての施設使用率の向上に取り組んでいるほか、国の委託事業である外国人向け就労支援研修の会場となったこともあり、近隣に改築間もない柴崎学習館があるという立地状況の中、会館の使用率・利用者数ともに他の学習等供用施設と比較しても高水準を維持している。</p> <p>このように地域の各種団体が一体となって管理運営を行っている柴崎会館は、地域コミュニティの拠点として不可欠な施設となっている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市さかえ会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市さかえ会館管理運営委員会	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、市及び他会館とともに「受付の手引」(業務マニュアル)を改訂した。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給(平均):69,293円	A	本的事项は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 27年度は空調設備工事のため2か月間休館した影響により利用者数及び利用件数ともに大幅に落ち込んだが、28年度は改善した。 指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入している。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われており、28年度から「立川市ひと涼み声かけプロジェクト」にも取り組んでいる。	A
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:29,769名(132.4%) 利用件数:2,114件(137.1%) 平均施設使用率:59.5%(98.7%)	A		
運営企画	利用者懇談会、会館まつり、広報発行、委員研修、AED講習・避難訓練、「志民講座」	A		
事業収支	収入:4,388,666円、支出:4,388,666円 * 指定管理料3,586,985円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	立川市ひと涼み声かけプロジェクト	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保持するよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	駐車場縁石・車止め補修	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託はしていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>さかえ会館は、栄町のほぼ中心に位置し、また近隣に学習館等のサークル活動ができる施設がないこともあり、栄町における各種活動の拠点として、多くの地域住民に利用されている。定例的に会館を利用している団体も多く、会館の利用率は高水準を維持している。会館としても更なる利用率、利用者数の向上に努めている。</p> <p>施設利用者が多い事からも読み取れる通り、会館には毎日利用者の出入りも多いため、施設の安全管理には特に気を配っており、利用者団体を交えた避難訓練・AED講習を実施するなどして、安全意識の向上に努めている。</p> <p>また、フリーマーケットやマジックショーを盛り込んだ会館まつりや、栄町ゆかりの唄家を招いた「栄町寄席」(自主事業)等、ユニークな企画が展開され、地域の誰もが楽しめるイベントとして大変なにぎわいを見せている。</p> <p>こうした趣向を凝らした事業を軸に、会館は世代を超えた地域住民の交流及び生涯学習の場としての役割を大いに果たしているといえる。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市西砂会館管理運営委員会	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、市及び他会館とともに「受付の手引」(業務マニュアル)を改訂した。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:294日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給(平均):53,655円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入している。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われており、「立川市ひと涼み声かけプロジェクト」にも取り組んでいる。	A
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:13,929名(101.5%) 利用件数:762件(96.8%) 平均施設使用率:36.0%(98.1%)	A		
運営企画	お茶作り教室、管外研修、広報発行、そうめん流し、利用者懇談会、まゆだま飾り、手打ちうどん作り大会、会館まつり	A		
事業収支	収入:3,451,330円、支出:3,451,330円 * 指定管理料3,348,000円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	立川市ひと涼み声かけプロジェクト	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、定期総会で利用状況等を報告している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会、役員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、定期総会において利用状況等の報告を行っており、広報にて利用者懇談会の内容を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保持するよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託はしていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
		施設担当課評価		2次評価
		コメント(事務局で簡略化して編集)		2次評価
		1次評価		評価理由等
◆ 総合評価				
<p>西砂会館は、その立地条件から他地域の利用者は少ない反面、地元利用団体の作品等が常設的に展示されているなど、西砂地域に密着した会館として親しまれている。管理運営委員会も西砂の地域色を活かし、広報誌への歴史コラムの掲載や会館事業としての伝統食文化教室の開催などを通じて、地域の各種団体とも協力しながら西砂地域の文化の継承に重点的に取り組んでいる。</p> <p>とりわけ伝統食文化についての取り組みは、他館には見られない西砂の特色と言え、そうめん流し、まゆだま飾り、手打ちうどん作り等をそれぞれ開催している。手打ちうどんについては、地元の小学校とも連携して、子どもたちにうどん作りを体験してもらう機会を提供している。こうした西砂ならではのコミュニティ事業を積極的に展開することが、地域の子どもやファミリー層の利用者を取り込むことにつながっている。</p> <p>また、会館を「地域の安全の拠点」とするため、利用者懇談会と防災訓練を同時に開催し、利用者団体と一緒に訓練に取り組んだり、館内に避難路の掲示を自主的に行うなど、事故や災害への備えについても重点的に取り組んでいる。</p> <p>このように、地域住民及び諸団体と一体となった自主事業を数多く展開するとともに、近年は各地域団体に対し管理運営委員長自らが会館のPR活動を行う等、利用率を上げるための取り組みを続けており、西砂会館は地域コミュニティの拠点としての機能を大いに果たしている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市上砂会館管理運営委員会	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、市及び他会館とともに「受付の手引」(業務マニュアル)を改訂した。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:334日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給(平均):72,869円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入している。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:36,937名(95.5%) 利用件数2,569件(95.2%) 平均施設使用率:46.9%(96.7%)	A		
運営企画	広報発行、会館まつり、クリスマス紙ケーキづくり、管外研修、新年会、利用者懇談会、講演会	A		
事業収支	収入:4,229,493円、支出:4,229,493円 * 指定管理料4,229,488円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、定期総会で利用状況等を報告している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、定期総会において利用状況等の報告を行った。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保持するよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	机修繕、蛍光灯安定器交換修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託はしていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>上砂会館は、平成12年に開館した、学習等供用施設11館の中で最も新しい施設である。当館の特徴として、学習等供用施設で唯一の音楽室(防音設備完備)や広いホール(集会室)を備えていることもあり、近隣地域以外からの利用や有料団体による利用も比較的多く、利用料収入につながっている。さらに、図書館(2階)・児童館(1階)・学童保育所(1階)・福祉事業所(1階)・一般住居(3階以上)との複合施設であり、また会館の出入口を図書館と共有していることから、会館利用者以外の来館者が会館窓口を訪れることも多い。こうした事情もあり、毎日多くの会館利用者・来館者を迎える上砂会館では、日頃から窓口での接客対応については意識的に取り組んでおり、窓口では会館利用者・来館者と丁寧にコミュニケーションをとるよう心がけている。</p> <p>また、地域にある団地住民を中心に地域活動への関心が強く、会館実施事業もこうした地域の各種団体から協力を受けながら、地域住民の誰もが参加しやすいよう企画している。とりわけ、毎年9月末に2日間にわたって開催される会館まつりでは、前夜祭として地元音楽大学のジャズオーケストラによる演奏が行われたほか、翌日の利用者団体による芸能発表では、他館と比較しても出演者数が非常に多く、限られた時間で一人でも多くの方が発表の場を持てるよう工夫されている。さらに館内には所狭しと利用者による作品が展示され、また児童館では子ども向けに無料の模擬店も催されるなど、子どもから大人まで、地域の誰もが集い楽しめる場となっている。</p> <p>このように上砂会館は年間約3万7千人近くが利用する生涯学習活動の拠点として、また同時に上砂地域のコミュニティセンターとして、多くの利用者及び地域住民に親しまれ、無くてはならない施設となっている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。	A
			法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
幸図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成25年6月1日～平成30年3月31日(4年10か月)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を遵守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 6人～8人 うち司書有資格者5人(71%) 臨時職員賃金: 司書資格無950円以上、有980円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計では適正な収支となっている。 規模から考えても、利用・貸出については一定の水準に達しており、その水準を維持できている。 提案事項は着実に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 36,196人(前年度37,512人 前年度比96.5%) 【貸出冊数】 106,819冊(前年度115,124冊 前年比92.8%)	A		
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:25,150,008円、支出:24,611,204円 (うち指定管理料25,140,048円) 事業収支:538,804円 人件費比率 78.7%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円(市直営時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	なし			
新たな取り組みの状況	地域の「立川市奇術愛好会」と連携した行事の開催、情報提供の強化、案内表示の工夫	A		
提案の実施状況	栄町地域公共施設を利用した行事の開催による図書館利用促進、調べ学習支援行事の開催、特色ある蔵書構成の構築、パスファインダー作成、コミュニケーションボードの掲示、地域のガイドマップ作成と関連展示、市民参加型展示、近隣自治会との連携	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	アンケートでの評価も高く、一般的に良好に対応されている。	A	利用者からも、職員の接客応対等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成29年1月～2月に実施、報告済み。独自ホームページで結果概要を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し、周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。 その他は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行っている。	A		
小規模修繕	評価対象外	—		
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	第三者への再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修に加え、関連研修が館内でも頻繁に実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、独自の情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	特に大きな事故や苦情はなかった。 「TRC危機管理マニュアル」等に基づき、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。また、館独自の危機管理マニュアルを策定している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	こぶし会館の行事参加、利用者懇談会等の機会での情報交換、こぶし会館との連絡調整を密に行い、連携に努めている。	A	近隣施設や自治会を中心に、業務上必要な連携体制を十分に構築している。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	幸・西砂・高松・錦・若葉の5館合計で、11,234,557円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価			2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>幸図書館の利用者数は、前年度比で3.5%の減となり指定管理制度導入後初めての減少となったが、指定管理制度導入後から着実に利用者数を増やしてきた結果、一定の水準に達してきていると考えられる。</p> <p>また、仕様書に基づいた図書館運営業務を適切に行う中で、限られたスペースを有効活用する魅力的な書架作りを常に心がけ、図書館サービスの質や満足度を高める取り組みを行っている。</p> <p>平成23年度から市民協働行事として継続実施している「幸図書館おたのしみ会」において、地域団体と連携した事業「マジックショー」の参加者が115人あり好評を得るなど、図書館事業による地域交流の充実や地域活性化が図られ、地域に密着した図書館運営をしていることは評価できる。</p> <p>利用者満足度調査における接遇等においては、高い評価を受けており地域に密着した図書館として適切な運営が行われているといえる。</p> <p>市民に責任を持った公共図書館サービスの提供を行うために、スタッフの教育・育成に関しては、充実した研修体制を構築しており、多くのスタッフが市図書館・社内・外部問わず多様な研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、評価できるものである。</p>		A	<p>利用者数は微減となったが一定の水準に達している。</p> <p>提案事項は着実に実施しており、成果を得ている。</p> <p>接遇や様々なサービス向上に取り組んだ結果、アンケートでの各項目の高評価につながった。</p> <p>指定管理者導入7年目となり、高い水準で安定的に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
西砂図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を遵守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 8人～10人 うち司書有資格者8人(89%) 臨時職員賃金: 司書資格無950円以上、有980円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計では適正な収支となっている。 周辺地域のガイドマップを作成するなど、地域に根付いた図書館を目指して取り組んでいる。 提案事項は着実に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 50,834人(前年度50,940人 前年度比99.8%) 【貸出冊数】 170,709冊(前年度176,864冊 前年度比96.5%)	A		
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:31,224,961円、支出:31,489,440円 (うち指定管理料31,203,041円) 事業収支:▲264,479円 人件費比率78.3%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円(市直営時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	なし	A		
新たな取り組みの状況	「立川民俗の会」・「立川市歴史民俗資料館」との 連携行事の開催	A		
提案の実施状況	調べ学習支援行事の開催、各館の特徴を活かした蔵書構成の構築、パスファインダー作成、コミュニケーションボードの掲示、周辺地域のガイドマップ作成と関連展示、市民参加型展示、近隣自治会への図書館だより配布、危機管理マニュアルの作成	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A	利用者からも職員の接客応対等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した	A		
所管部署との連携・連絡	毎月定例会議を開催。連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成29年1月～2月に実施、報告済み。独自ホームページで結果概要を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。 その他は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行っている。	A		
小規模修繕	評価対象外	—		
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	第三者への再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修に加え、関連研修が館内でも頻繁に実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	2件の事故があったが適切に対応されている。 ・学校配送トラックによる西砂学習館駐輪場支柱の破損 ・幼児の書架衝突と負傷	A	事故防止への取り組みは行われている 「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	幼児の目の高さで危険箇所を点検し、一部にクッション材を取り付けた。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。また、館独自の危機管理マニュアルを策定している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	自治会へのチラシ配布による情報提供、意見箱設置による意見・要望の把握を行うとともに、併設の西砂学習館との連携に努めている。	A	近隣施設や自治会を中心に、業務上必要な連携体制を十分に構築しており、地域に密着した図書館運営に努めている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	幸・西砂・高松・錦・若葉の5館合計で、11,234,557円の削減。	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
		施設担当課評価		2次評価
		コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等
◆ 総合評価				
<p>西砂図書館の利用者数は、前年度比で0.2%減と指定管理制度導入後、初めての減少となったが、指定管理制度導入後から着実に利用者数を増やしてきた結果、一定の水準に達してきていると考えられる。</p> <p>仕様書に基づき、適正に図書館運営業務を行い、利用者の関心が高い企画展示を数多く行い、地域の情報拠点として図書館利用の促進に努めている。また、市民協働で企画した事業「砂川村歴史散歩～殿ヶ谷分水の歴史を訪ねて」は、生涯学習の推進につながる機会や市民交流の場を提供し、地域に根づいた図書館事業となった。また、好評を得たことで第二回を企画・実施するなど利用者ニーズに素早く柔軟に応えたことは、評価できる。</p> <p>利用者満足度調査における接遇等においては、高い評価を受けており利用者サービスの向上に結びついている。</p> <p>市民に責任を持った公共図書館サービスの提供を行うために、スタッフの教育・育成に関しては、充実した研修体制を構築しており、多くのスタッフが市図書館・社内・外部問わず多様な研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、評価できるものである。</p>		A	<p>提案事項は着実に実施し、成果を上げている。</p> <p>接遇や様々なサービス向上に取り組んだ結果、アンケートの評価を向上させた。</p> <p>特に地域との連携・交流に力を入れ、地域に親しまれる図書館として認知されてきており、良好に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
高松図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を遵守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員7～8人 うち、司書有資格者7人(88%) 臨時職員賃金: 司書資格無950円以上 有980円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 29,152人(前年度29,350人 前年度比99.3%) 【貸出冊数】 96,670冊(前年度96,832冊 前年度比99.8%)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計では適正な収支となっている。	
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A	利用者数、貸出冊数ともに微減であるが、地域性から一定の水準は確保していると考えられる。	
事業収支 経営状況分析指標	収入:26,340,248円、支出:27,223,708円 (うち指定管理料26,311,978円) 事業収支:▲883,460円 人件費比率79.0%	A	健康会館と連携し、子育て支援事業の支援に取り組んでいる。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円(市直営時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	提案事項についても着実に実施されている。	
第三者への委託状況	なし	A		
新たな取り組みの状況	「世界中の図書館でゲームをする日」への公式参加登録およびゲームイベントの開催	A		
提案の実施状況	栄町地域での行事開催による図書館利用促進、調べ学習支援行事の開催、健康会館と連携した子育て支援事業、パスファインダーの作成、コミュニケーションボードの掲示、周辺地域のガイドマップ作成と関連展示、関係機関との連携や市民参加型イベントの開催、危機管理マニュアルの作成	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価			2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A	利用者からも、職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した	A		
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成29年1月～2月に実施、報告済み。独自ホームページで結果概要を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し、周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。 その他は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行っている。	A		
小規模修繕	評価対象外	—		
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	第三者への再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修に加え、関連研修が館内でも頻繁に実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	特に大きな事故や苦情はなかった。 「TRC危機管理マニュアル」等に基づき、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。また、館独自の危機管理マニュアルを策定している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	図書館だより、行事のチラシ等の配布などを通し、自治会等との情報交換を行っている。高松学習館や高松児童館、健康会館と、合同行事などにより密接な連携を図っている。	A	近隣施設と連携し、事業を実施している。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	幸・西砂・高松・錦・若葉の5館合計で、11,234,557円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>高松図書館の利用者数は前年度から0.7%の減少となったが、指定管理制度導入後から着実に利用者数を増やしてきた結果、一定の水準に達してきていると考えられる。</p> <p>仕様書に基づき、適正に図書館運営業務を行う中で、指定管理制度導入当初から図書館サービスの空白地帯と言われる栄町地域に向けた利用促進事業や併設施設である健康会館のブックスタート事業会場へ出向いての「読み聞かせ」と図書館の利用案内を継続的に企画・実施しており、立地環境を活かした図書館サービスの提供に取り組んでいることは評価できる。また、業者ノウハウを活かした事業「インターナショナル・ゲームズ・デー@高松図書館」では、図書館でボードゲームを楽しむといった新しい企画の中で、立川市固有のボードゲームも取り上げるなど、地域の情報拠点として情報発信を行った。</p> <p>利用者満足度調査における接遇等においては、高い評価を受けており利用者サービスの向上に結びついている。</p> <p>市民に責任を持った公共図書館サービスの提供を行うために、スタッフの教育・育成に関しては、充実した研修体制を構築しており、多くのスタッフが市図書館・社内・外部問わず多様な研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、評価できるものである。</p>		A	<p>利用者数および貸出し冊数ともに微減となったが、地域の特色を生かした展示など地域に根差した図書館づくりに取り組んでいる。</p> <p>健康会館と連携した子育て支援事業など、併設施設、近隣施設との連携が進んでいる。</p> <p>提案事項は着実に実施しており、新たな取り組みも行っている。</p> <p>接遇には特に力を入れており、アンケートでは引き続き高評価を得ている。</p> <p>以上から、良好に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
錦図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成25年6月1日～平成30年3月31日(4年10か月)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を遵守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 8人～11人 うち、司書有資格者7人(78%) 臨時職員賃金: 司書資格無950円以上 有980円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計では適正な収支となっている。 利用者数、貸出冊数ともに微減となった。 提案事項は着実に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 56,704人(前年度56,392人 前年度比100.6%) 【貸出冊数】 182,819冊(前年度185,672冊 前年度比98.5%)	A		
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:32,428,054円、支出:31,962,134円 (うち指定管理料32,395,644円) 事業収支:465,920円 人件費比率77.5%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円(市直當時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	図書運搬リフト点検	A		
新たな取り組みの状況	周辺地域のガイドマップ作成および地域資料の 作成、展示コーナー新設、図書館だよりおすすめ 図書の一覧作成	A		
提案の実施状況	調べ学習支援行事、各館の特徴を活かした蔵書 構成の構築、パスファインダーの作成、コミュニ ケーションボードの設置、周辺地域のガイドマッ プ作成と関連展示、市民参加型展示、近隣自治 会との連携、関連機関との連携、危機管理マニ ュアルの作成	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A	利用者からの、職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成29年1月～2月に実施、報告済み。独自ホームページで結果概要を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守(一部を除く)、修繕は対象外である。 その他は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	図書運搬リフト保守点検。適正に実施された。	A		
保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行っている。	A		
小規模修繕	評価対象外	—		
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	第三者への再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修に加え、関連研修が館内でも頻繁に実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	特に大きな事故や苦情はなかった。 「TRC危機管理マニュアル」に基づき、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。また、館独自の危機管理マニュアルを策定している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	図書館だより、行事のチラシ等の配布などを通し、自治会等との情報交換を行っている。錦学習館や子ども未来センターとの連携に務めている。	A	様々な事業を通じて、地域住民とのつながりを持ち、開かれた図書館づくりに積極的に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	幸・西砂・高松・錦・若葉の5館合計で、11,234,557円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>錦図書館の利用者数は、前年度比で0.6%微増と指定管理導入後、着実に利用者数を増やし一定の高い水準を維持している。</p> <p>仕様書に基づき、適正に図書館運営業務を行う中で、利用者の関心が高い企画展示を数多く行いながら、指定管理導入時から発行している「にしき図書館だより」の中で紹介した推薦図書をまとめた冊子を作成するなど、図書館利用の促進に努めている。また、恒例となった事業「第4回 生演奏で楽しもう！ジャズの魅力」を実施して、地域のにぎわいと図書館利用の促進を図った。</p> <p>利用者満足度調査における接遇等においては、高い評価を受けており利用者サービスの向上に結びついている。</p> <p>市民に責任を持った公共図書館サービスの提供を行うために、スタッフの教育・育成に関しては、充実した研修体制を構築しており、多くのスタッフが市図書館・社内・外部問わず多様な研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、評価できるものである。</p>		A	<p>提案事項は着実に実施しており、成果を得ている。</p> <p>接遇や様々なサービス向上に取り組んだ結果、アンケートでの各項目の高評価につながった。</p> <p>以上から、良好に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
若葉図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等及び館独自のマニュアルに沿って、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を遵守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 15人～17人 うち、司書有資格者11人(80%) ゼネラルマネージャー 1人 臨時職員賃金: 司書資格無950円以上 有980円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計では適正な収支となっている。 5館の統括館として、様々な取り組みを推進している。 提案事項は着実に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 66,515人(前年度69,179人 前年度比96.1%) 【貸出冊数】 209,793冊(前年度218,138冊 前年度比96.2%)	A		
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:56,838,423円、支出:56,695,208円 (うち指定管理料56,794,773円) 事業収支:143,215円 人件費比率68.9%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円(市直當時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	自家用電気工作物保守点検、消防設備保守点検、機械警備、清掃、空調設備点検、樹木剪定、エレベーター保守点検、建築設備定期検査、学校への図書配送	A		
新たな取り組みの状況	記念行事として「落語会」の開催、調べものコーナーを新設	A		
提案の実施状況	栄町地域での行事開催による図書館利用促進、児童向けに夏の調べ学習支援を実施、学校図書館サポート事務局の設置、各館の特徴を活かした蔵書構成の構築、パスファインダーの作成、コミュニケーションボードの掲示、周辺地域のガイドマップ作成、市民参加型展示の実施、避難訓練の実施	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A	利用者からも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した	A		
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成29年1月～2月に実施、報告済み。独自ホームページで結果概要を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し、周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	業務仕様書に従い、適正に実施された。	A	業務仕様書に従い、適切に実施された。 小規模修繕についても適切に実施された。	A
施設及び設備の保守・点検	業務仕様書に従い、適正に実施された。	A		
保安・警備	業務仕様書に従い、適正に実施された。館内および周辺の見回りも適切に行った。	A		
小規模修繕	空調設備修繕、非常扉修繕	A		
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	第三者への再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修のほか、関連研修が館内でも頻繁に実施された。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	事故への対応や事故防止への取り組みは良好に行われた。 「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。若葉会館、東部連絡所と連携して自衛消防訓練を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域の行事に積極的に参加し、住民との交流を深めているほか、幸学習館、さかえ会館でも行事を行った。 近隣公共施設との連携に努めている。	A	様々な事業を通じて、地域住民や近隣施設との連携は進んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	幸・西砂・高松・錦・若葉の5館合計で、11,234,557円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>若葉図書館の利用者数は、前年度比で3.9%減となったが、指定管理制度導入後から、着実に利用者数を増やしてきた結果、一定の水準を維持していると考えられる。</p> <p>仕様書に基づき、適正に図書館運営業務を行う中で、利用者の関心が高い企画展示を数多く行い、地域の情報拠点として図書館利用の促進に努めている。また、業者ノウハウを活かし、地域の利用者ニーズに着目した事業「若葉図書館開館30周年記念 みんなで大笑い！入船亭扇治落語独演会」をわかば地域包括センターと連携して実施し、111人の参加者を集めるなど、図書館事業による地域活性化や市民交流の場を創出して、図書館の認知度を高め、利用促進を図った。また、若葉図書館は、地区図書館の中でレファレンス受付件数が最多であり、その内容も高度なものが数多く寄せられるなど調査・調べ学習の需要が高い地域であるが、それらに的確な調査・資料提供等を行いレファレンスサービスの充実を図っていることは評価できる。</p> <p>利用者満足度調査における接遇等においては、高い評価を受けており利用者サービスの向上に結びついている。</p> <p>市民に責任を持った公共図書館サービスの提供を行うために、スタッフの教育・育成に関しては、充実した研修体制を構築しており、多くのスタッフが市図書館、社内、外部問わず多様な研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、評価できるものである。</p>		A	<p>提案事項は着実に実施し、成果を得ている。</p> <p>接遇や様々なサービス向上委取り組んだ結果、アンケートでの各項目の高評価に繋がった。</p> <p>地域包括支援センターと連携するなど地域住民との交流を図っている。</p> <p>地域のニーズに応えながら、良好に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
柴崎図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 ヴィアックス	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画、基本協定書、業務仕様書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	業務について、日々の朝終礼、連絡ノートにおいて共有し、館内整理日等に研修や再確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等及び館独自のマニュアルに沿って、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	協定書・業務基準書を遵守し、業務の継続性を維持している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 7人～8人 うち、司書有資格者6人(75%) 臨時職員賃金:940円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 事業収支は、指定管理3館すべてでプラスが出ている。 併設の第一小学校とは、意見交換により、綿密な連携がとれている。 提案事項は着実に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 32,709人(前年度31,258人 前年度比104.6%) 【貸出冊数】 94,446冊(前年度94,497冊 前年度比99.9%)	A		
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:25,260,410円、支出:24,192,635円 (うち指定管理料25,245,000円) 事業収支:1,067,775円 人件費比率70.4%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	施設賠償保険、受託者賠償責任保険 支払限度額:10億円(市直営時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	図書配送業務	A		
新たな取り組みの状況	講座の実施、町内回覧、合同防災訓練参加、複合施設連絡会、学習館事業への参加、関連展示、3館共同事業の実施、複合施設運営協議会への参加、車いす動線の確保、新聞閲覧スペースの拡張	A		
提案の実施状況	各館の特徴を活かした蔵書構成の構築、パスファインダーの作成、ミニ展示と文献リストの作成、車いす研修の実施、リーディングループの設置、WEB図書館の提供、図書館だよりの発行、職場体験等の学校との連携、ボランティア連絡会の開催、地域団体等の連携、クリーンキャンペーン参加、ペットボトル回収、防火・防災マニュアル作成、普通救命講習の実施、個人情報の保護、自主事業等ポスター制作、黒板を活用した情報提供、資料持ち運び用カゴ設置	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価			2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A	利用者からも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社・館内での専門研修のほか、市図書館・外部研修にも参加した。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成29年2月に実施、報告済み。 独自ホームページで結果概要を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し、周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケートや懇談会など様々な手法で自己点検を行い、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。 その他は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	鍵は管理キャビネット等で保管されている。館内および周辺の見回りも適切に行った。	A		
小規模修繕	評価対象外	—		
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内のチェックリスト等を基に、本社が適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	市の承諾なしでの第三者委託は無い。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修のほか、関連研修が館内でも頻りに実施された。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	社内規定に加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	事故への対応や事故防止への取り組みは良好に行われた。 「危機管理対策マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理対策マニュアルを通じて、事故防止対策に取り組むとともに、消防訓練、避難・誘導場所の確認を行った。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	柴崎学習館、自治会支部との情報交換を行っている。 併設施設との打合せなど連携に努めている。 館周辺の清掃を実施。	A	近隣施設や自治会を中心に業務上必要な連携体制を十分に構築している。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	柴崎・上砂・多摩川の3館合計で、15,998,956円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>柴崎図書館の利用者数は前年度比で4.6%増となっていて、指定管理導入の前年に引き続き利用者数が増加となった。夜間の利用者数も増加しており、開館時間の拡大により利用者の利便性が向上している。</p> <p>仕様書に基づいた図書館運営業務を適切に行う中で、小規模館の位置づけではあるが、業者ノウハウを活かした「ビブリオバトル」の実施や、行政機関と連携して地域の歴史を学ぶ講座の開催、学習館行事の「すわっ祭」に参加して地域関連情報の展示や図書館案内を行うなど、地域関係団体との連携・関係を深め、地域の情報拠点として地域に根差した図書館運営に努めていることは評価できる。</p> <p>併設の小学校との関わりにおいては、学校と連携して双方の利便に配慮する形で小学校図書室と隣接する図書館の「相互利用ルール」を作成し、調べ学習の支援や読書活動の環境の充実を図った。</p> <p>利用者満足度調査における接遇等においては、高い評価を受けており利用者サービスの向上に結びついている。</p> <p>市民に責任を持った公共図書館サービスの提供を行うために、スタッフの教育・育成に関しては、充実した研修体制を構築しており、多くのスタッフが市図書館・社内・外部問わず多様な研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、評価できるものである。</p>		A	<p>指定管理導入に伴いサービス向上に取り組む、昨年に引き続き利用者数は増加した。</p> <p>第一小学校等、併設施設との連携が進んでいる。</p> <p>以上から、良好に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
上砂図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 ヴィアックス	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画、基本協定書、業務仕様書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	業務について、日々の朝終礼、連絡ノートにおいて共有し、館内整理日等に研修や再確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等及び館独自のマニュアルに沿って、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	協定書・業務基準書を遵守し、業務の継続性を維持している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 11人～12人 うち、司書有資格者7人(75%) 臨時職員賃金:940円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 事業収支は、指定管理3館すべてでプラスが出ている。 児童館や学習館など近隣施設と連携がとれている。 提案事項は着実に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 54,930人(前年度54,197人 前年度比101.4%) 【貸出冊数】 193,034冊(前年度194,285冊 前年度比99.4%)	A		
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:43,084,950円、支出:41,436,040円 (うち指定管理料43,050,000円) 事業収支:1,648,910円 人件費比率55.6%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	施設賠償保険、受託者賠償責任保険 支払限度額:10億円(市直営時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	自家用電気工作物保守点検、消防設備保守点検、機械警備、清掃・受水槽清掃、空調設備点検、樹木剪定、エレベーター保守点検、簡易専用水道検査	A		
新たな取り組みの状況	各種イベントの開催、車いす研修、歴史民俗資料館研修の実施、出張おはなし会	A		
提案の実施状況	各館の特徴を活かした蔵書構成の構築、パスファインダーの作成、ミニ展示と文献リストの作成、車いす研修の実施、リーディングループの設置、WEB図書館の提供、図書館だよりの発行、職場体験等の学校との連携、ボランティア連絡会の開催、地域団体等の連携、クリーンキャンペーン参加、ペットボトル回収、防火・防災マニュアル作成、普通救命講習の実施、個人情報保護、自主事業等ポスター制作、黒板を活用した情報提供、資料持ち運び用カゴ設置	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A	利用者からも職員の接客応対等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社・館内での専門研修のほか、市図書館・外部研修にも参加した。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成29年2月に実施、報告済み。独自ホームページで結果概要を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し、周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケートや懇談会など様々な手法で自己点検を行い、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	業務仕様書に従い、適正に実施された。	A	業務仕様書に従い、適切に実施された。 小規模修繕についても適切に実施された。	A
施設及び設備の保守・点検	業務仕様書に従い、適正に実施された。	A		
保安・警備	業務仕様書に従い、適正に実施された。館内および周辺の見回りも適切に行った。	A		
小規模修繕	空調修繕、階段修繕、照明修繕、昇降機修繕	A		
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内のチェックリスト等を基に、本社が適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	市の承諾なしでの第三者委託はなし	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修のほか、関連研修が館内でも頻繁に実施された。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	社内規定に加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	予約した資料を市民へ渡せなかった事故があったが、後日他館より取り寄せ対応した。	A	事故・苦情への対応は利用者への謝罪を含め適切に対応した。事故防止への取り組みは良好に行われている。 「危機管理対策マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理対策マニュアルを通じて、事故防止対策に取り組むとともに、消防訓練、避難・誘導場所の確認を行った。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	自治会支部、会館管理人との情報交換を行っている。近隣施設との打合せなど連携に努めている。館周辺の清掃を実施。	A	近隣施設や自治会を中心に業務上必要な連携体制を十分に構築している。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	柴崎・上砂・多摩川の3館合計で、15,998,956円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>上砂図書館の利用者数は、前年度比で1.4%増と指定管理導入の前年に引き続き利用者数が増加となった。夜間の利用者数も増加していて、開館時間の拡大で利用者の利便性が向上している。</p> <p>仕様書に基づいた図書館運営業務を適切に行う中で、業者ノウハウを活かした「移動プラネタリウム」や地域の講師と連携した「わらべうた&絵本ライブ」等の事業を実施し、図書館事業による地域の活性化や新たな利用者の獲得を図り、地域の情報拠点として情報の発信に努めている。また、周辺施設の行事への参加や自治会を通じた図書館広報活動を継続しながら、ボランティア団体主催のイベントに参加して図書館PRを実施する新しい取り組みを行うなど、更なる図書館利用の促進を図っていることは評価できる。また、昨年度から実施していた出張おはなし会を地域の子育てひろばでも行うなど、積極的に子どもの読書活動の推進に努めている。</p> <p>利用者満足度調査における接遇等においては、高い評価を受けており利用者サービスの向上に結びついている。</p> <p>市民に責任を持った公共図書館サービスの提供を行うために、スタッフの教育、育成に関しては、充実した研修体制を構築しており、多くのスタッフが市図書館、社内、外部問わず多様な研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、評価できるものである。</p>		A	<p>指定管理導入に伴いサービス向上に取り組み、昨年に行き続き利用者数が増加した。</p> <p>接遇においてもアンケート結果では高い評価を得ている。</p> <p>学習館等への出張お話し会による乳幼児の利用促進、地域の人材を活用した企画展示等、良好に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成28年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
多摩川図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 ヴィアックス	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画、基本協定書、業務仕様書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	業務について、日々の朝終礼、連絡ノートにおいて共有し、館内整理日等に研修や再確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等及び館独自のマニュアルに沿って、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	協定書・業務基準書を遵守し、業務の継続性を維持している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 8人～9人 うち、司書有資格者7人(77.8%) 臨時職員賃金:940円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数、貸出冊数ともに微減であるが、地域性から一定の水準は確保していると考えられる。 事業収支は、指定管理3館すべてでプラスが出ている。 児童と連携したおはなし会等により、児童の図書館利用の向上に取り組んでいる。 提案事項は着実に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 28,361人(前年度28,390人 前年度比99.9%) 【貸出冊数】 87,337冊(前年度91,515人 前年度比95.4%)	A		
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:30,231,800円、支出:27,873,293円 (うち指定管理料30,221,000円) 事業収支:2,358,507円 人件費比率62.0%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	施設賠償保険、受託者賠償責任保険 支払限度額:10億円(市直営時の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	自家用電気工作物保守点検、消防設備保守点検、機械警備、清掃、空調設備点検、樹木剪定、自動ドア保守	A		
新たな取り組みの状況	市民講師を活用したワークショップの開催、和室の有効活用、新生小学校との連携、児童向け講座の実施	A		
提案の実施状況	各館の特徴を活かした蔵書構成の構築、パスファインダーの作成、ミニ展示と文献リストの作成、車いす研修の実施、リーディングループの設置、WEB図書館の提供、図書館だよりの発行、職場体験等の学校との連携、ボランティア連絡会の開催、地域団体等の連携、クリーンキャンペーン参加、ペットボトル回収、防火・防災マニュアル作成、普通救命講習の実施、個人情報保護、自主事業等ポスター制作、黒板を活用した情報提供、資料持ち運び用カゴ設置	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A	利用者からも職員の接客応対等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社・館内での専門研修のほか、市図書館・外部研修にも参加した。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成29年2月に実施、報告済み。独自ホームページで結果概要を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し、周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケートや懇談会など様々な手法で自己点検を行い、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	業務仕様書に従い、適正に実施された。	A	業務仕様書に従い、適切に実施された。 小規模修繕についても適切に実施された。	A
施設及び設備の保守・点検	業務仕様書に従い、適正に実施された。	A		
保安・警備	業務仕様書に従い、適正に実施された。館内および周辺の見回りも適切に行った。	A		
小規模修繕	小便器水漏れ修繕、自動ドア修繕	A		
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内のチェックリスト等を基に、本社が適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	市の承諾なしでの第三者委託はなし	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修のほか、関連研修が館内でも頻繁に実施された。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	社内規定に加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になく、適切に管理・運営されていた。	A	特に大きな事故や苦情はなかった。 「危機管理対策マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理対策マニュアルを通じて、事故防止対策に取り組むとともに、消防訓練、避難・誘導場所の確認を行った。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	自治会支部、みらいぱーくとの情報交換を行っている。 近隣施設との打合せなど連携に努めている。 館周辺の清掃を実施。	A	近隣施設や自治会を中心に業務上必要な連携体制を十分に構築している。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	柴崎・上砂・多摩川の3館合計で、15,998,956円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>多摩川図書館の利用者数は前年度比で0.1%減となったが、指定管理制度導入で増加した前年の利用者数の水準を維持している。夜間の利用者数は増加しており、開館時間の延長で利用者の利便性が向上した。</p> <p>仕様書に基づいた図書館運營業務を適切に行う中で、利用者の関心を引く企画展示を地区図書館の中で最多数行うなど、地域の情報拠点として情報発信を積極的に行い、図書館利用の促進を図っていることは評価できる。また、図書館内にある和室を通年開放するとともに、学校と連携した展示や様々な事業を実施して和室を最大限活用するなど、読書環境の充実と利用者サービスの向上に努めた。今後は、これらの取り組みを通して利用数値に繋がる新たな仕掛けや工夫に期待したい。</p> <p>利用者満足度調査における接客等においては、高い評価を受けており利用者サービスの向上に結びついている。</p> <p>市民に責任を持った公共図書館サービスの提供を行うために、スタッフの教育、育成に関しては、充実した研修体制を構築しており、多くのスタッフが市図書館、社内、外部問わず多様な研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、評価できるものである。</p>		A	<p>指定管理導入に伴い引き続きサービス向上に取り組んだが、利用者は微減となった。</p> <p>アンケート結果では接客等において高い評価を得ている。</p> <p>近隣施設や自治会との連携しサービスの提供を行っており適性に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

平成29年度(平成28年度実施分)指定管理者管理運営状況評価表

平成29(2017)年9月発行

発行 立川市公の施設指定管理者評価委員会

編集 立川市総合政策部行政経営課

〒190-8666 立川市泉町1156-9

電話 042-523-2111(代表)